

三次市国民健康保険 第2期データヘルス計画

平成30年3月
三次市

-目次-

第1章 計画策定について	
1. 背景	3
2. 計画期間	3
3. 基本方針	4
4. データヘルス計画の位置づけ	5
5. 実施体制・関係者連携	5
第2章 現状と課題把握	
1. 保険者の特性把握	6
(1) 基本情報	6
(2) 医療費等の状況	8
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	9
① 特定健康診査	9
② 特定保健指導	11
(4) 介護保険の状況	13
(5) 主たる死因の状況	17
2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)	19
(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況	19
(2) 第1期データヘルス計画の各事業実施内容	21
① 特定健康診査事業	21
② 特定保健指導事業	22
③ 健診異常値受診勧奨事業	23
④ 重複・頻回受診啓発指導事業	24
⑤ ジェネリック医薬品差額通知事業	25
3. 医療情報分析結果	26
(1) 基礎統計	26
(2) 高額レセプトの件数及び医療費	28
① 高額レセプトの件数及び割合	28
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向	30
(3) 疾病別医療費	32
① 大分類による疾病別医療費統計	32
② 中分類による疾病別医療費統計	36
4. 保健事業実施に係る分析結果	41
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析	41
(2) 特定健康診査に係る分析	42
(3) 特定保健指導に係る分析	44
(4) 健診異常値放置者に係る分析	46
(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析	48
(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析	50
(7) 受診行動適正化に係る分析	54
(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析	57

-目次-

5. 分析結果に基づく健康課題の把握	60
(1) 分析結果	60
(2) 分析結果に基づく課題とその対策	65
第3章 保健事業実施計画	
1. 各事業の目的と概要一覧	66
2. 全体スケジュール	68
3. 各事業の実施内容と評価方法	69
(1) 特定健康診査受診勧奨事業	69
(2) 特定保健指導事業	72
(3) 健診異常値放置者受診勧奨事業	74
(4) 糖尿病性腎症重症化予防事業	77
(5) 受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)	79
(6) ジェネリック医薬品差額通知事業	81
第4章 その他	
1. データヘルス計画の見直し	84
(1) 評価	84
(2) 評価時期	84
2. 計画の公表・周知	84
3. 個人情報の取り扱い	84
4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	84
年度別 特定健康診査結果分析	
1. 有所見者割合	
2. 質問別回答状況	
巻末資料	
1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	
2. 用語解説集	
3. 疾病分類表	
4. 地区分析	
(1) 大分類による疾病別医療費地区別統計	
(2) 中分類による疾病別医療費地区別統計	
5. 詳細分析	
(1) 高額レセプト発生患者の疾病傾向	
(2) 中分類による疾病別医療費統計(全項目)	

第1章 計画策定について

1. 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

レセプトを用いた現状分析は、株式会社データホライゾンの医療費分解技術、傷病管理システム、レセプト分析システムおよび分析方法を用いて行うものとする。

- ※医療費分解技術(特許第4312757号) レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。
- ※傷病管理システム(特許第5203481号) レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。
- ※レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号) 中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

2. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、平成30年度から平成35年度の6年間とする。

■ 計画期間

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

3. 基本方針

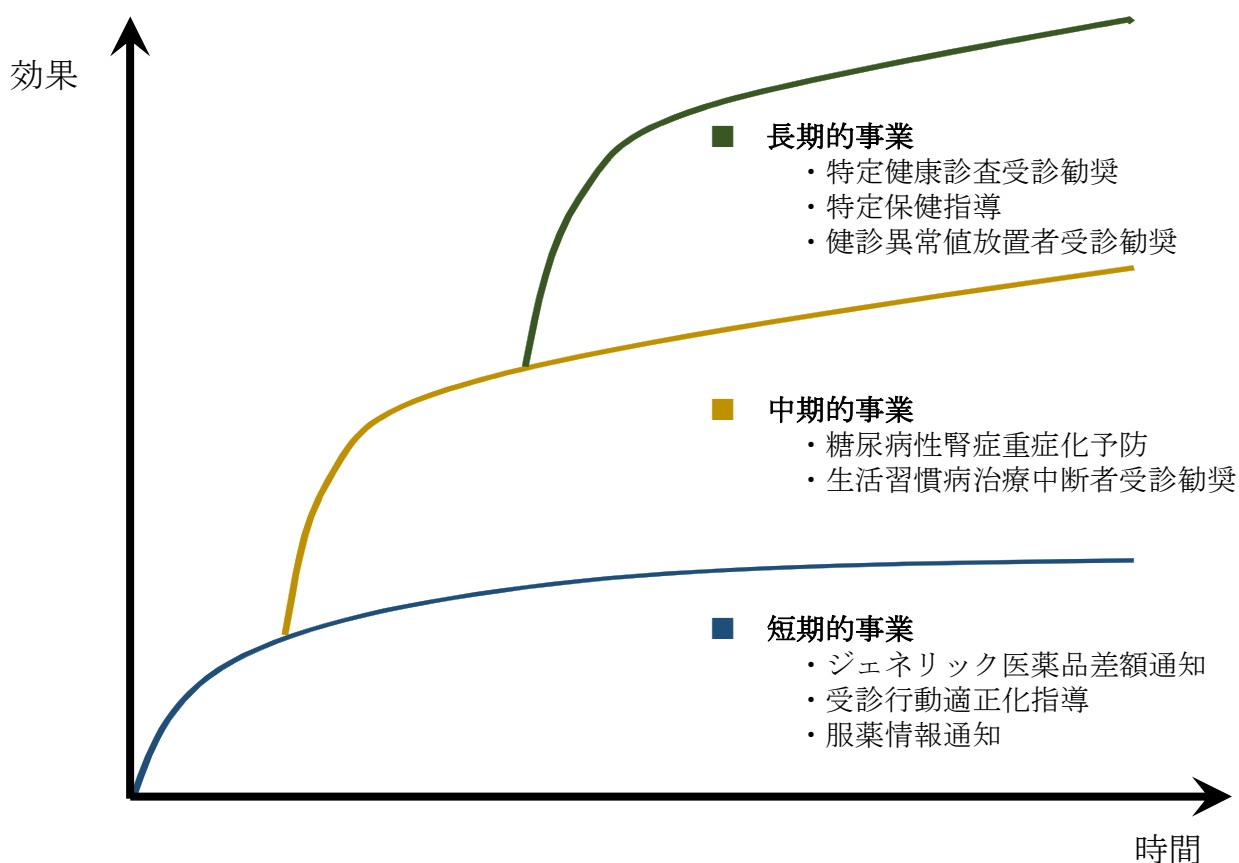
データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。

下図は代表的な保健事業の組み合わせである。これら事業を三次市国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。



4. データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「都道府県健康増進計画」及び「市町村健康増進計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要がある。

5. 実施体制・関係者連携

本データヘルス計画の遂行に当たっては、保険担当部局が主体となり、関係部局(保健衛生、介護部門等)・保健師・栄養士等の専門職と共同で事業を推進する。そのために、課題や評価について共有する場としてのプロジェクトチーム等を設置し、一体となって保健事業の実施に当たる。

また、医師会、栄養士会等の外部有識者や被保険者が議論に参画できる協議の場として、既存の協議会等の活用、または新たな会議体の設置、被保険者向け説明会等を行い、外部有識者からの支援体制を強化し、被保険者自身が当事者意識を持って主体的・積極的に取り組める体制を整備しながら事業を運営する。

■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ

平成26年度～平成28年度(3年分)

なお、特定健康診査受診率と特定保健指導実施率において国保データベース(KDB)システムデータと法定報告の数値は異なっており、分析には前者を使用するが評価には後者の数値を使うこととする。

- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト

単年分析

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)

年度分析

平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)

平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)

平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)

- ・ 健康診査データ

単年分析

平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

年度分析

平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)

平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)

平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

第2章 現状と課題把握

1. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

本市の平成28年度における、人口構成概要を以下に示す。高齢化率(65歳以上)は31.7%であり、県との比較で1.3倍、同規模との比較で1.3倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は11,310人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は20.2%である。国民健康保険被保険者平均年齢は56.3歳である。

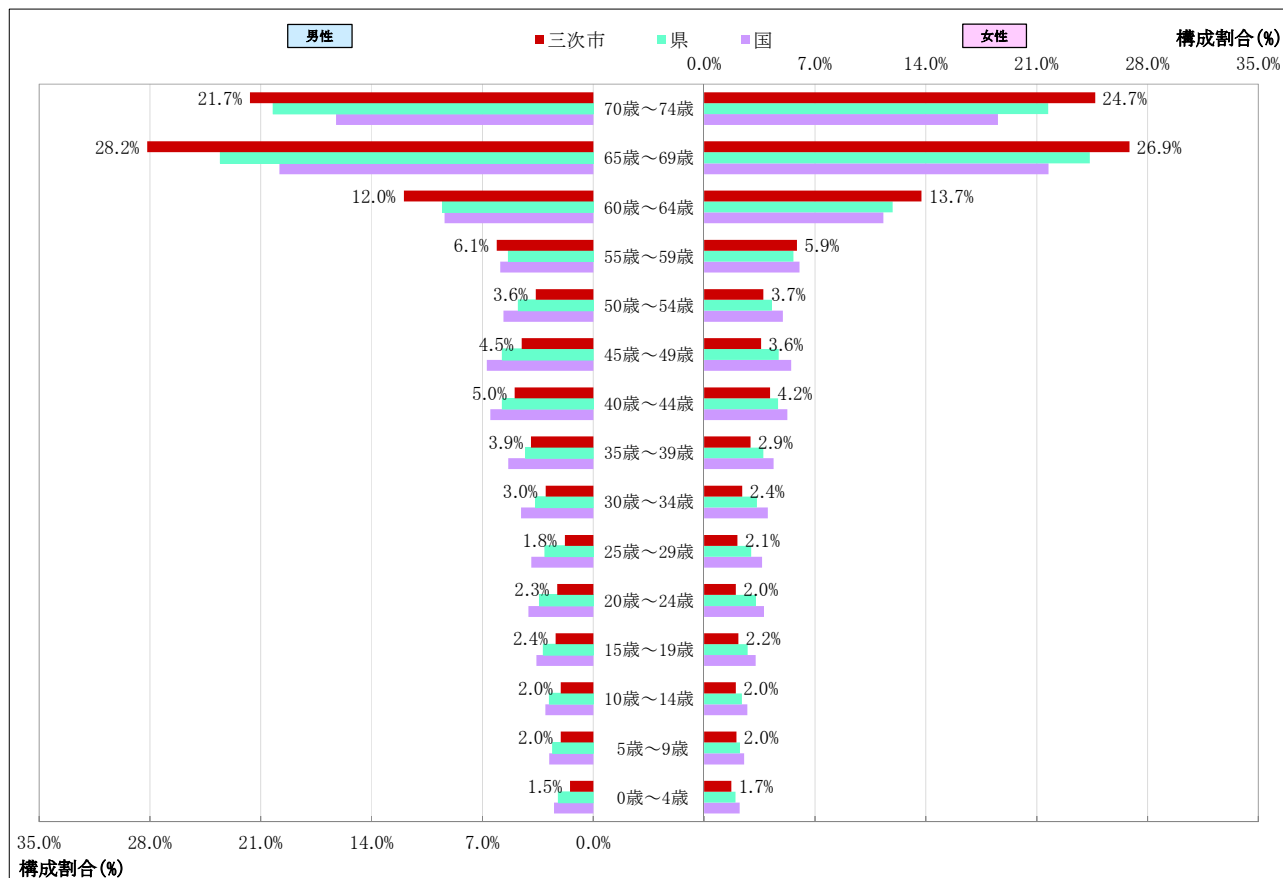
人口構成概要(平成28年度)

	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
三次市	55,978	31.7%	11,310	20.2%	56.3	8.7%	14.2%
県	2,786,363	24.1%	408,451	24.8%	53.3	9.2%	9.9%
同規模	68,973	24.1%	16,979	24.7%	52.8	8.4%	10.1%
国	124,852,975	23.2%	32,587,223	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

※「県」は広島県を指す。以下すべての表において同様である。

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

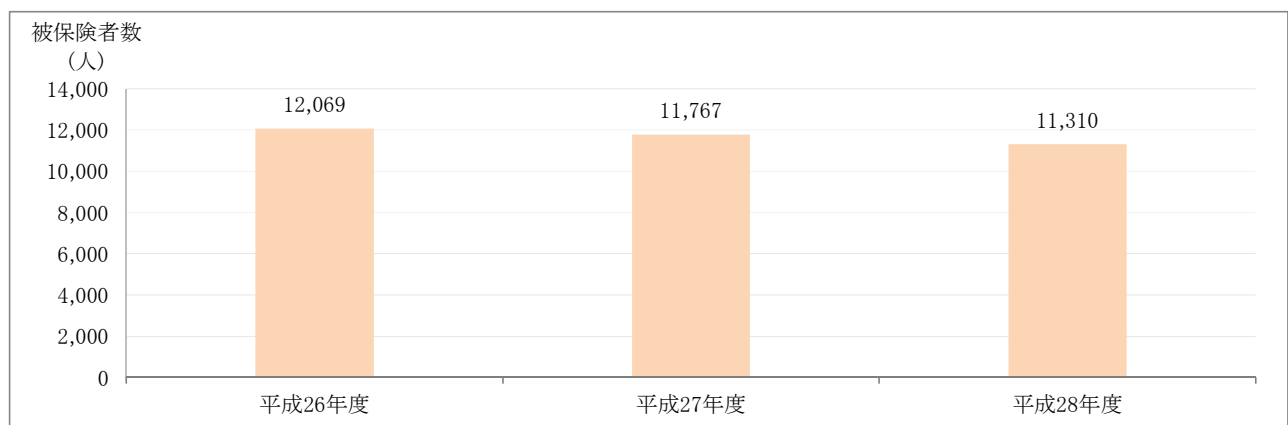
本市の平成26年度から平成28年度における、人口構成概要を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、国民健康保険被保険者数11,310人は平成26年度12,069人より759人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢56.3歳は平成26年度55.3歳より1.0歳上昇している。

年度別 人口構成概要

区分		人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
三次市	平成26年度	55,978	31.7%	12,069	21.6%	55.3	8.7%	14.2%
	平成27年度	55,978	31.7%	11,767	21.0%	55.9	8.7%	14.2%
	平成28年度	55,978	31.7%	11,310	20.2%	56.3	8.7%	14.2%
県	平成26年度	2,786,363	24.1%	442,260	26.8%	52.5	9.2%	9.9%
	平成27年度	2,786,363	24.1%	427,130	25.9%	52.9	9.2%	9.9%
	平成28年度	2,786,363	24.1%	408,451	24.8%	53.3	9.2%	9.9%
同規模	平成26年度	68,299	24.2%	18,546	27.1%	51.7	8.3%	10.1%
	平成27年度	68,241	24.2%	17,773	26.1%	52.2	8.4%	10.1%
	平成28年度	68,973	24.1%	16,979	24.7%	52.8	8.4%	10.1%
国	平成26年度	124,852,975	23.2%	32,318,324	28.8%	50.3	8.6%	9.6%
	平成27年度	124,852,975	23.2%	33,767,446	28.2%	50.4	8.6%	9.6%
	平成28年度	124,852,975	23.2%	32,587,223	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

年度別 被保険者数



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

(2) 医療費等の状況

本市の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。

医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	三次市	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.4	0.4	0.3	0.3
診療所数	5.1	3.4	2.8	3.0
病床数	103.2	63.3	50.3	46.8
医師数	12.6	9.4	7.5	9.2
外来患者数	798.9	716.6	688.2	668.3
入院患者数	28.0	22.0	19.8	18.2
受診率	827.0	738.6	708.0	686.5
一件当たり医療費(円)	38,030	36,730	36,130	35,330
一般(円)	38,200	36,600	36,080	35,270
退職(円)	33,770	41,390	37,660	37,860
後期(円)	0	0	0	0
外来				
外来費用の割合	58.0%	58.5%	59.3%	60.1%
外来受診率	798.9	716.6	688.2	668.3
一件当たり医療費(円)	22,830	22,140	22,060	21,820
一人当たり医療費(円)	18,240	15,870	15,180	14,580
一日当たり医療費(円)	13,620	13,400	14,130	13,910
一件当たり受診回数	1.7	1.7	1.6	1.6
入院				
入院費用の割合	42.0%	41.5%	40.7%	39.9%
入院率	28.0	22.0	19.8	18.2
一件当たり医療費(円)	470,890	512,630	524,900	531,780
一人当たり医療費(円)	13,210	11,260	10,400	9,670
一日当たり医療費(円)	24,310	31,210	32,470	34,030
一件当たり在院日数	19.4	16.4	16.2	15.6

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

① 特定健康診査

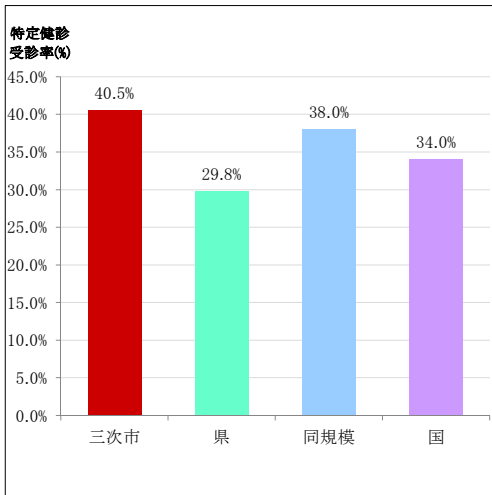
本市の平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。

特定健康診査受診率(平成28年度)

	特定健診受診率
三次市	40.5%
県	29.8%
同規模	38.0%
国	34.0%

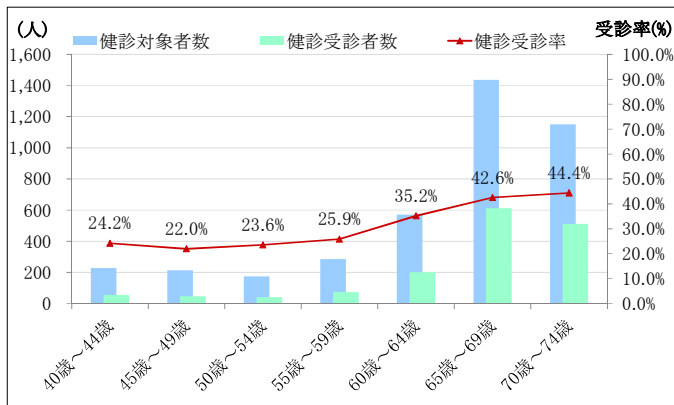
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定健康診査受診率(平成28年度)

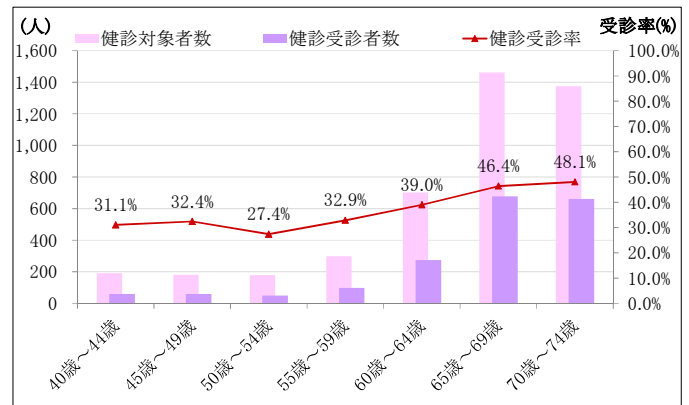


出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(男性)年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



(女性)年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

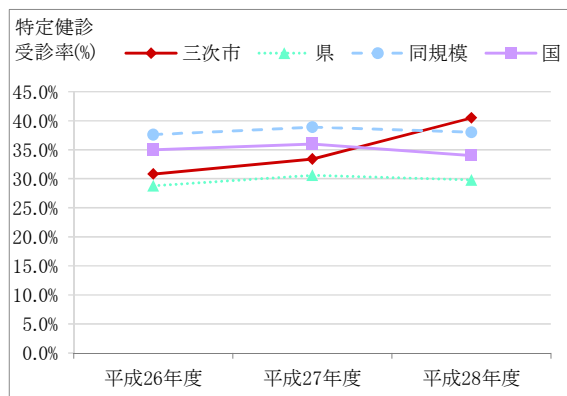
本市の平成26年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成28年度の特定健康診査受診率40.5%は平成26年度30.8%より9.7ポイント上昇している。

年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
三次市	30.8%	33.4%	40.5%
県	28.8%	30.6%	29.8%
同規模	37.6%	38.9%	38.0%
国	35.0%	36.0%	34.0%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

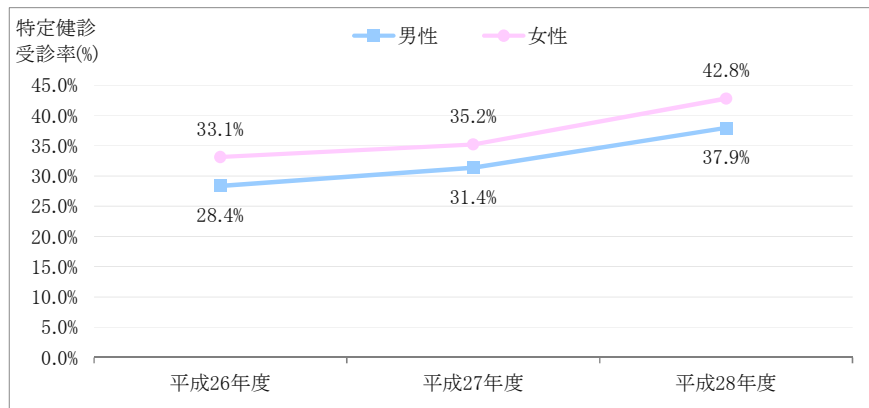
年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率37.9%は平成26年度28.4%より9.5ポイント上昇しており、女性の平成28年度受診率42.8%は平成26年度33.1%より9.7ポイント上昇している。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

②特定保健指導

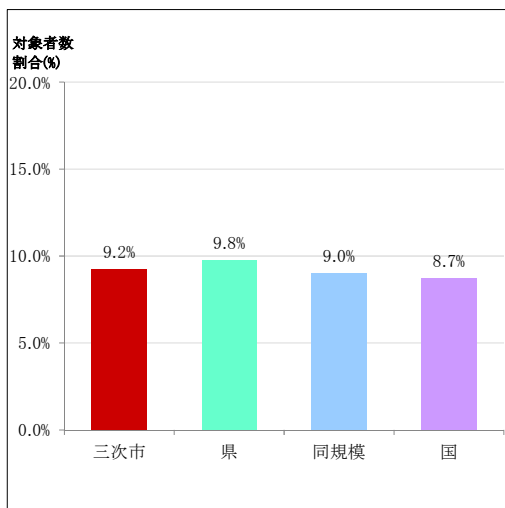
本市の平成28年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。

特定保健指導実施状況(平成28年度)

	動機付け支援 対象者数割合	積極的支援 対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導 実施率
三次市	9.2%	2.4%	11.6%	6.8%
県	9.8%	2.4%	12.2%	4.1%
同規模	9.0%	2.9%	11.9%	5.2%
国	8.7%	3.2%	11.9%	4.1%

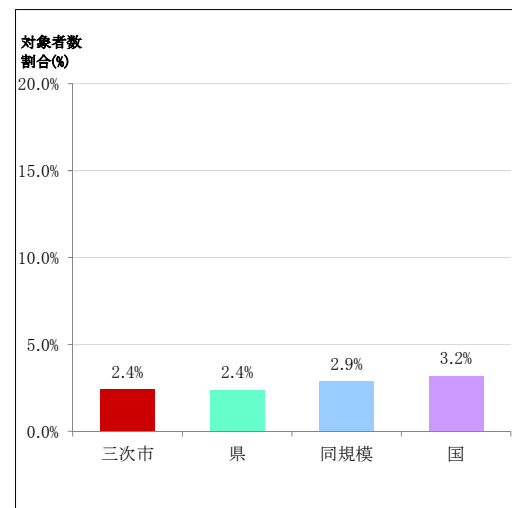
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



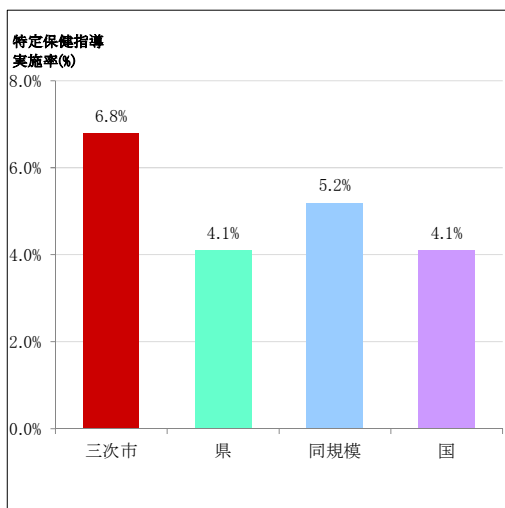
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

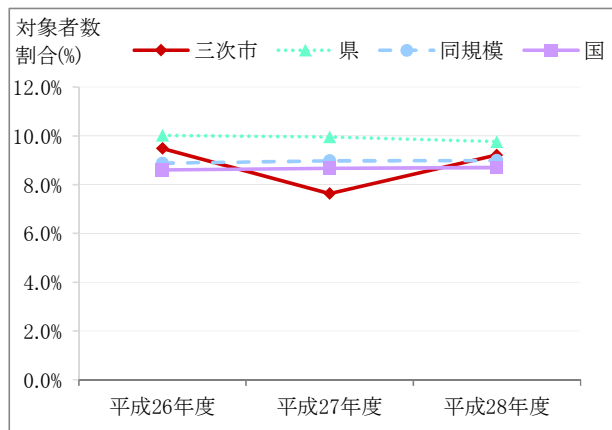
本市の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。
平成28年度の特定保健指導実施率6.8%は平成26年度13.9%より7.1ポイント低下している。

年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
三次市	9.5%	7.6%	9.2%	2.6%	3.0%	2.4%	12.1%	10.6%	11.6%	13.9%	17.4%	6.8%
県	10.0%	10.0%	9.8%	3.2%	2.9%	2.4%	13.2%	12.9%	12.2%	19.2%	19.5%	4.1%
同規模	8.9%	9.0%	9.0%	3.2%	3.0%	2.9%	12.1%	12.0%	11.9%	26.7%	28.3%	5.2%
国	8.6%	8.7%	8.7%	3.4%	3.3%	3.2%	12.0%	12.0%	11.9%	19.9%	20.2%	4.1%

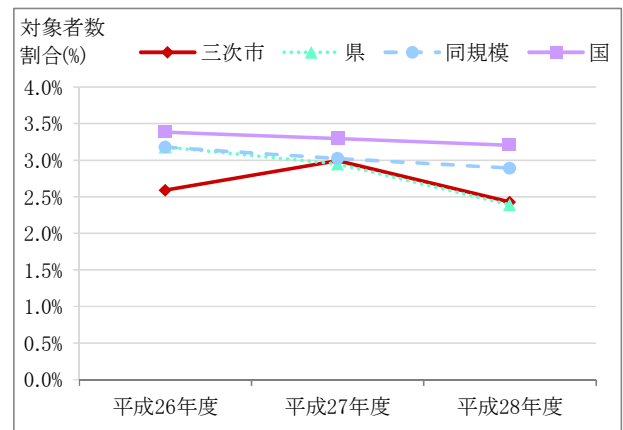
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合



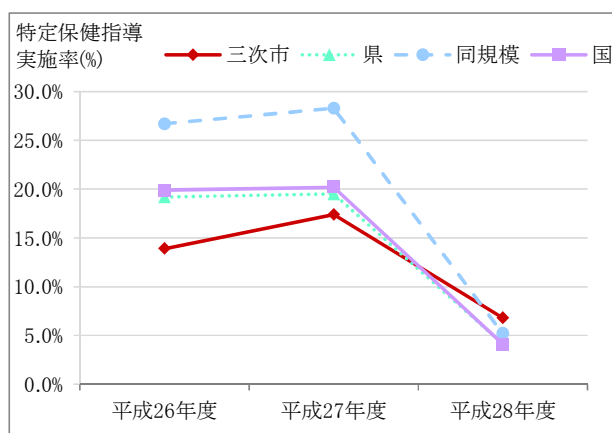
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 積極的支援対象者数割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定保健指導実施率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(4) 介護保険の状況

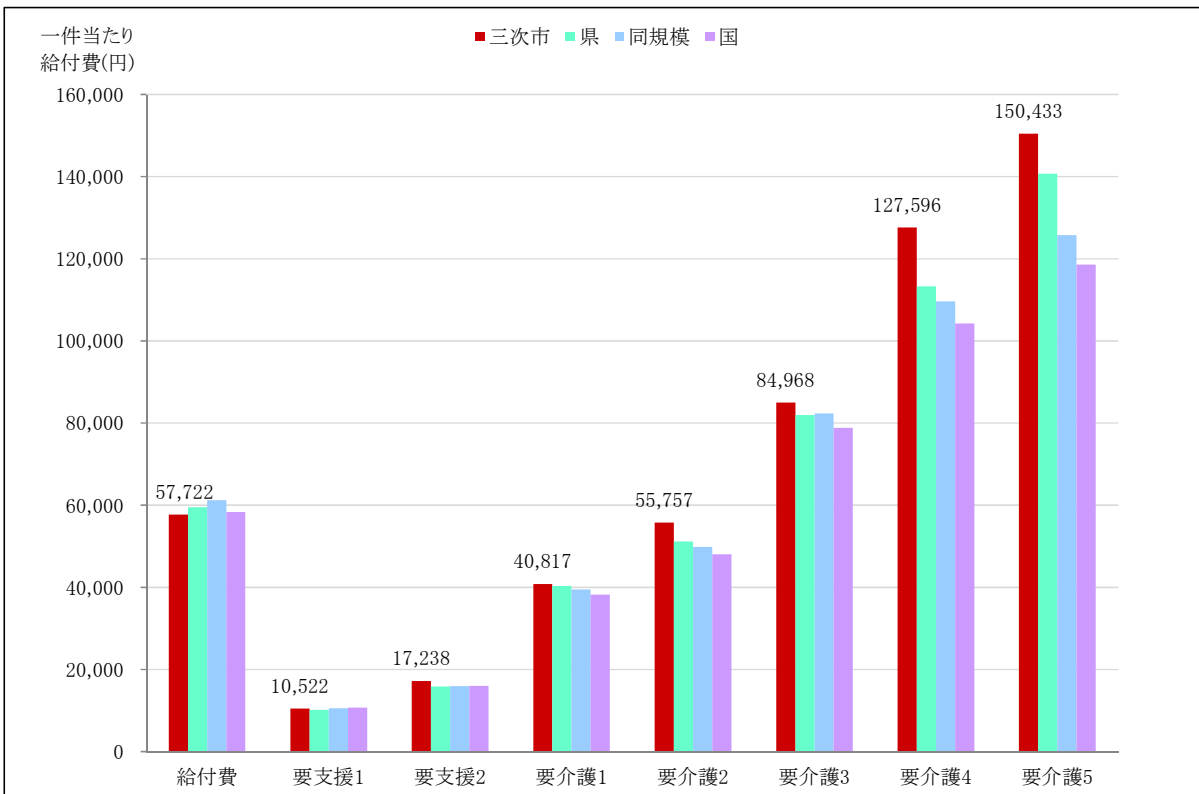
本市の平成28年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。

認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	三次市	県	同規模	国
認定率	26.6%	22.6%	20.2%	21.2%
認定者数(人)	4,779	102,376	913,701	6,034,085
第1号(65歳以上)	4,703	100,499	891,715	5,882,340
第2号(40～64歳)	76	1,877	21,986	151,745
一件当たり給付費(円)				
給付費	57,722	59,456	61,236	58,349
要支援1	10,522	10,213	10,581	10,730
要支援2	17,238	15,892	15,951	15,996
要介護1	40,817	40,346	39,501	38,200
要介護2	55,757	51,202	49,847	48,047
要介護3	84,968	81,929	82,302	78,791
要介護4	127,596	113,270	109,598	104,264
要介護5	150,433	140,671	125,708	118,599

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

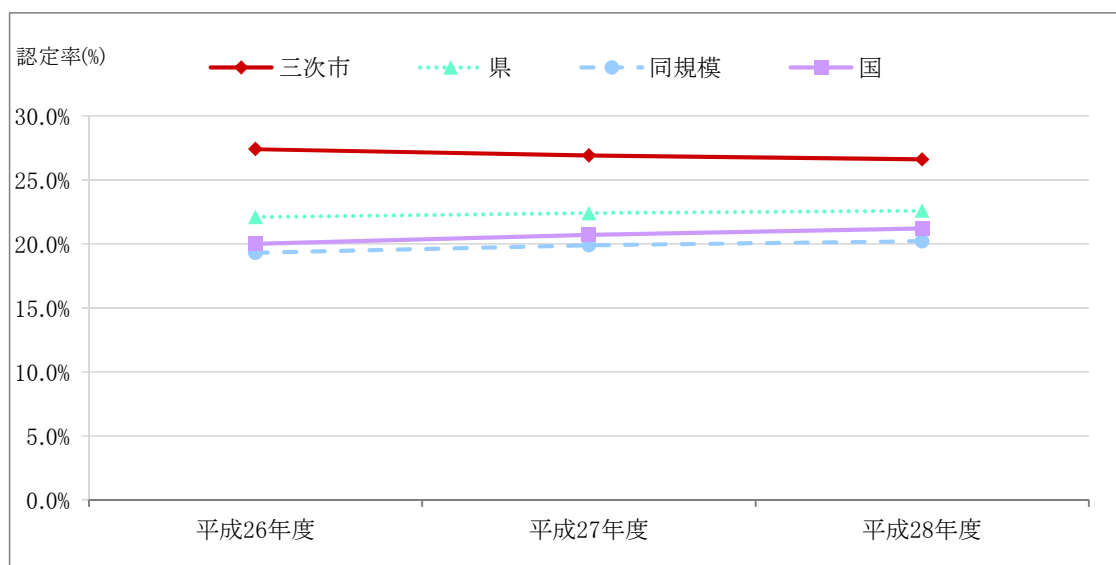
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度認定率26.6%は平成26年度27.4%より0.8ポイント低下しており、平成28年度の認定者数4,779人は平成26年度4,920人より141人減少している。

年度別 認定率及び認定者数

区分	認定率	認定者数(人)		
		第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)	合計
三次市	平成26年度	27.4%	4,920	84
	平成27年度	26.9%	4,817	81
	平成28年度	26.6%	4,779	76
県	平成26年度	22.1%	100,625	2,088
	平成27年度	22.4%	101,689	1,952
	平成28年度	22.6%	102,376	1,877
同規模	平成26年度	19.3%	883,689	23,356
	平成27年度	19.9%	908,391	22,872
	平成28年度	20.2%	913,701	21,986
国	平成26年度	20.0%	5,324,880	145,883
	平成27年度	20.7%	5,751,982	149,599
	平成28年度	21.2%	6,034,085	151,745

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成28年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者数を合計すると16,711人となり、認定者は平均3.5疾病を有していることがわかる。

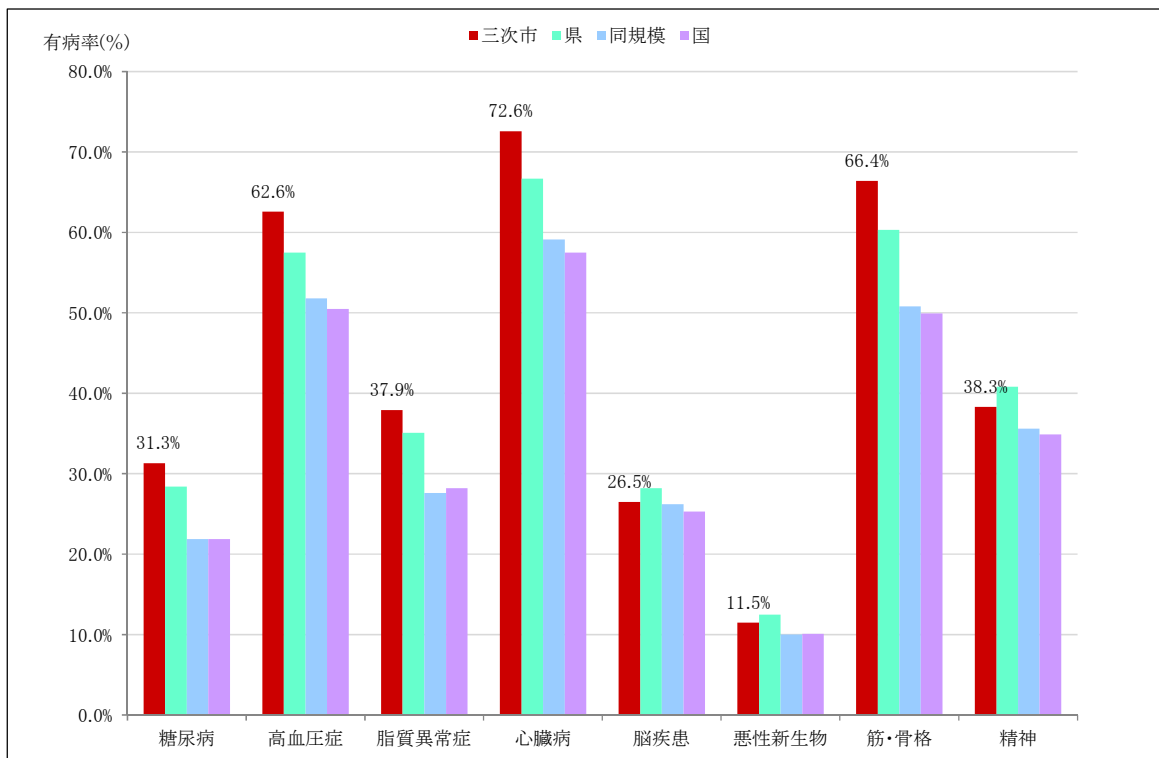
認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分		三次市	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)		4,779		102,376		913,701		6,034,085	
糖尿病	実人数(人)	1,522	6	29,183	6	203,607	7	1,343,240	7
	有病率	31.3%		28.4%		21.9%		21.9%	
高血圧症	実人数(人)	3,018	3	59,461	3	478,594	2	3,085,109	2
	有病率	62.6%		57.5%		51.8%		50.5%	
脂質異常症	実人数(人)	1,813	5	36,322	5	255,994	5	1,733,323	5
	有病率	37.9%		35.1%		27.6%		28.2%	
心臓病	実人数(人)	3,492	1	68,664	1	545,522	1	3,511,354	1
	有病率	72.6%		66.7%		59.1%		57.5%	
脳疾患	実人数(人)	1,243	7	28,842	7	239,267	6	1,530,506	6
	有病率	26.5%		28.2%		26.2%		25.3%	
悪性新生物	実人数(人)	553	8	12,864	8	92,924	8	629,053	8
	有病率	11.5%		12.5%		10.0%		10.1%	
筋・骨格	実人数(人)	3,175	2	61,838	2	468,953	3	3,051,816	3
	有病率	66.4%		60.3%		50.8%		49.9%	
精神	実人数(人)	1,895	4	42,307	4	330,813	4	2,141,880	4
	有病率	38.3%		40.8%		35.6%		34.9%	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成28年度の認定者が有している平均疾病数3.5疾病は平成26年度からほぼ横ばいである。

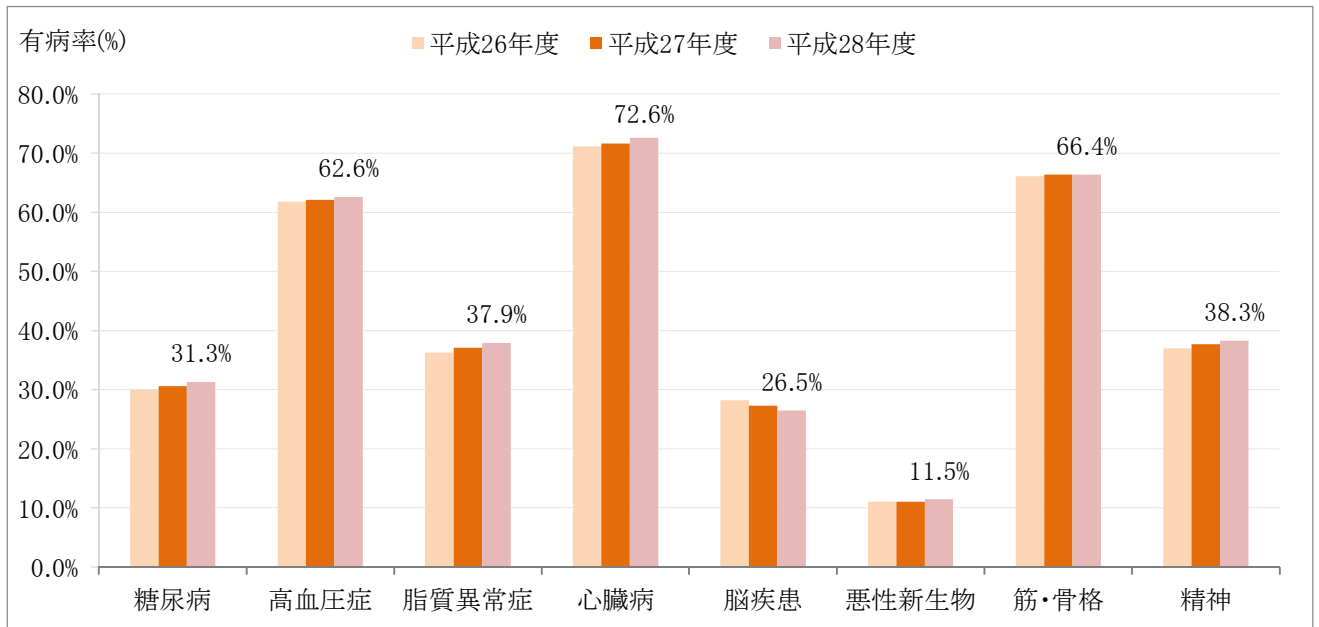
年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

区分	三次市					県			同規模			国				
	平成26年度	順位	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
認定者数(人)	4,920		4,817		4,779		100,625	101,689	102,376	883,689	908,391	913,701	5,324,880	5,751,982	6,034,085	
糖尿病	実人数(人)	1,500	6	1,505	6	1,522	6	28,016	29,280	29,183	180,064	198,628	203,607	1,089,285	1,241,024	1,343,240
	有病率(%)	30.0%		30.6%		31.3%		27.2%	28.2%	28.4%	19.7%	21.5%	21.9%	20.3%	21.4%	21.9%
高血圧症	実人数(人)	3,050	3	3,025	3	3,018	3	58,089	59,250	59,461	429,786	468,849	478,594	2,551,660	2,865,466	3,085,109
	有病率(%)	61.8%		62.1%		62.6%		56.8%	57.6%	57.5%	47.3%	50.9%	51.8%	47.9%	49.7%	50.5%
脂質異常症	実人数(人)	1,823	5	1,803	5	1,813	5	34,720	35,908	36,322	224,805	249,089	255,994	1,386,541	1,586,963	1,733,323
	有病率(%)	36.3%		37.1%		37.9%		33.9%	34.7%	35.1%	24.5%	26.8%	27.6%	25.7%	27.3%	28.2%
心臓病	実人数(人)	3,529	1	3,487	1	3,492	1	67,316	68,507	68,664	491,660	534,422	545,522	2,914,608	3,261,576	3,511,354
	有病率(%)	71.1%		71.6%		72.6%		66.0%	66.7%	66.7%	54.3%	58.2%	59.1%	54.8%	56.7%	57.5%
脳疾患	実人数(人)	1,387	7	1,312	7	1,243	7	29,655	29,426	28,842	223,901	239,223	239,267	1,324,669	1,455,985	1,530,506
	有病率(%)	28.2%		27.3%		26.5%		29.1%	28.9%	28.2%	25.0%	26.2%	26.2%	25.2%	25.4%	25.3%
悪性新生物	実人数(人)	562	8	537	8	553	8	12,288	12,796	12,864	80,701	89,488	92,924	493,808	569,967	629,053
	有病率(%)	11.1%		11.1%		11.5%		11.9%	12.3%	12.5%	8.8%	9.7%	10.0%	9.2%	9.8%	10.1%
筋・骨格	実人数(人)	3,290	2	3,234	2	3,175	2	60,592	61,937	61,838	420,178	457,630	468,953	2,505,146	2,813,795	3,051,816
	有病率(%)	66.1%		66.4%		66.4%		59.4%	60.3%	60.3%	46.3%	49.8%	50.8%	47.1%	48.9%	49.9%
精神	実人数(人)	1,862	4	1,853	4	1,895	4	40,515	41,709	42,307	288,192	318,349	330,813	1,720,172	1,963,213	2,141,880
	有病率(%)	37.0%		37.7%		38.3%		39.5%	40.5%	40.8%	31.6%	34.4%	35.6%	32.2%	33.8%	34.9%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(5) 主たる死因の状況

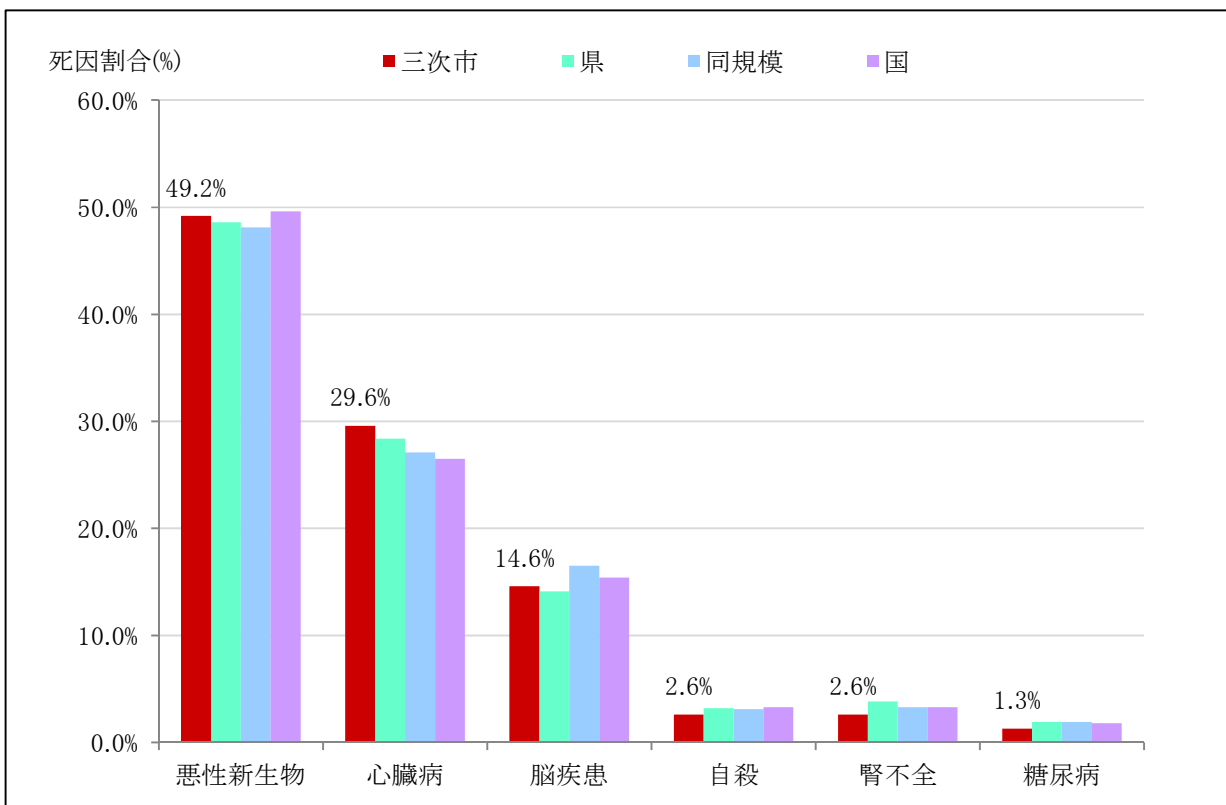
本市の平成28年度における、主たる死因の状況を以下に示す。

主たる死因の状況(平成28年度)

疾病項目	三次市		県	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	223	49.2%	48.6%	48.1%	49.6%
心臓病	134	29.6%	28.4%	27.1%	26.5%
脳疾患	66	14.6%	14.1%	16.5%	15.4%
自殺	12	2.6%	3.2%	3.1%	3.3%
腎不全	12	2.6%	3.8%	3.3%	3.3%
糖尿病	6	1.3%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	453				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

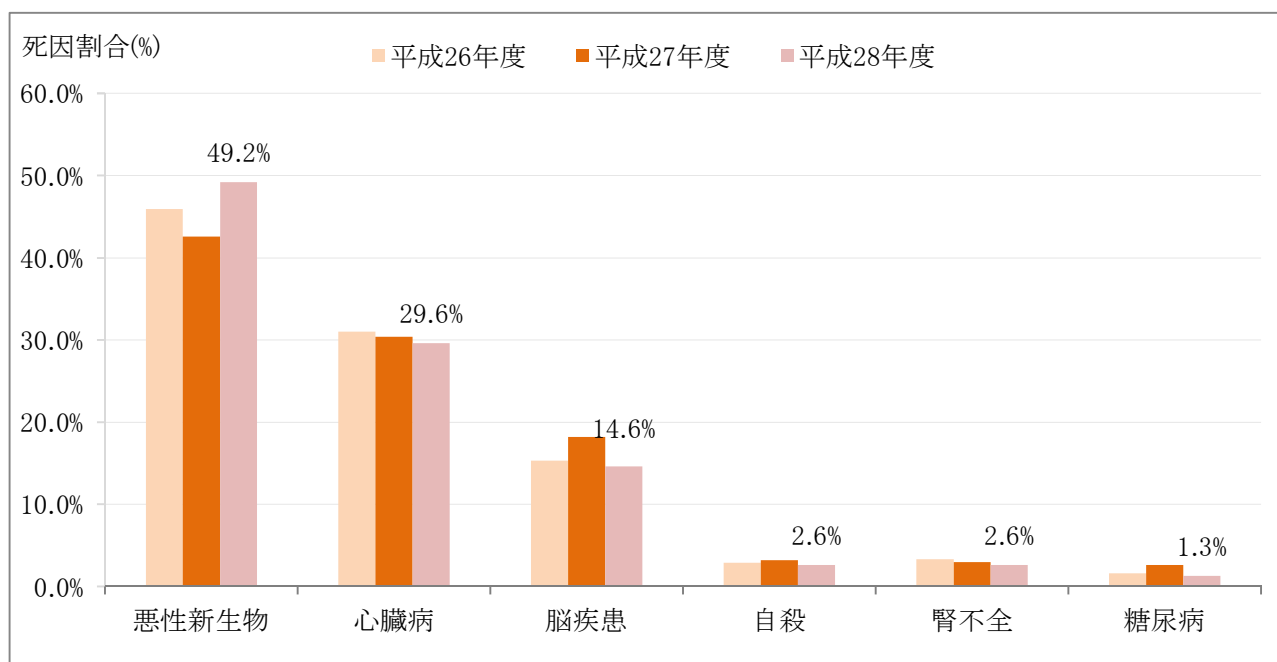
本市の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数223人は平成26年度237人より14人減少しており、心臓病を死因とする人数134人は平成26年度160人より26人減少している。また、脳疾患を死因とする人数66人は平成26年度79人より13人減少している。

年度別 主たる死因の状況

疾病項目	三次市						県			同規模			国		
	人数(人)			割合(%)			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度									
悪性新生物	237	199	223	45.9%	42.6%	49.2%	47.3%	47.8%	48.6%	46.7%	47.5%	48.1%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	160	142	134	31.0%	30.4%	29.6%	28.5%	28.4%	28.4%	27.2%	27.1%	27.1%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	79	85	66	15.3%	18.2%	14.6%	15.2%	15.2%	14.1%	17.2%	16.7%	16.5%	16.3%	15.9%	15.4%
自殺	15	15	12	2.9%	3.2%	2.6%	3.4%	3.2%	3.2%	3.4%	3.4%	3.1%	3.5%	3.5%	3.3%
腎不全	17	14	12	3.3%	3.0%	2.6%	3.7%	3.7%	3.8%	3.5%	3.4%	3.3%	3.4%	3.4%	3.3%
糖尿病	8	12	6	1.6%	2.6%	1.3%	2.0%	1.7%	1.9%	2.0%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	516	467	453												

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)

(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を以下に示す。全5事業のうち、目標達成した事業はなかったが、特定健康診査事業及びジェネリック医薬品差額通知事業においては改善傾向が見られた。全事業において実施体制の見直しが必要である。

実施年度	事業名	事業目的	事業概要
平成27年度 から 平成29年度	特定健康診査事業	メタボリックシンドロームの 早期発見による生活習慣病予防	40歳から74歳の人を対象とし特定健康診査を実施。
平成27年度 から 平成29年度	特定保健指導事業	生活習慣病該当者及び予備群の 減少	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるよう専門職による支援を行う。
平成27年度 から 平成29年度	健診異常値放置者 受診勧奨事業	健診異常値者の医療機関受診	特定健康診査受診後、血糖値・脂質・血圧検査に異常値がある人を特定し、通知書を送付して受診勧奨を行う。
平成27年度 から 平成29年度	重複・頻回受診 啓発指導事業	重複・頻回受診者数の減少	レセプトデータから医療機関への不適切な受診が確認できる対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について看護師による指導を行う。
平成27年度 から 平成29年度	ジェネリック医薬品 差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率 向上	レセプトデータからジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定。通知書を対象者に送ることでジェネリック医薬品への切り替えを促す。

5:目標達成
 4:改善している
 3:横ばい
 2:悪化している
 1:評価できない

実施内容	目標値	達成状況(平成28年度時点)	評価
対象者に受診券と健診の案内を発送。 対象者が受診したかどうかを確認。	平成28年度 特定健康診査受診率 55.0%	特定健康診査受診率 (法定報告) 40.7%	4
指導対象者に利用券を発送。委託業者による集団指導と、市保健師による個別指導により実施。	平成28年度 特定保健指導終了率 41.7%	特定保健指導終了率 (法定報告) 19.9%	3
対象者に医療機関受診勧奨通知を作成し、疾患のパンフレットを同封して郵送。受診医療機関からの受診結果ハガキにより確認。	設定せず	受診勧奨通知数 170通	1
		受診者48人(受診率 28.2%)	1
指導対象者に対して適切な保健指導を行った。指導後に医療機関への受診行動が適正化されているか確認した。	設定せず	指導後効果率 92%	1
		指導完了者の翌月医療費 33.7%減少	1
年12回通知書を発送した。対象者特定や効果検証を業務委託によりレセプトを用いて分析した。	平成29年度 ジェネリック医薬品普及率 70%	ジェネリック医薬品普及率 (後発品のない先発品を除く) 数量ベース 66.9%	4

(2) 第1期データヘルス計画の各事業実施内容

第1期データヘルス計画に基づき実施した事業の詳細は以下の通りである。

① 特定健康診査事業

【実施年度】 平成27年度から平成29年度

【事業目的】 メタボリックシンドロームの早期発見による生活習慣病予防

【事業概要】 40歳から74歳の人を対象とし特定健康診査を実施する。

【実施内容】 対象者を特定し、受診券を発送した。その後、対象者が特定健康診査を受診したかどうかを確認した。

【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
特定健診受診率(%)	50.0%以上	55.0%以上	60.0%以上

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
特定健診受診率(%)	33.4%	40.7%	—

【考察】 平成28年度の受診率は40.7%であり、平成27年度の33.4%から7.3ポイント増加している。国の示す目標受診率60.0%を目標に、実施体制を含め更なる取り組みを検討する。

②特定保健指導事業

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】生活習慣病該当者及び予備群の減少

【事業概要】特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面談や電話、e-mail等で行う。

【実施内容】指導対象者に対して適切な保健指導を行った。健康診査データより検査値の推移を確認した。

【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
特定保健指導終了者数 (人)	144人以上	168人以上	186人以上
特定保健指導実施率(%)	36.7%以上	41.7%以上	45.0%以上

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
特定保健指導終了者数 (人)	54人	79人	—
特定保健指導実施率(%)	17.8%	19.9%	—

【考察】平成28年度の特定保健指導実施率は19.9%であり、平成27年度の17.8%から2.1ポイント増加している。結果に基づき目標値等の見直しを行い、更なる取り組みを検討する。

③健診異常値受診勧奨事業

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】健診異常値を放置している対象者の医療機関受診

【事業概要】特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

【実施内容】健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知を作成し、郵送した。通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行った。

【目標値】 設定せず

【実施状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
通知数(通)	239通	170通	—
受診者数(人)		48人	—

【考察】目標数値を設定せず実施しており平成28年度の通知数は170通であり、平成27年度の239通から69通減少している。対象者の把握方法、時期など事業の実施体制の見直しを行い、効果的な取り組みを検討する。

④重複・頻回受診啓発指導事業

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【事業概要】レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。

【実施内容】指導対象者に対して適切な保健指導を行った。指導後に医療機関への受診行動が適正化されているか確認した。

【目標値】 設定せず

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
指導後効果率(人)	90.5%	92.0%	—
指導完了者の翌月医療費減少率	43.4%	33.7%	—

【考察】平成28年度の指導後効果率は92.0%であり、平成27年度の90.5%から1.5ポイント向上している。啓発指導者の丁寧な指導により高い効果率を継続している。今後は広報等による普及啓発の取り組みも検討する

⑤ジェネリック医薬品差額通知事業

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】ジェネリック医薬品の普及率向上

【事業概要】レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】年12回郵送した。対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討した。

【目標値】 国の掲げる目標値(平成27年6月30日に閣議決定された経済財政運営と改革の基本方針2015(骨太の方針))

	平成29年度
ジェネリック医薬品普及率 (後発品薬品のない先発品を除く・数量ベース)(%)	70.0%以上

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
ジェネリック医薬品普及率 (後発品薬品のない先発品を除く・数量ベース)(%)	61.7%	66.9%	—

【考察】平成28年度の普及率は66.9%であり、平成27年度の61.7%から5.2ポイント向上している。事業を継続し、市広報等による普及啓発の手法も検討する。

3. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、三次市国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均11,637人、レセプト件数は平均15,610件、患者数は平均6,710人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均55,743円となった。

基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	
A	被保険者数(人)	11,992	11,831	11,810	11,757	11,753	11,684	11,644	
B	レセプト件数(件)	入院外	9,711	9,400	9,498	9,370	9,530	9,217	9,303
		入院	358	345	366	307	305	319	338
		調剤	6,244	6,061	6,127	5,938	6,132	5,827	5,948
		合計	16,313	15,806	15,991	15,615	15,967	15,363	15,589
C	医療費(円) ※	397,876,860	383,328,760	374,899,760	364,602,130	386,325,070	371,425,180	380,482,350	
D	患者数(人) ※	6,973	6,797	6,793	6,704	6,791	6,608	6,671	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	33,179	32,400	31,744	31,011	32,870	31,789	32,676	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	24,390	24,252	23,444	23,349	24,195	24,177	24,407	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	57,060	56,397	55,189	54,386	56,888	56,208	57,035	
B/A	受診率(%)	136.0%	133.6%	135.4%	132.8%	135.9%	131.5%	133.9%	
D/A	有病率(%)	58.1%	57.5%	57.5%	57.0%	57.8%	56.6%	57.3%	

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	11,492	11,502	11,483	11,377	11,317	11,637		
B	レセプト件数(件)	入院外	9,263	9,498	8,903	8,891	9,282	9,322	111,866
		入院	333	321	321	337	346	333	3,996
		調剤	5,821	6,115	5,707	5,647	5,891	5,955	71,458
		合計	15,417	15,934	14,931	14,875	15,519	15,610	187,320
C	医療費(円) ※	371,383,520	381,101,470	351,739,290	346,146,510	379,006,680	374,026,465	4,488,317,580	
D	患者数(人) ※	6,651	6,827	6,513	6,533	6,657	6,710	80,518	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	32,317	33,133	30,631	30,425	33,490	32,142		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	24,089	23,918	23,558	23,270	24,422	23,961		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	55,839	55,823	54,006	52,984	56,934	55,743		
B/A	受診率(%)	134.2%	138.5%	130.0%	130.7%	137.1%	134.1%		
D/A	有病率(%)	57.9%	59.4%	56.7%	57.4%	58.8%	57.7%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

平成26年度から平成28年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプトを対象とし年度別に分析する。平成28年度を平成26年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数11,637人は、平成26年度11,784人より147人減少しており、医療費4億8,832万円は平成26年度4億8,361万円より1億9,529万円減少している。また、一カ月平均の患者数6,710人は、平成26年度6,930人より220人減少している。

年度別 基礎統計

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	11,784	11,946	11,637	
B	レセプト件数(件)	入院外	115,840	114,446	111,866
		入院	4,105	4,234	3,996
		調剤	73,022	73,254	71,458
		合計	192,967	191,934	187,320
C	医療費(円) ※	4,683,614,800	4,783,315,550	4,488,317,580	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	6,930	6,862	6,710	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	397,467	400,420	385,699	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	24,272	24,922	23,961	
D/A	有病率(%)	58.8%	57.4%	57.7%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

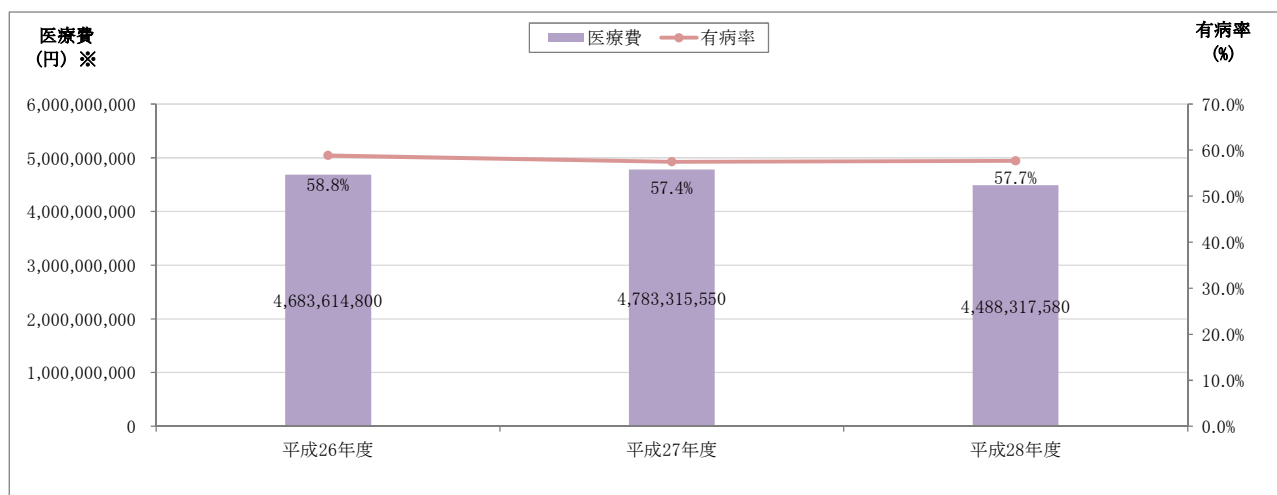
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは1,326件発生しており、レセプト件数全体の0.7%を占める。高額レセプトの医療費は13億657万円となり、医療費全体の29.1%を占める。

高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	16,313	15,806	15,991	15,615	15,967	15,363	15,589
B	高額レセプト件数(件)	100	125	99	109	115	108	130
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.8%	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%
C	医療費(円) ※	397,876,860	383,328,760	374,899,760	364,602,130	386,325,070	371,425,180	380,482,350
D	高額レセプトの医療費(円) ※	110,969,090	118,376,660	95,882,040	99,911,860	125,180,170	105,764,660	119,829,100
E	その他レセプトの医療費(円) ※	286,907,770	264,952,100	279,017,720	264,690,270	261,144,900	265,660,520	260,653,250
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	27.9%	30.9%	25.6%	27.4%	32.4%	28.5%	31.5%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	15,417	15,934	14,931	14,875	15,519	15,610	187,320
B	高額レセプト件数(件)	96	122	111	101	110	111	1,326
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.8%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	
C	医療費(円) ※	371,383,520	381,101,470	351,739,290	346,146,510	379,006,680	374,026,465	4,488,317,580
D	高額レセプトの医療費(円) ※	104,134,550	116,873,470	103,685,970	95,840,150	110,124,190	108,880,993	1,306,571,910
E	その他レセプトの医療費(円) ※	267,248,970	264,228,000	248,053,320	250,306,360	268,882,490	265,145,473	3,181,745,670
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	28.0%	30.7%	29.5%	27.7%	29.1%	29.1%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

平成26年度から平成28年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示す。平成28年度高額レセプト件数1,326件は平成26年度1,319件より7件増加しており、平成28年度高額レセプトの医療費13億657万円は平成26年度12億8,189万円より2,468万円増加している。

年度別 高額レセプトの件数及び医療費

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
A	レセプト件数(件)	192,967	191,934	187,320
B	高額レセプト件数(件)	1,319	1,448	1,326
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.8%	0.7%
C	医療費(円) ※	4,683,614,800	4,783,315,550	4,488,317,580
D	高額レセプトの医療費(円) ※	1,281,887,110	1,365,072,870	1,306,571,910
E	その他レセプトの医療費(円) ※	3,401,727,690	3,418,242,680	3,181,745,670
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	27.4%	28.5%	29.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

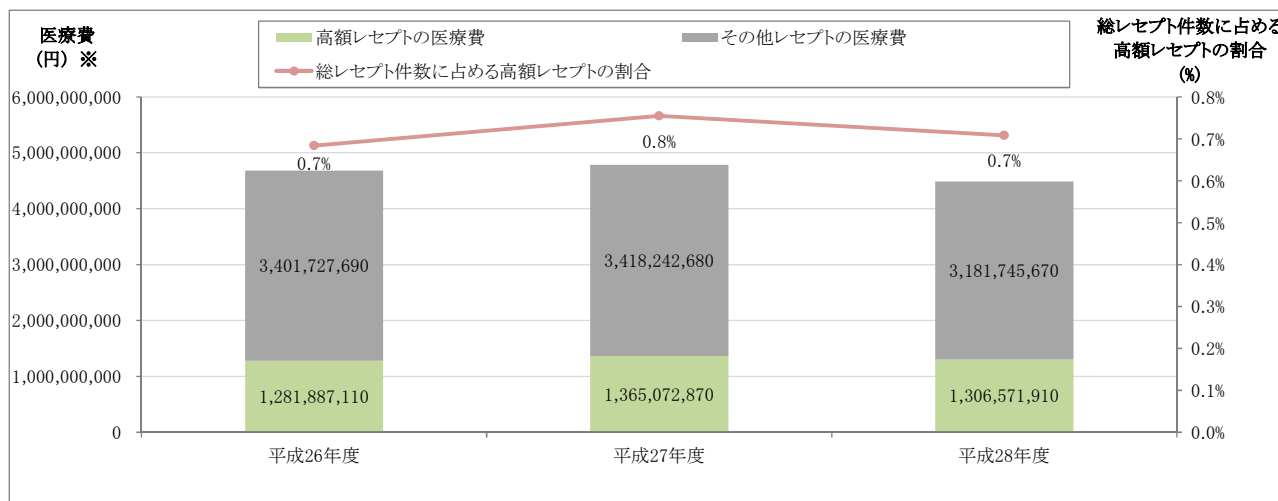
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

年度別 高額レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「骨折」「関節症」である。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 胸部食道癌, 卵巣癌	55	122,569,130	67,803,640	190,372,770	3,461,323
2	1901	骨折	大腿骨転子部骨折, 踵骨骨折, 腓骨遠位端骨折	36	79,623,550	12,752,950	92,376,500	2,566,014
3	1302	関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症, 一側性原発性股関節症	31	78,778,530	14,648,280	93,426,810	3,013,768
4	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性腎後性腎不全	24	47,675,780	87,812,790	135,488,570	5,645,357
5	0903	その他の心疾患	非弁膜症性心房細動, 心房細動, 劇症型心筋炎	23	71,597,910	17,037,340	88,635,250	3,853,707
6	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌, 胃体部癌, 胃進行癌	21	35,022,860	24,188,930	59,211,790	2,819,609
7	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	内側半月板損傷, 肩腱板損傷, 頸髄損傷	20	40,959,870	4,850,130	45,810,000	2,290,500
8	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎, C型非代償性肝硬変	19	16,567,140	70,967,530	87,534,670	4,607,088
8	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌, 上葉肺癌, 肺腺癌	19	43,199,070	69,707,470	112,906,540	5,942,449
10	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 上行結腸癌, 大腸癌	18	25,067,290	19,719,480	44,786,770	2,488,154
11	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頸椎症性脊髄症, 頸椎後縦靭帯骨化症	17	26,735,680	6,377,940	33,113,620	1,947,860
12	0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝細胞癌, 肝癌	14	25,323,690	9,267,960	34,591,650	2,470,832
12	0912	その他の循環器系の疾患	胸部大動脈瘤, 深部静脈血栓症, 破裂性胸部大動脈瘤	14	29,157,040	4,806,470	33,963,510	2,425,965
12	1113	その他の消化器系の疾患	急性胆管炎, 便秘症, 小腸大腸クローン病	14	19,856,840	10,346,820	30,203,660	2,157,404
15	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫, 耳下腺多形腺腫, 耳下腺良性腫瘍	13	35,598,360	9,115,410	44,713,770	3,439,521
15	0704	その他の眼及び付属器の疾患	網膜前膜, 黄斑円孔, 裂孔原性網膜剥離	13	10,965,940	3,874,620	14,840,560	1,141,582
15	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 急性下壁心筋梗塞, ST上昇型急性心筋梗塞	13	28,703,170	4,145,910	32,849,080	2,526,852
15	1111	胆石症及び胆のう炎	総胆管結石, 総胆管結石性胆管炎, 胆のう結石症	13	17,653,920	3,750,100	21,404,020	1,646,463
19	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸癌術後再発	12	18,570,520	13,301,780	31,872,300	2,656,025
20	0402	糖尿病	2型糖尿病, 1型糖尿病, 糖尿病	9	10,887,140	7,122,720	18,009,860	2,001,096

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者数上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成26年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膀胱癌, 甲状腺乳頭癌	49	3,596,824
	2	1901 骨折	膝蓋骨骨折, 大腿骨頸部骨折, 腓骨遠位端骨折	38	2,450,058
	3	1302 関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症, 一側性原発性股関節症	33	2,762,948
	4	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌, 上葉肺癌, 肺癌	27	4,582,609
	5	1402 腎不全	慢性腎不全, 慢性腎臓病ステージG5, 急性腎不全	23	5,395,507
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 卵巣癌, 去勢抵抗性前立腺癌	63	3,356,145
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 大腿骨転子部骨折, 足関節外果骨折	41	2,317,750
	3	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 肺癌	31	4,156,513
	4	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 乳房上外側部乳癌, 乳癌再発	28	2,628,764
	5	1302 関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症, 変形性関節症	27	3,099,318
	5	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全	27	6,255,375
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 胸部食道癌, 卵巣癌	55	3,461,323
	2	1901 骨折	大腿骨転子部骨折, 踵骨骨折, 腓骨遠位端骨折	36	2,566,014
	3	1302 関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症, 一側性原発性股関節症	31	3,013,768
	4	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性腎後性腎不全	24	5,645,357
	5	0903 その他の心疾患	非弁膜症性心房細動, 心房細動, 劇症型心筋炎	23	3,853,707

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「新生物<腫瘍>」が医療費合計の14.7%、「循環器系の疾患」は医療費合計の14.0%と高い割合を占めている。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	170,667,927	3.8%	11	13,315	13	3,386	10	50,404	13
II. 新生物<腫瘍>	657,153,291	14.7%	1	13,978	12	3,550	7	185,114	2
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	38,591,730	0.9%	15	6,439	15	1,505	15	25,642	17
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	464,230,179	10.4%	4	74,527	1	5,890	3	78,817	8
V. 精神及び行動の障害	509,713,627	11.4%	3	18,550	8	1,558	14	327,159	1
VI. 神経系の疾患	256,556,886	5.7%	8	36,263	5	3,088	11	83,082	7
VII. 眼及び付属器の疾患	151,752,403	3.4%	12	21,660	7	3,532	8	42,965	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	16,479,247	0.4%	17	4,900	17	1,113	16	14,806	21
IX. 循環器系の疾患	625,324,245	14.0%	2	72,420	2	5,647	4	110,736	4
X. 呼吸器系の疾患	219,527,662	4.9%	9	33,438	6	6,010	2	36,527	15
X I. 消化器系の疾患 ※	344,484,376	7.7%	6	62,508	3	6,326	1	54,455	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	72,577,122	1.6%	13	17,146	10	3,557	6	20,404	19
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	380,621,788	8.5%	5	51,318	4	5,244	5	72,582	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	280,166,157	6.3%	7	16,409	11	2,799	12	100,095	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	4,048,379	0.1%	19	142	20	60	20	67,473	11
X VI. 周産期に発生した病態 ※	3,006,522	0.1%	21	26	21	17	21	176,854	3
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	12,118,056	0.3%	18	401	19	126	19	96,175	6
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	69,881,050	1.6%	14	18,311	9	3,388	9	20,626	18
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	179,964,555	4.0%	10	9,086	14	2,353	13	76,483	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	21,806,377	0.5%	16	5,801	16	769	17	28,357	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	3,388,541	0.1%	20	1,237	18	225	18	15,060	20
合計	4,482,060,120			186,263		10,740		417,324	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

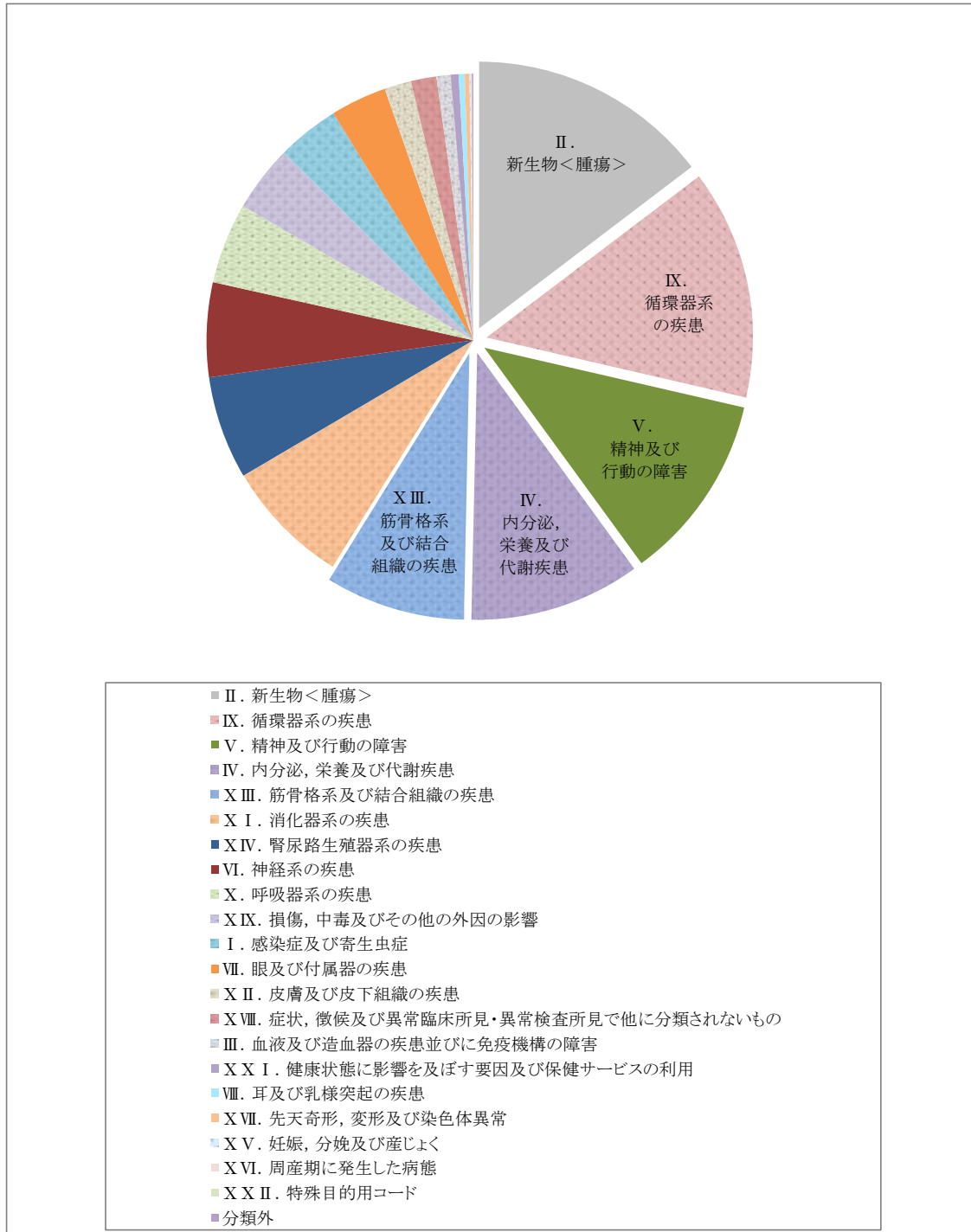
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「新生物<腫瘍>」「循環器系の疾患」「精神及び行動の障害」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」の医療費で高い割合を占める。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。
 株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示す。

年度別 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	147,787,370	3.2%	12	199,431,217	4.2%	10	170,667,927	3.8%	11
II. 新生物<腫瘍>	669,032,434	14.3%	2	721,355,962	15.1%	1	657,153,291	14.7%	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	53,373,854	1.1%	15	36,824,490	0.8%	15	38,591,730	0.9%	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	480,983,686	10.3%	4	493,420,500	10.3%	4	464,230,179	10.4%	4
V. 精神及び行動の障害	553,027,415	11.8%	3	526,748,278	11.0%	3	509,713,627	11.4%	3
VI. 神経系の疾患	276,642,303	5.9%	8	275,856,010	5.8%	8	256,556,886	5.7%	8
VII. 眼及び付属器の疾患	159,918,057	3.4%	11	172,736,168	3.6%	12	151,752,403	3.4%	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	17,910,141	0.4%	16	21,496,047	0.5%	16	16,479,247	0.4%	17
IX. 循環器系の疾患	704,583,338	15.1%	1	683,661,689	14.3%	2	625,324,245	14.0%	2
X. 呼吸器系の疾患	224,410,996	4.8%	9	230,254,772	4.8%	9	219,527,662	4.9%	9
X I. 消化器系の疾患 ※	331,976,544	7.1%	6	344,798,959	7.2%	6	344,484,376	7.7%	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	75,259,031	1.6%	13	79,051,254	1.7%	14	72,577,122	1.6%	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	402,429,912	8.6%	5	375,776,885	7.9%	5	380,621,788	8.5%	5
X IV. 腎尿路生殖系系の疾患	286,504,358	6.1%	7	310,945,349	6.5%	7	280,166,157	6.3%	7
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	6,141,929	0.1%	19	5,648,265	0.1%	19	4,048,379	0.1%	19
X VI. 周産期に発生した病態 ※	5,368,089	0.1%	20	4,480,317	0.1%	20	3,006,522	0.1%	21
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	17,384,973	0.4%	17	11,223,162	0.2%	18	12,118,056	0.3%	18
X VII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	75,245,436	1.6%	14	80,950,371	1.7%	13	69,881,050	1.6%	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	172,576,403	3.7%	10	183,876,397	3.9%	11	179,964,555	4.0%	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	11,339,835	0.2%	18	14,871,626	0.3%	17	21,806,377	0.5%	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	1,694,466	0.0%	21	1,699,762	0.0%	21	3,388,541	0.1%	20
合計	4,673,590,570			4,775,107,480			4,482,060,120		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

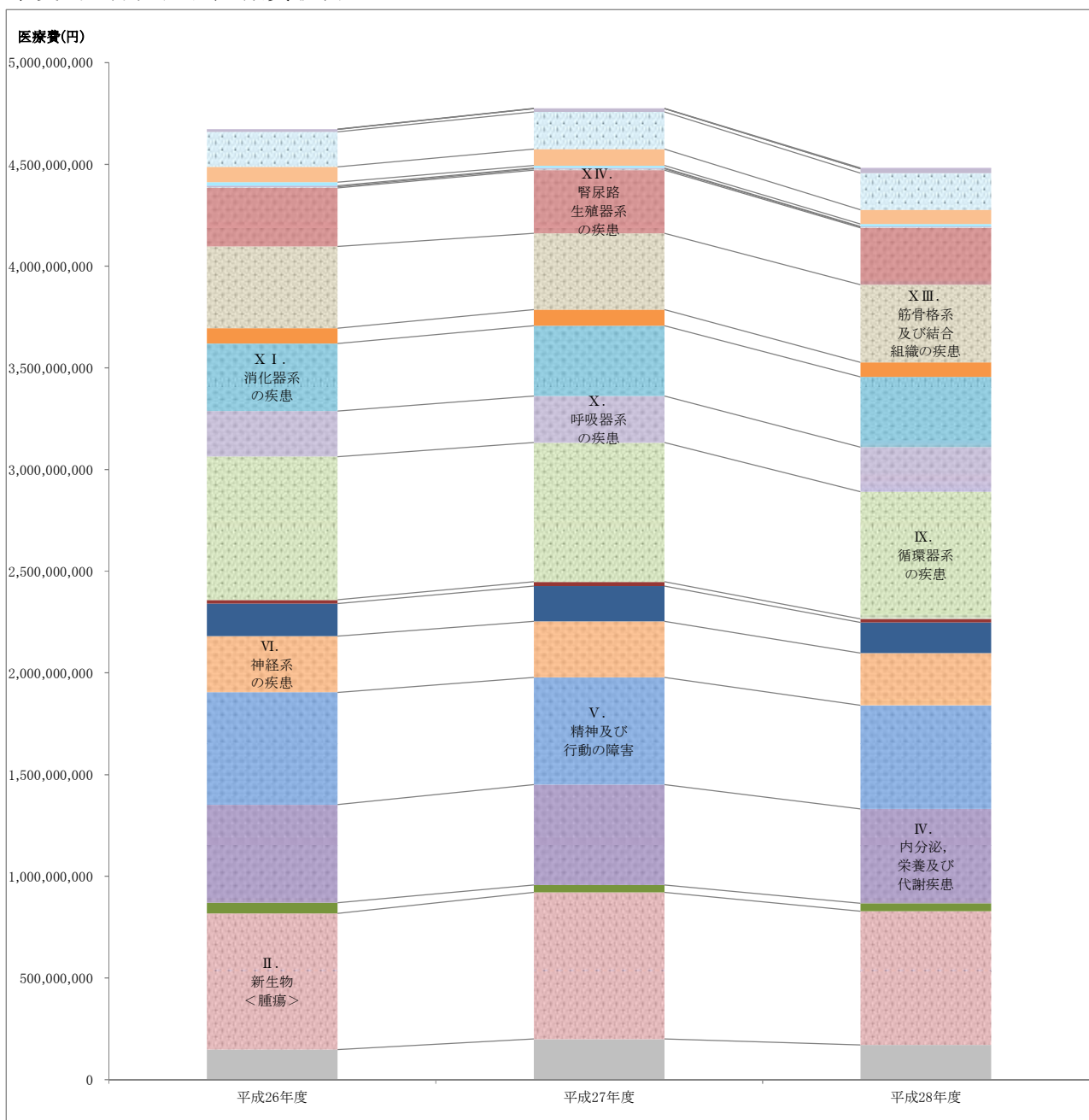
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

②中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	272,138,393	6.1%	511
2	0901	高血圧性疾患	248,277,298	5.5%	4,220
3	0402	糖尿病	237,546,878	5.3%	3,729
4	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	233,935,226	5.2%	1,495
5	1402	腎不全	194,508,053	4.3%	429
6	1113	その他の消化器系の疾患	160,333,277	3.6%	3,705
7	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	158,751,983	3.5%	778
8	0403	脂質異常症	153,596,194	3.4%	3,567
9	0903	その他の心疾患	141,056,796	3.1%	2,187
10	0606	その他の神経系の疾患	129,980,578	2.9%	2,829

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	248,277,298	4,220	39.3%
2	0402	糖尿病	237,546,878	3,729	34.7%
3	1113	その他の消化器系の疾患	160,333,277	3,705	34.5%
4	1105	胃炎及び十二指腸炎	51,994,859	3,655	34.0%
5	0403	脂質異常症	153,596,194	3,567	33.2%
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	69,881,050	3,388	31.5%
7	1202	皮膚炎及び湿疹	37,823,365	2,867	26.7%
8	0606	その他の神経系の疾患	129,980,578	2,829	26.3%
9	0703	屈折及び調節の障害	17,014,290	2,825	26.3%
10	1006	アレルギー性鼻炎	37,956,431	2,701	25.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	55,190,910	63	876,046
2	0506	知的障害<精神遅滞>	21,206,876	39	543,766
3	0209	白血病	14,495,176	27	536,858
4	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	272,138,393	511	532,560
5	1402	腎不全	194,508,053	429	453,399
6	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	28,766,310	70	410,947
7	0904	くも膜下出血	7,051,257	26	271,202
8	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	43,393,066	162	267,858
9	0208	悪性リンパ腫	19,561,307	77	254,043
10	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	115,815,159	478	242,291

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成26年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	309,668,775	6.6%	531
	2	0901 高血圧性疾患	279,477,339	6.0%	4,252
	3	0402 糖尿病	233,043,294	5.0%	3,900
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	225,581,710	4.8%	1,499
	5	1402 腎不全	205,941,708	4.4%	376
	6	0403 脂質異常症	167,899,040	3.6%	3,641
	7	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	162,621,832	3.5%	813
	8	0606 その他の神経系の疾患	147,093,993	3.1%	2,939
	9	1113 その他の消化器系の疾患	137,193,009	2.9%	3,842
	10	0903 その他の心疾患	125,856,137	2.7%	2,247
平成27年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	296,573,323	6.2%	512
	2	0901 高血圧性疾患	271,686,109	5.7%	4,213
	3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	250,207,051	5.2%	1,515
	4	0402 糖尿病	248,584,833	5.2%	3,844
	5	1402 腎不全	226,956,722	4.8%	349
	6	0403 脂質異常症	167,693,371	3.5%	3,660
	7	1113 その他の消化器系の疾患	166,067,811	3.5%	3,879
	8	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	155,369,778	3.3%	830
	9	0606 その他の神経系の疾患	138,253,566	2.9%	2,981
	10	0903 その他の心疾患	135,362,066	2.8%	2,234
平成28年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	272,138,393	6.1%	511
	2	0901 高血圧性疾患	248,277,298	5.5%	4,220
	3	0402 糖尿病	237,546,878	5.3%	3,729
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	233,935,226	5.2%	1,495
	5	1402 腎不全	194,508,053	4.3%	429
	6	1113 その他の消化器系の疾患	160,333,277	3.6%	3,705
	7	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	158,751,983	3.5%	778
	8	0403 脂質異常症	153,596,194	3.4%	3,567
	9	0903 その他の心疾患	141,056,796	3.1%	2,187
	10	0606 その他の神経系の疾患	129,980,578	2.9%	2,829

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者数上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	279,477,339	4,252	37.9%
	2	1105 胃炎及び十二指腸炎	61,929,152	4,056	36.1%
	3	0402 糖尿病	233,043,294	3,900	34.7%
	4	1113 その他の消化器系の疾患	137,193,009	3,842	34.2%
	5	0403 脂質異常症	167,899,040	3,641	32.4%
	6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	75,245,436	3,323	29.6%
	7	0703 屈折及び調節の障害	15,257,243	2,961	26.4%
	8	0606 その他の神経系の疾患	147,093,993	2,939	26.2%
	9	1202 皮膚炎及び湿疹	38,711,109	2,836	25.3%
	10	1006 アレルギー性鼻炎	43,851,370	2,771	24.7%
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	271,686,109	4,213	38.0%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	166,067,811	3,879	35.0%
	3	1105 胃炎及び十二指腸炎	59,804,611	3,864	34.8%
	4	0402 糖尿病	248,584,833	3,844	34.6%
	5	0403 脂質異常症	167,693,371	3,660	33.0%
	6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	80,950,371	3,319	29.9%
	7	0606 その他の神経系の疾患	138,253,566	2,981	26.9%
	8	0703 屈折及び調節の障害	15,571,540	2,932	26.4%
	9	1202 皮膚炎及び湿疹	39,342,692	2,910	26.2%
	10	1006 アレルギー性鼻炎	42,833,627	2,835	25.6%
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	248,277,298	4,220	39.3%
	2	0402 糖尿病	237,546,878	3,729	34.7%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	160,333,277	3,705	34.5%
	4	1105 胃炎及び十二指腸炎	51,994,859	3,655	34.0%
	5	0403 脂質異常症	153,596,194	3,567	33.2%
	6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	69,881,050	3,388	31.5%
	7	1202 皮膚炎及び湿疹	37,823,365	2,867	26.7%
	8	0606 その他の神経系の疾患	129,980,578	2,829	26.3%
	9	0703 屈折及び調節の障害	17,014,290	2,825	26.3%
	10	1006 アレルギー性鼻炎	37,956,431	2,701	25.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成26年度	1	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	64,948,999	72	902,069
	2	0904 くも膜下出血	20,336,030	25	813,441
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	309,668,775	531	583,180
	4	0506 知的障害<精神遅滞>	21,072,813	37	569,535
	5	1402 腎不全	205,941,708	376	547,717
	6	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	2,682,749	5	536,550
	7	0208 悪性リンパ腫	37,613,339	78	482,222
	8	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	26,365,129	65	405,617
	9	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	47,459,846	134	354,178
	10	0209 白血病	7,849,477	27	290,721
平成27年度	1	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	62,061,140	83	747,725
	2	1402 腎不全	226,956,722	349	650,306
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	296,573,323	512	579,245
	4	0209 白血病	12,212,878	22	555,131
	5	0506 知的障害<精神遅滞>	21,176,805	41	516,507
	6	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	31,143,947	64	486,624
	7	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	74,276,371	161	461,344
	8	0905 脳内出血	62,669,292	176	356,076
	9	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	2,072,511	6	345,419
	10	0208 悪性リンパ腫	20,009,342	75	266,791
平成28年度	1	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	55,190,910	63	876,046
	2	0506 知的障害<精神遅滞>	21,206,876	39	543,766
	3	0209 白血病	14,495,176	27	536,858
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	272,138,393	511	532,560
	5	1402 腎不全	194,508,053	429	453,399
	6	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	28,766,310	70	410,947
	7	0904 くも膜下出血	7,051,257	26	271,202
	8	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	43,393,066	162	267,858
	9	0208 悪性リンパ腫	19,561,307	77	254,043
	10	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	115,815,159	478	242,291

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

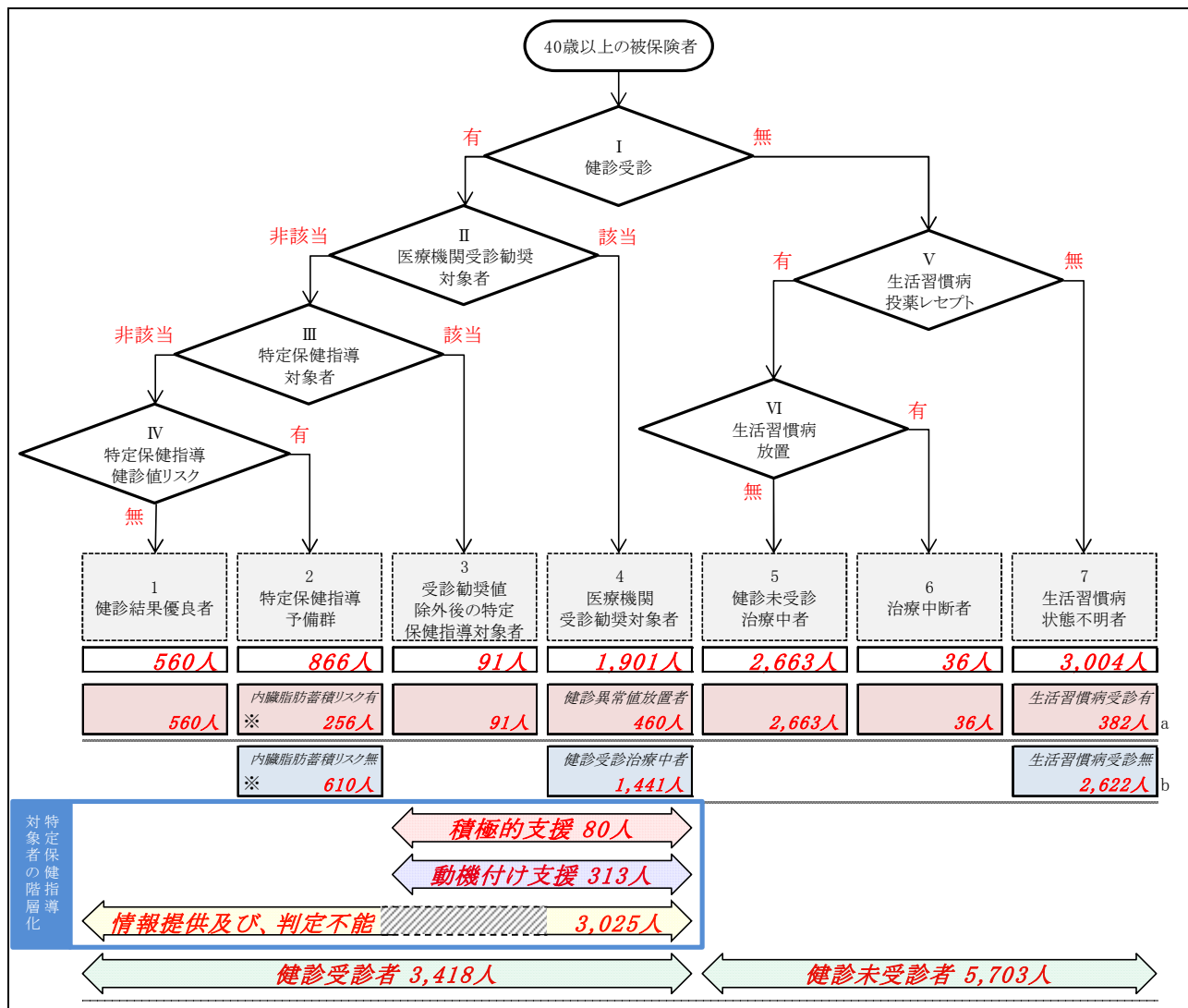
4. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…平成29年3月31日時点。
 各フローの詳細については巻末資料「1. 指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。
 ※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 特定健康診査に係る分析

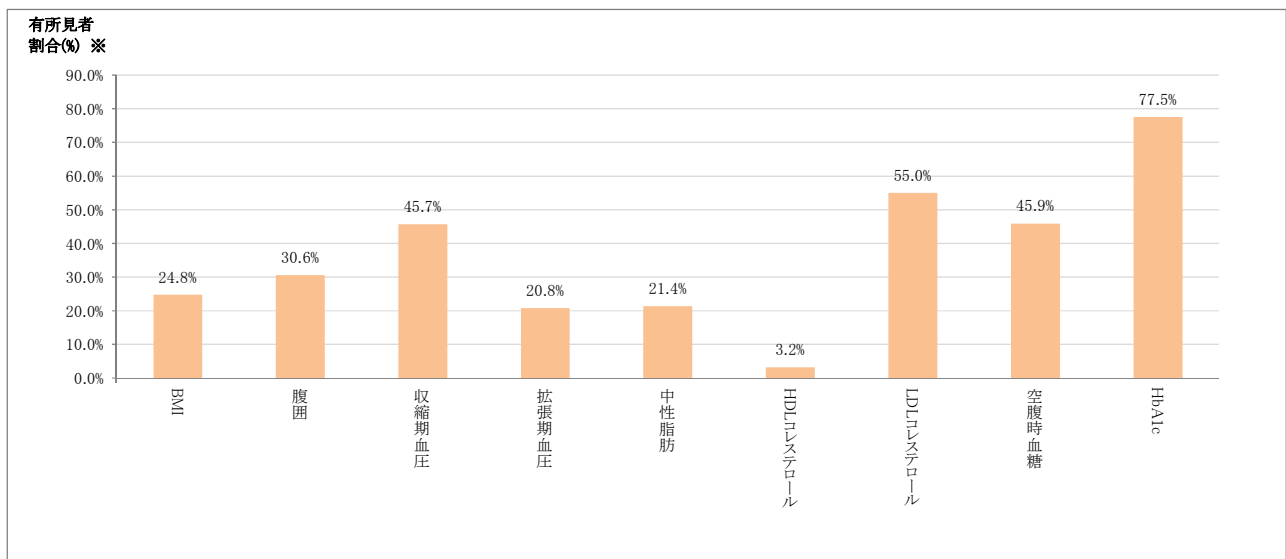
特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	3,418	3,417	3,418	3,418
有所見者数(人) ※	847	1,045	1,563	710
有所見者割合(%) ※	24.8%	30.6%	45.7%	20.8%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	3,417	3,416	3,418	2,789	2,831
有所見者数(人) ※	730	110	1,880	1,280	2,194
有所見者割合(%) ※	21.4%	3.2%	55.0%	45.9%	77.5%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、

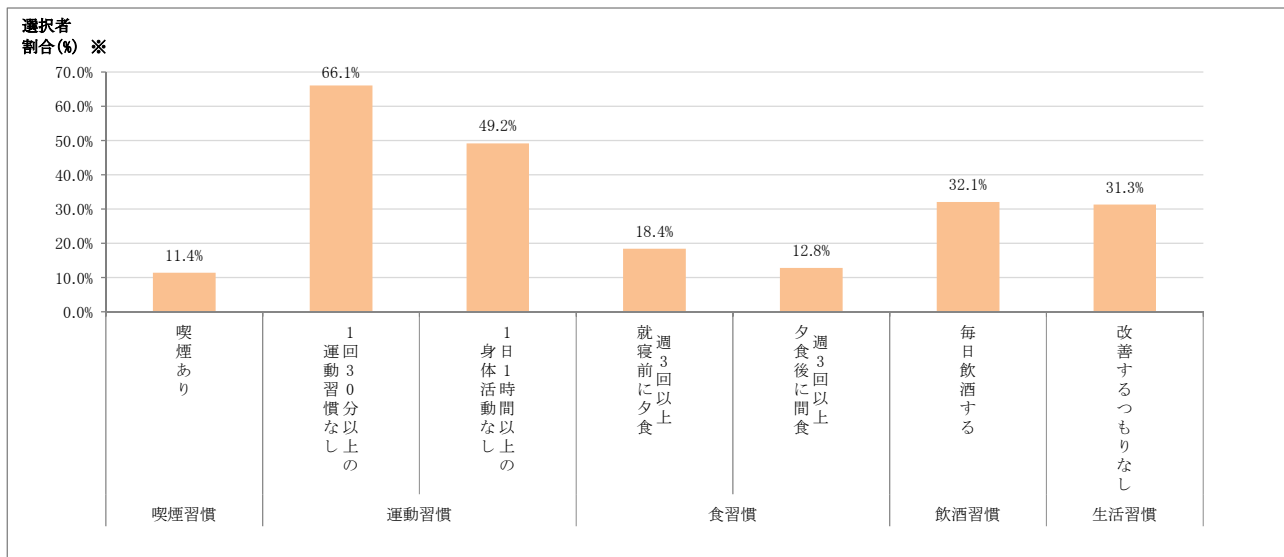
空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

質問別回答状況

	喫煙習慣	運動習慣	
質問の選択肢	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	3,413	3,274	3,262
選択者数(人) ※	390	2,164	1,605
選択者割合(%) ※	11.4%	66.1%	49.2%

	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
質問の選択肢	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	3,272	3,274	3,274	3,217
選択者数(人) ※	603	420	1,052	1,007
選択者割合(%) ※	18.4%	12.8%	32.1%	31.3%

質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

(3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は393人である。このうち、積極的支援の対象者は80人、動機付け支援の対象者は313人である。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者					
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			393人					
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	7人	80人	20%			
	●	●	●			因子数3	血糖+血圧+脂質			18人		
	●	●		●	血糖+血圧+喫煙		1人					
	●	●	●	●	血糖+脂質+喫煙		4人					
		●	●	●	血圧+脂質+喫煙		3人					
	●	●			因子数2	血糖+血圧	15人					
	●		●			血糖+脂質	6人					
	●		●	●		血圧+脂質	11人					
		●		●		血糖+喫煙	8人					
			●	●	因子数1	血圧+喫煙	5人					
			●			脂質+喫煙	2人					
				●		血糖	0人					
					因子数0	血圧	0人					
						脂質	0人					
	動機付け支援				●	因子数4	喫煙			0人	313人	80%
		●	●	●	●		因子数3			なし		
●		●	●		血糖+血圧+脂質+喫煙	6人						
●		●		●	血糖+血圧+脂質	33人						
●		●	●	●	血糖+血圧+喫煙	5人						
		●	●	●	因子数2	血糖+脂質+喫煙	5人					
●		●				血圧+脂質+喫煙	2人					
●		●				血糖+血圧	56人					
●			●		因子数1	血糖+脂質	26人					
●			●	●		血圧+脂質	27人					
		●		●		血糖+喫煙	4人					
		●		●		血圧+喫煙	6人					
			●	●	因子数0	脂質+喫煙	0人					
			●			血糖	54人					
				●		血圧	66人					
					脂質	23人						
				喫煙	0人							
				なし	0人							

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

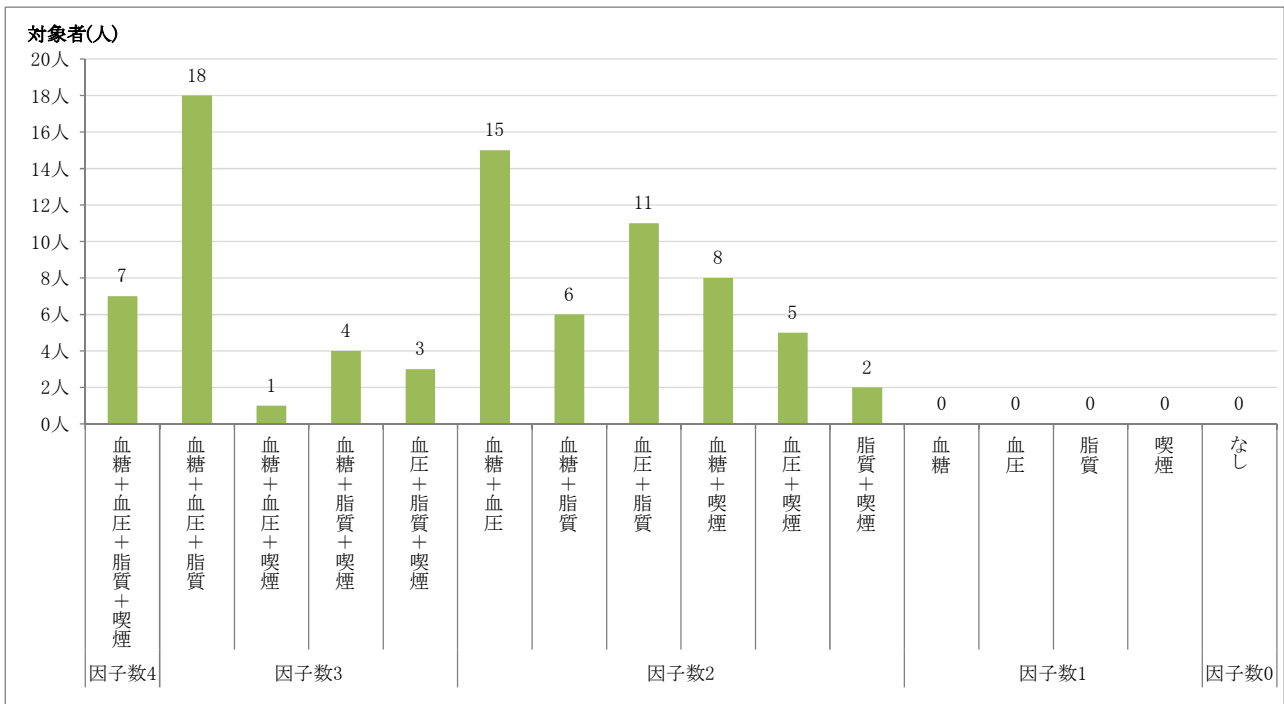
資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

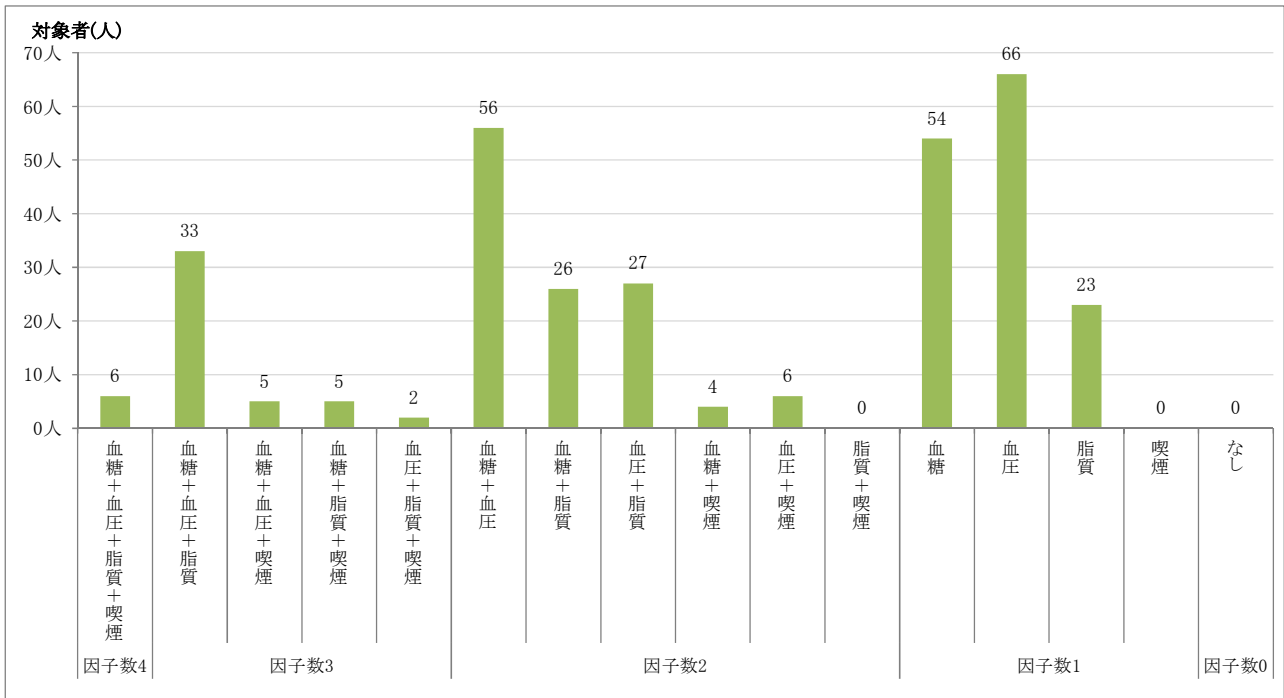
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する460人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 … 健診受診後、4カ月以上医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	460 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、難病等	138 人
除外患者を除いた候補者数		322 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者322人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位			
↑高 効果 ↓低	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 0人	候補者C 4人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 9人	候補者D 57人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 28人	候補者F 224人
		喫煙	非喫煙
←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			322人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者62人が対象となる。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
		候補者人数
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	36 人
	上記以外のグループ	26 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		62 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、難病等	5 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		57 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者57人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定する。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ. 優先順位				
↑高 効果 低↓	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 0人	候補者A2 3人	候補者A3 0人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 2人	候補者B2 4人	候補者B3 0人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 7人	候補者C2 29人	候補者C3 12人
		毎月受診	2~3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1~候補者C3の患者数				57人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月~平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

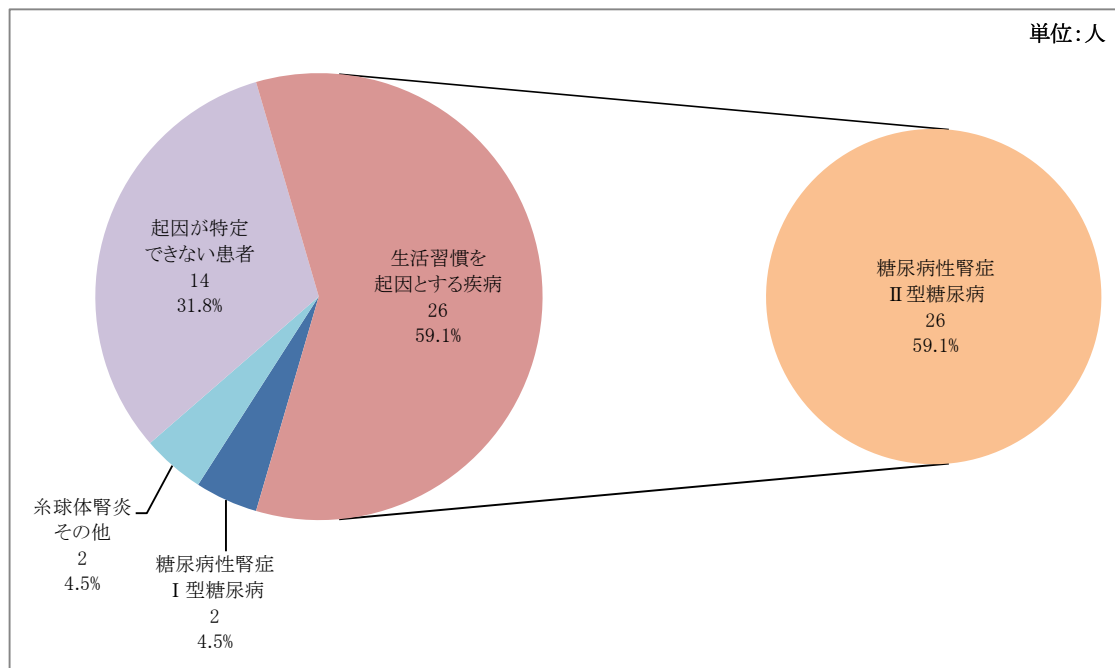
分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、59.1%が生活習慣を起因とするものであり、その59.1%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数	44人
----------------------------------	-----

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

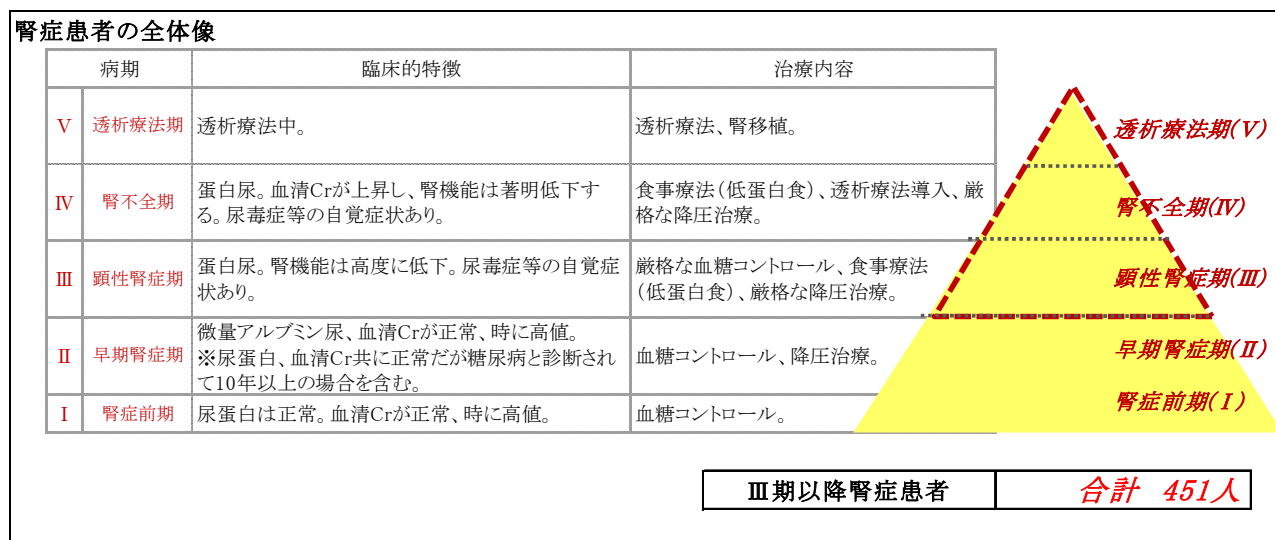
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者451人中105人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

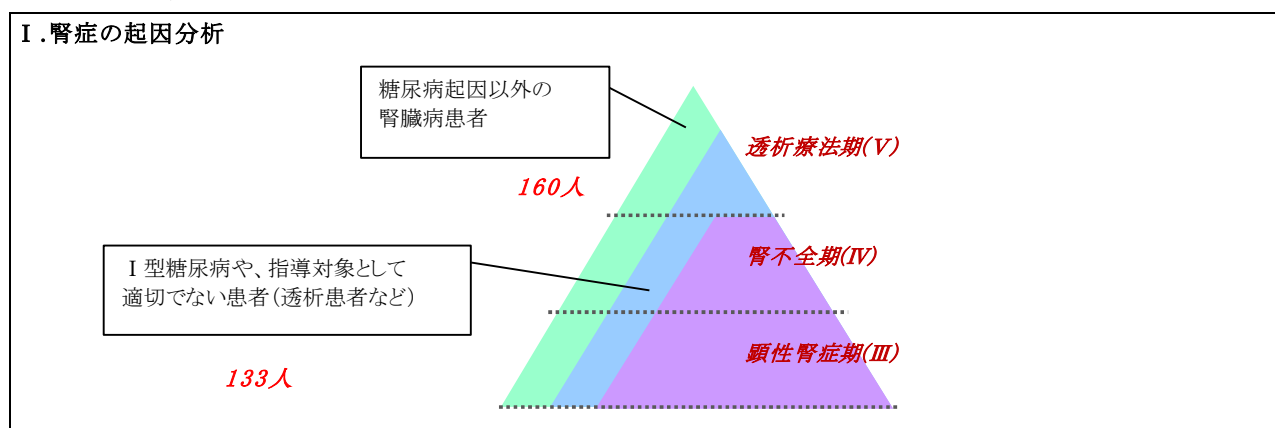
腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、160人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、133人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

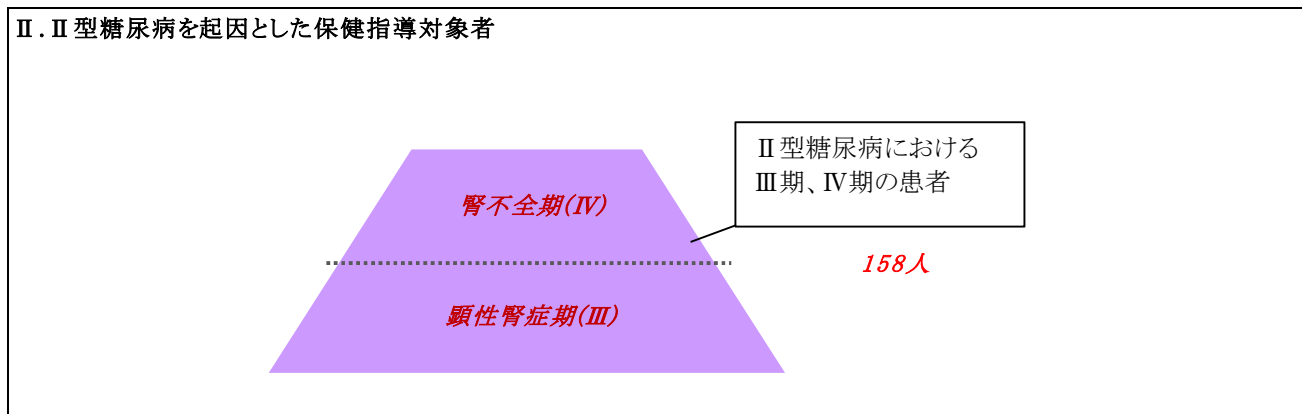
腎症の起因分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて158人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行に近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

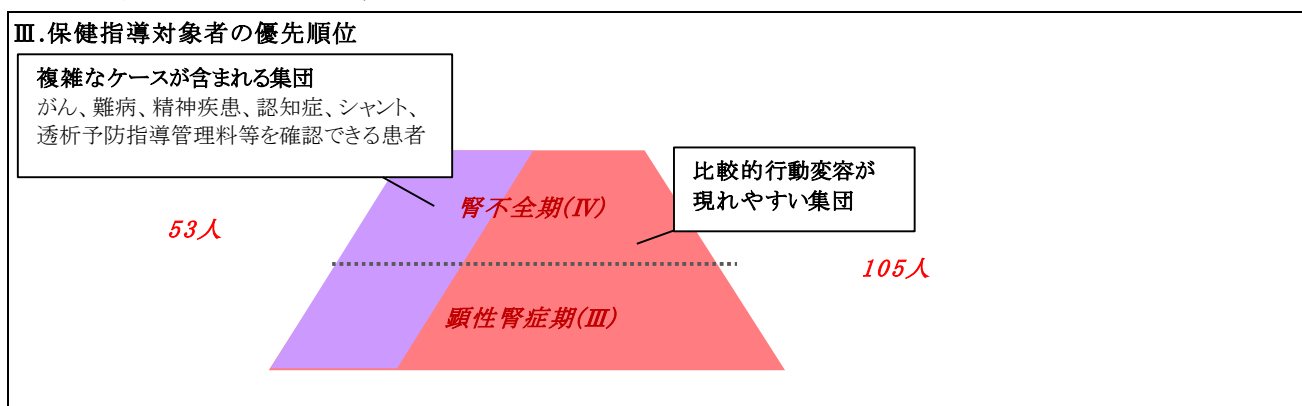


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。158人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、53人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、105人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

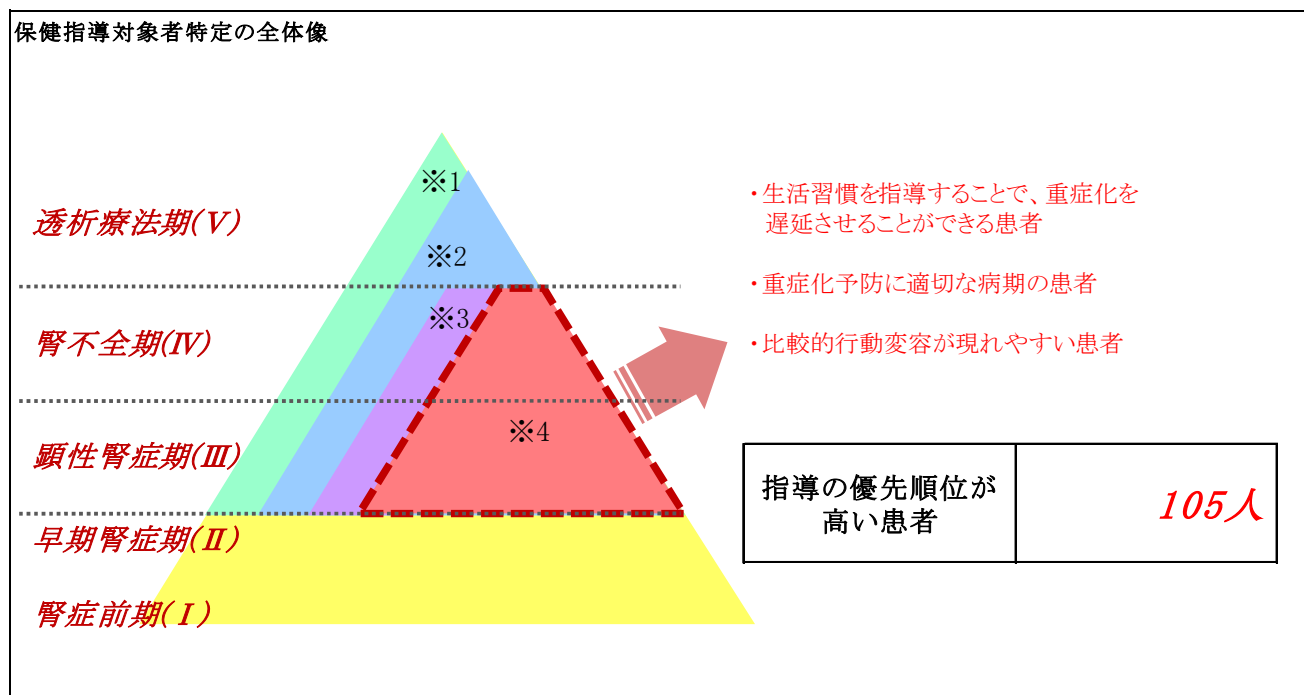
保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、105人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(7) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

重複受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複受診者数(人) ※	9	8	9	11	14	13	8	10	12	11	5	9
12カ月間の延べ人数											119	
12カ月間の実人数											83	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

株式会社データホライゾン特許医療費分解を用いて算出。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
頻回受診者数(人) ※	76	50	64	65	66	68	57	57	41	34	39	55
12カ月間の延べ人数											672	
12カ月間の実人数											243	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者数(人) ※	45	44	36	28	40	33	46	34	45	40	42	42
12カ月間の延べ人数											475	
12カ月間の実人数											201	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は83人、頻回受診者は243人、重複服薬者は201人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に 3医療機関以上 受診している患者	
・頻回受診患者 …1カ月間で 同一医療機関に12回以上 受診している患者	
・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、 同系医薬品の日数合計が60日を超える 患者	
条件設定により候補者となった患者数	487 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	0 人	63 人
除外②	がん、難病等 ※	63 人	
除外患者を除き、候補者となった患者数		424 人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※疑い病名を含む。

次に、残る対象者424人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは56人となった。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ. 優先順位				
↑ 高 効果 ↓ 低	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 19人	候補者C 5人	候補者 としない 368人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 22人	候補者D 2人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E 6人	候補者F 2人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
←良 効率 悪→				
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数				56人

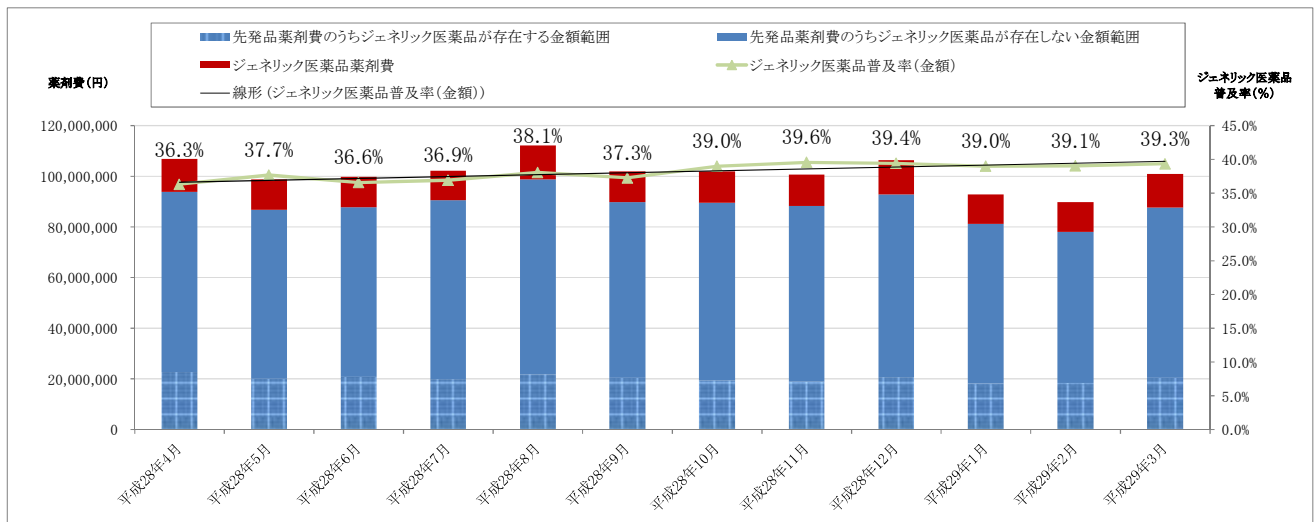
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は38.2%(金額ベース)、66.9%(数量ベース)である。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

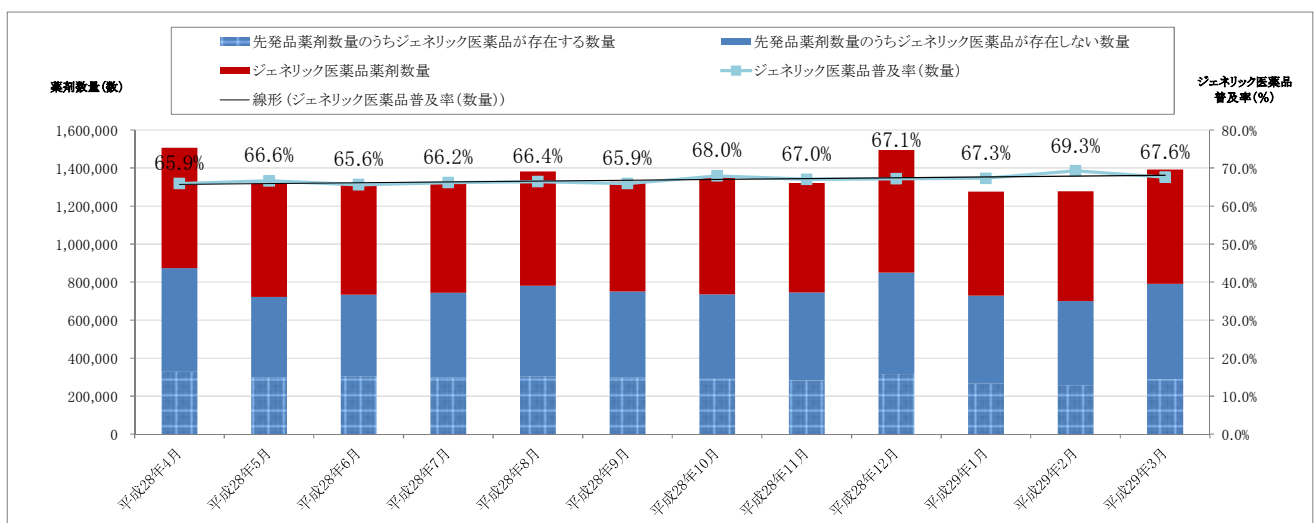


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



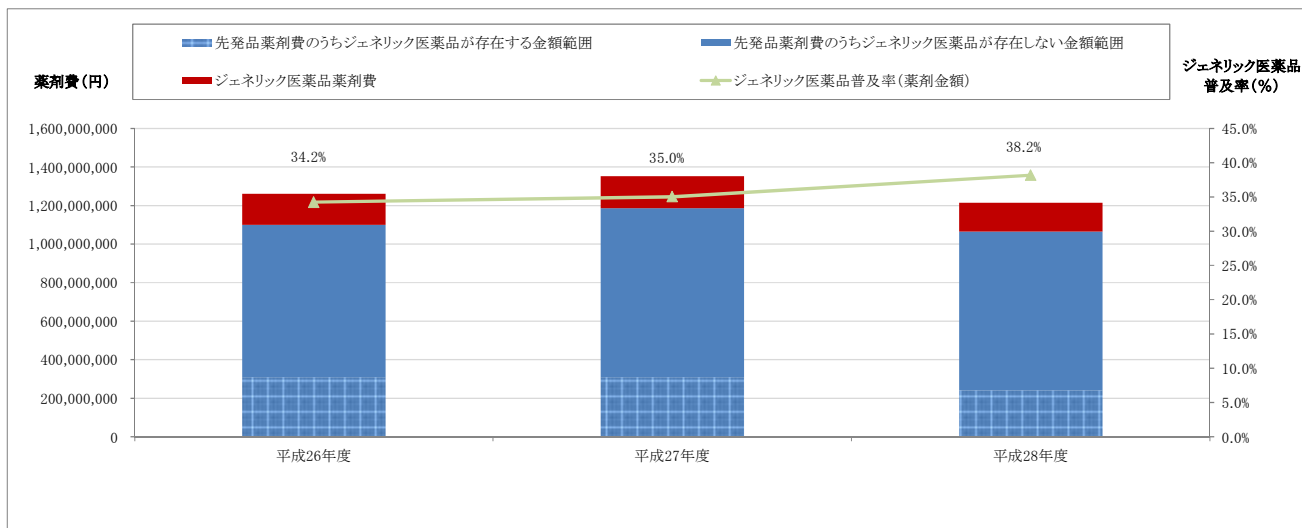
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

平成26年度から平成28年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示す。平成28年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)38.2%は、平成26年度34.2%より4.0ポイント上昇しており、平成28年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)66.9%は、平成26年度58.4%より8.5ポイント上昇している。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

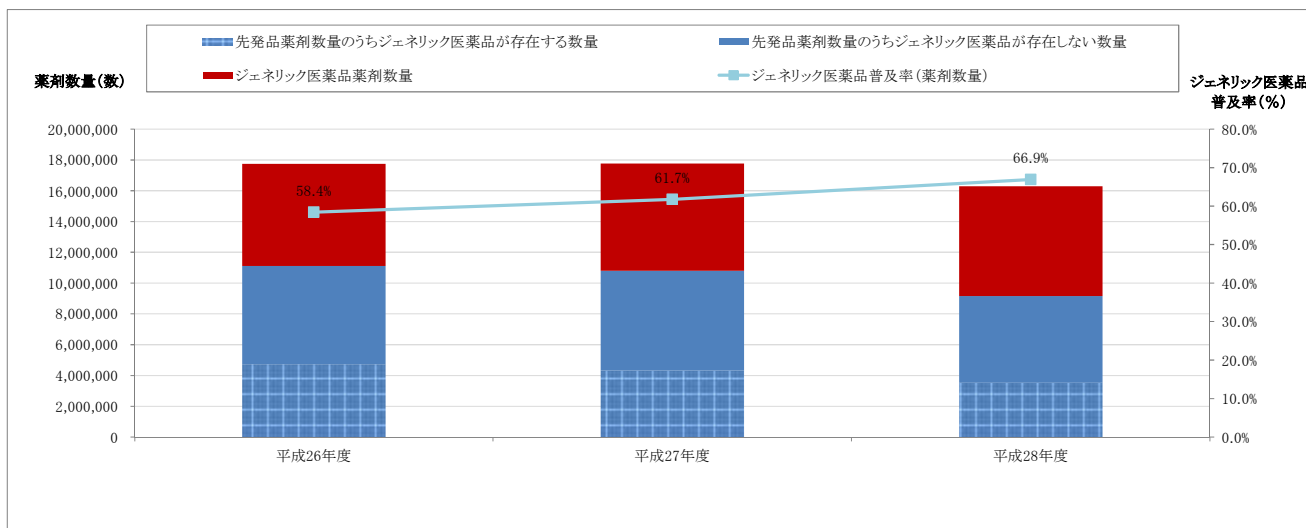


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



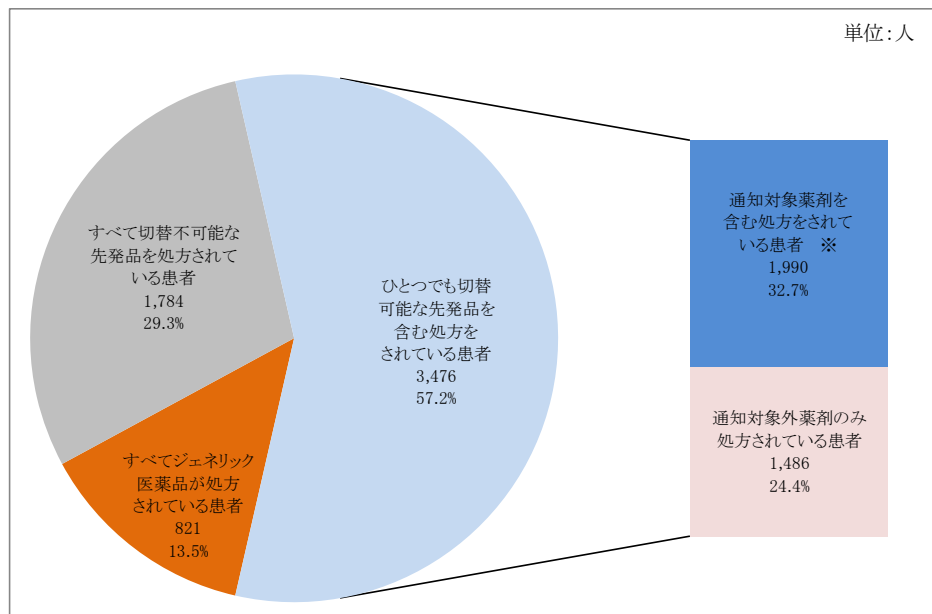
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、平成29年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は6,081人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は3,476人で患者数全体の57.2%を占める。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、1,990人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の32.7%となる。

薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

5. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 分析結果

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)における分析結果を以下に示す。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	新生物<腫瘍>	657,153,291円
2位	循環器系の疾患	625,324,245円
3位	精神及び行動の障害	509,713,627円

患者数が多い疾病		患者数
1位	消化器系の疾患	6,326人
2位	呼吸器系の疾患	6,010人
3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	5,890人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	精神及び行動の障害	327,159円
2位	新生物<腫瘍>	185,114円
3位	周産期に発生した病態	176,854円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	272,138,393円
2位	高血圧性疾患	248,277,298円
3位	糖尿病	237,546,878円

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	4,220人
2位	糖尿病	3,729人
3位	その他の消化器系の疾患	3,705人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	876,046円
2位	知的障害<精神遅滞>	543,766円
3位	白血病	536,858円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	1,326件
高額レセプト件数割合	0.7%
高額レセプト医療費割合	29.1%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者一人当たりの医療費
1位	その他の理由による保健サービスの利用者	12,488,520円
2位	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,913,155円
3位	悪性リンパ腫	6,155,153円

【健診異常値放置者の状況】

健診異常値放置者	460人
----------	------

【生活習慣病治療中断者の状況】

生活習慣病治療中断者	62人
------------	-----

【人工透析患者の状況】

人工透析患者	44人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	26人

【医療機関受診状況】

重複受診者	83人
頻回受診者	243人
重複服薬者	201人

※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)期間中の実人数

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率	66.9%
--------------	-------

【薬剤併用禁忌の発生状況】

薬剤併用禁忌対象者	427人
-----------	------

【服薬状況】

長期多剤服薬者	880人
---------	------

平成26年度から平成28年度における疾病分類別の順位、高額レセプトの件数と割合等を年度別に示す。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成26年度	1位	循環器系の疾患	704,583,338円
	2位	新生物<腫瘍>	669,032,434円
	3位	精神及び行動の障害	553,027,415円
平成27年度	1位	新生物<腫瘍>	721,355,962円
	2位	循環器系の疾患	683,661,689円
	3位	精神及び行動の障害	526,748,278円
平成28年度	1位	新生物<腫瘍>	657,153,291円
	2位	循環器系の疾患	625,324,245円
	3位	精神及び行動の障害	509,713,627円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成26年度	1位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	309,668,775円
	2位	高血圧性疾患	279,477,339円
	3位	糖尿病	233,043,294円
平成27年度	1位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	296,573,323円
	2位	高血圧性疾患	271,686,109円
	3位	その他の悪性新生物<腫瘍>	250,207,051円
平成28年度	1位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	272,138,393円
	2位	高血圧性疾患	248,277,298円
	3位	糖尿病	237,546,878円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

平成 26 年度	高額レセプト件数	1,319件
	高額レセプト件数割合	0.7%
	高額レセプト医療費割合	27.4%
平成 27 年度	高額レセプト件数	1,448件
	高額レセプト件数割合	0.8%
	高額レセプト医療費割合	28.5%
平成 28 年度	高額レセプト件数	1,326件
	高額レセプト件数割合	0.7%
	高額レセプト医療費割合	29.1%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)			患者一人当たりの医療費
平成 26 年度	1位	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	7,414,760円
	2位	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	6,257,448円
	3位	知的障害<精神遅滞>	6,118,700円
平成 27 年度	1位	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,825,365円
	2位	骨の密度及び構造の障害	6,572,630円
	3位	腎不全	6,255,375円
平成 28 年度	1位	その他の理由による保健サービスの利用者	12,488,520円
	2位	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,913,155円
	3位	悪性リンパ腫	6,155,153円

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ジェネリック医薬品 普及率	58.4%	61.7%	66.9%

(2)分析結果に基づく課題とその対策

分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率 疾病大分類や疾病中分類において生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額である。特定健康診査の受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の受診勧奨 ・特定保健指導の実施
<p>◆健診異常値放置者・生活習慣病治療中断者 健診異常値放置者、生活習慣病治療中断者が存在する。医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ重症化を予防する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健診異常値放置者受診勧奨 ・生活習慣病治療中断者受診勧奨
<p>◆糖尿病性腎症 人工透析患者のうちⅡ型糖尿病起因の患者が存在する。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。そこで早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができると考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防
<p>◆重複・頻回受診者、重複服薬者 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在し、それらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受診行動適正化指導
<p>◆ジェネリック医薬品の普及率 国が定める現在の目標(80%以上)と比較して低いため、切り替え勧奨を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品差額通知

第3章 保健事業実施計画

1. 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

優先順位	事業名	第1期計画での問題点等
3	特定健康診査 受診勧奨事業	<ul style="list-style-type: none">・ 医師会の協力を得てみなし健診の情報提供が増加した・ 受診勧奨を見据えた健診日程計画・ 未受診者把握方法が確立していない
4	特定保健指導事業	<ul style="list-style-type: none">・ 保健指導を受けられる医療機関が少ない・ 保健指導対象者把握方法が簡易でない
5	健診異常値放置者受診 勧奨事業	<ul style="list-style-type: none">・ 対象者の把握方法が簡易でなく、医療機関受診状況の確認がないまま通知 発送した
6	糖尿病重症化予防事業	<ul style="list-style-type: none">・ 実施していない。
2	重複・頻回受診啓発 指導事業	<ul style="list-style-type: none">・ 9割以上の改善効果があるが、指導対象の余地はまだある状態。・ 継続指導するも改善がみられない頻回受診者もいる
1	ジェネリック医薬品 差額通知事業	<ul style="list-style-type: none">・ 事業開始後から着実に薬剤費削減効果を出しており、今後もジェネリック 医薬品への切り替え余地はある状態

改善案	目標値		
	アウトプット	アウトカム	
		短期目標	中長期目標
受診勧奨対象者の把握方法を確立 効果的な受診勧奨方法の検討	健診未受診者への受診勧奨通知率100% (勧奨対象者に限る)	受診勧奨通知者の受診率 10%	特定健康診査受診率 (法定報告)60%
実施方法の見直し ・健診受診当日の初回指導実施 対象者の把握方法の確立	特定保健指導対象者への アプローチ100%	特定保健指導実施率が 前年度から5%向上	特定保健指導実施率 (法定報告)45% 内臓脂肪症候群該当者及び 予備軍者割合20.9%
適切な対象者の把握方法を確立 効果的な通知対象者の検討	適切な対象者への受診勧奨通知率100%	通知後の医療機関受診率 20%	健診異常値放置者割合が 平成28年度と比較して25% 減少
糖尿病重症化予防事業の実施 ・医師会への協力要請 ・国保連合会共同事業の参加	保健指導実施者数10名	対象者への医療機関受診 勧奨率100%	指導後の人工透析移行者 0人
事業の継続 普及啓発 ・広報誌等を活用し適正受診を 啓発	指導対象者へのアプロー チ100%	対象者の指導実施率 90%以上	指導完了者の受診行動 適正化率90%以上
事業の継続 普及啓発 ・広報誌等を活用しジェネリック 医薬品使用を啓発	対象者への通知率100%	通知対象者のジェネリッ ク医薬品普及率が前年度 から5%向上	平成32年度80% 以後国の目標数値を 目指す

2. 全体スケジュール

各事業におけるスケジュールについて以下に示す。

事業名	第1期			第2期					
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度
特定健康診査 受診勧奨事業	実施		評価	P	D	CA	P	D	CA
特定保健指導事業	実施		評価	P	D	CA	P	D	CA
健診異常値放置者 受診勧奨事業	実施		評価	P	D	CA	P	D	CA
生活習慣病治療 中断者受診勧奨事業	実施		評価	P	D	CA	P	D	CA
糖尿病性腎症 重症化予防事業	実施		評価	P	D	CA	P	D	CA
受診行動適正化 指導事業 (重複・頻回受診、重複服薬)	実施		評価	P	D	CA	P	D	CA
ジェネリック 医薬品差額通知事業	実施		評価	P	D	CA	P	D	CA

3. 各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

(1) 特定健康診査受診勧奨事業

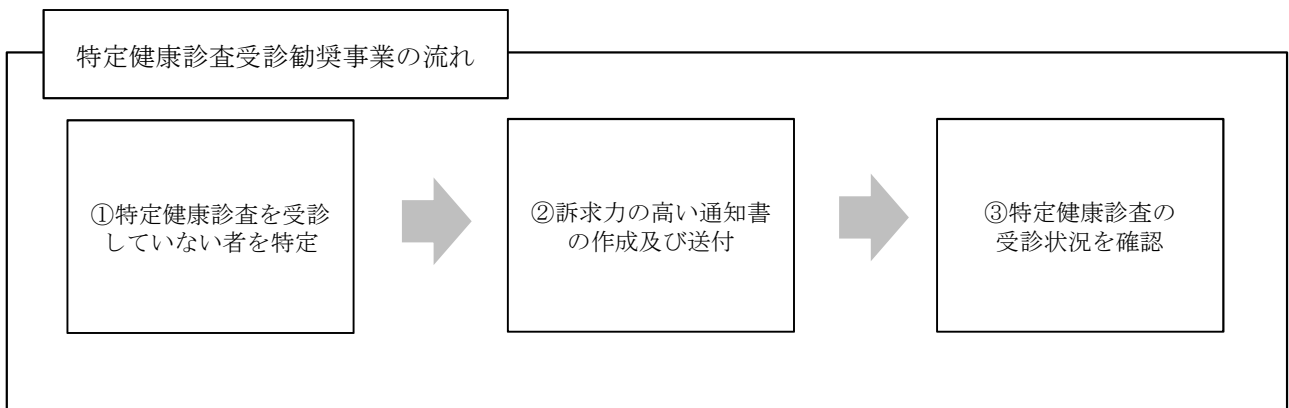
【事業目的】

特定健康診査の受診率向上

【事業概要】

特定健康診査を受診していない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。

【実施内容】



通知書デザイン

健診実施医療機関

1 受診券・資料の確認
XX市から受診券と「特定健診・特定保健指導のご案内」を被保険者様へお届けしています。

2 健診のお申し込み
受診券に同封されている「健診実施医療機関一覧」または、このハガキの裏面の「健診実施医療機関一覧」に記載のある医療機関へ直接予約してください。

3 健診を受診
保険証と、受診券を持参の上、予約した医療機関で健診を受診してください。

4 健診結果の通知
健診の結果は、受診した医療機関で説明をします。

5 特定保健指導のご案内
健診データから、特定保健指導の対象となる方には利用券を送付します。

XX市国民健康保険課
ご不明な点はこちらまで
XXX-XXX-XXXX

特定健診の基本的な検査項目

- ・問診
- ・診察
- ・身体計測
- ・血圧測定
- ・血中脂質検査
- ・血糖検査

XXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXX

●●●● 様

国民健康保険の被保険者のあなたへ大切なお知らせです。

平成24年・25年の健診を受診していない方にお送りしている健診を受診された方、資格を喪失された方につきましては行方不明のためご容赦願います。

XX市国民健康保険課
ご不明な点はこちらまで
XXX-XXX-XXXX

OPEN 矢印の方向に、ゆっくりと開いて中をご確認ください。
※封筒の裏面に貼ってある封筒は、十分に開かれています。ゆっくりと開いてください。

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値	評価方法	
対象者への通知率 100%	短期	受診勧奨通知者の特定健康診査受診率 10%	事業対象者のうち特定健康診査を受診した人数より確認する。
	中長期	特定健康診査受診率 60.0%	特定健康診査受診率を確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備					←→							
		通知実施							←→					
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認												
	A(改善)	改善計画		←→										
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)		←→											
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備					←→							
		通知実施							←→					
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認	←→											
	A(改善)	改善計画		←→										
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)		←→											
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備					←→							
		通知実施							←→					
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認	←→											
	A(改善)	改善計画		←→										
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)		←→											
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備					←→							
		通知実施							←→					
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認	←→											
	A(改善)	改善計画		←→										
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)		←→											
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備					←→							
		通知実施							←→					
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認	←→											
	A(改善)	改善計画		←→										
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)		←→											
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備					←→							
		通知実施							←→					
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認	←→											
	A(改善)	改善計画		←→										
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)		←→											



(2) 特定保健指導事業

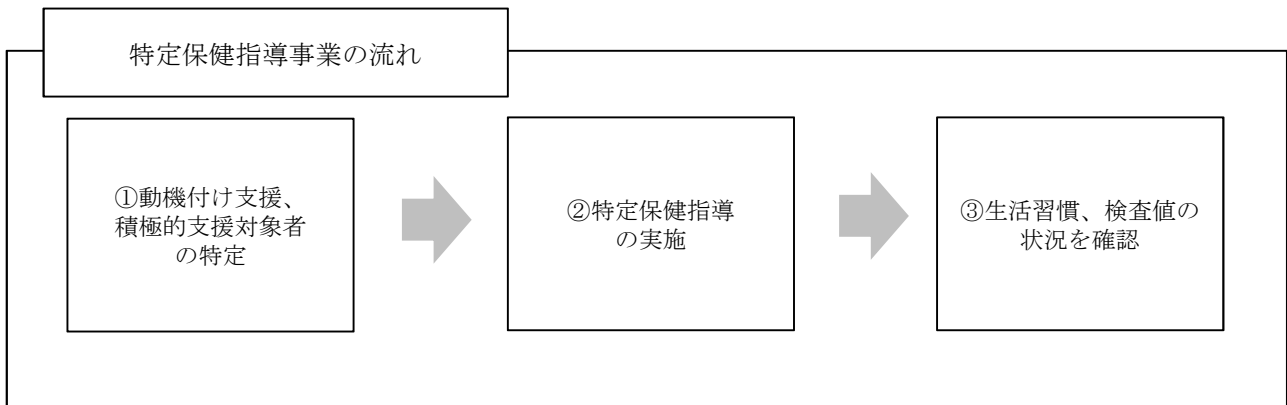
【事業目的】

生活習慣病該当者及び予備群の減少

【事業概要】

特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

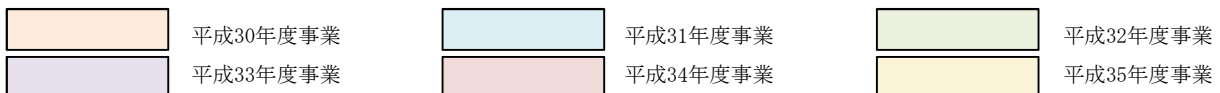
アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
		目標	評価方法
対象者への利用勧奨実施率 100%	短期	特定保健指導実施率が前年度から5ポイント以上向上	特定保健指導実施終了者の割合の推移を確認する。
	中長期	特定保健指導実施率45% 内臓脂肪症候群該当者及び予備群者割合20.9%	特定保健指導実施率の推移を確認する。 KDBシステムによる内臓脂肪症候群該当者及び予備群者の割合の推移を確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備	←											
		指導実施	←											
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認	→											
	A(改善)	改善計画	→											
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)	→												
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備	←											
		指導実施	←											
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認	→											
	A(改善)	改善計画	→											
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)	→												
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備	←											
		指導実施	←											
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認	→											
	A(改善)	改善計画	→											
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)	→												
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備	←											
		指導実施	←											
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認	→											
	A(改善)	改善計画	→											
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)	→												
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備	←											
		指導実施	←											
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認	→											
	A(改善)	改善計画	→											
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)	→												
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備	←											
		指導実施	←											
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認	→											
	A(改善)	改善計画	→											
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)	→												



(3) 健診異常値放置者受診勧奨事業

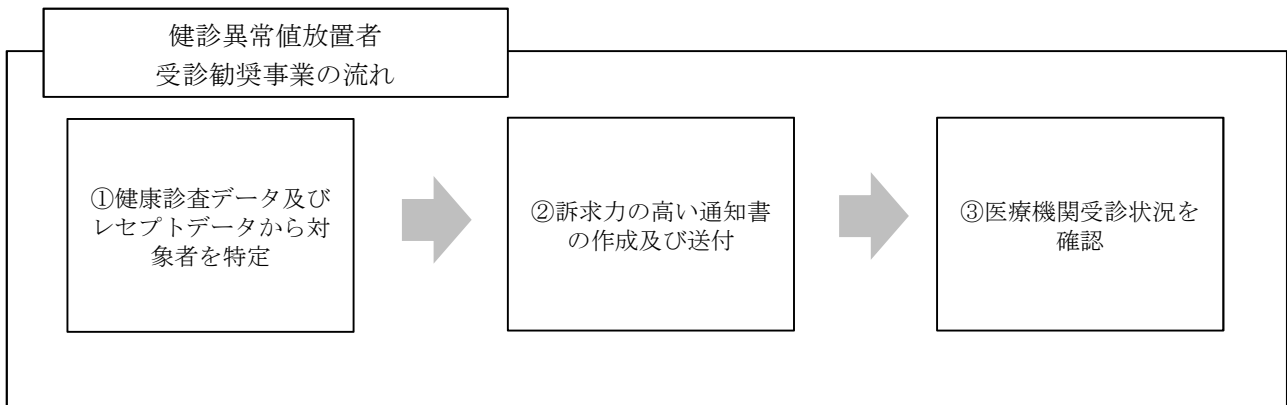
【事業目的】

健診異常値を放置している対象者の医療機関受診

【実施概要】

特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

【実施内容】



通知書デザイン

あなたのお体の状態についてのお知らせ

平成28年09月08日に受けられた特定健康診査結果は以下の通りです。
あなたの健康のため、医療機関の受診をお勧めします。

糖尿病の発症リスク

同性同年齢と比べたあなたの現在のリスク **2.8倍**

心血管病の発症リスク

同性同年齢と比べたあなたの現在のリスク **1.4倍**

※あなたの検査値をもとに、10年間の糖尿病、心血管病の発症リスク¹⁾を予測しています。

あなたの数値	最高血圧	最低血圧	コレステロール	中性脂肪	LDLコレステロール	HbA1c	空腹血糖	BMI
平成28年09月08日の受診結果	130 mmHg	84 mmHg	157 mg/dL	118 mg/dL	48 mg/dL	5.8 %	104 mg/dL	23.5
平成27年10月26日の受診結果	140 mmHg	90 mmHg	174 mg/dL	164 mg/dL	39 mg/dL	5.8 %	98 mg/dL	30.3
平成26年11月09日の受診結果	120 mmHg	72 mmHg	204 mg/dL	206 mg/dL	44 mg/dL	5.6 %	- mg/dL	30.3
受診時-精密検査ゾーン	100mmHg以下	70mmHg以下	150mg/dL以下	100mg/dL以下	50mg/dL以下	5.6%以下	100mg/dL以下	-

● 平成28年09月08日結果
 平成27年10月26日結果
 - - - 平成26年11月09日結果

最高血圧

最低血圧

LDLコレステロール

中性脂肪

BMI

HbA1c

HDLコレステロール

空腹時血糖

右図はあなたの特定健康診査の結果です。

● 受診時-精密検査ゾーン
 ● 受診時-精密検査-重症化ゾーン
 ● 軽度異常ゾーン
 ● 異常なしゾーン

このデータシートは、日本成人病予防学会の提供の検査項目をもとに作成しています。 0000000003

※ 1 この発症予測は、福岡県久山地域における疫学研究に基づいた推定値に基づいています。
 1. Arima H, et al. Hypertens Res 32:1119,2009 2. Dai Y, et al. Diabetic Med 29:107,2012

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値	評価方法	
対象者への通知率 100%	短期	対象者の医療機関受診率 20%	通知後医療機関を受診したか確認する。
	中長期	健診異常値放置者 25% 減少 (対平成28年度)	健診異常値放置者数の推移により確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)												←→	
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)												←→	
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)												←→	
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)												←→	
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)												←→	
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)												←→	

	平成30年度事業		平成31年度事業		平成32年度事業
	平成33年度事業		平成34年度事業		平成35年度事業

(4) 糖尿病性腎症重症化予防事業

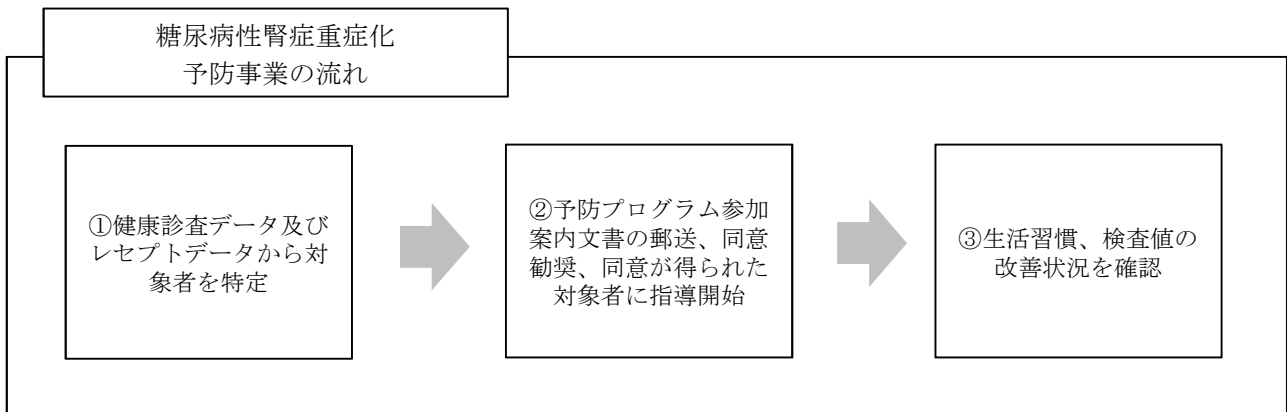
【事業目的】

糖尿病性腎症患者の病期進行阻止

【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。

【実施内容】



【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
		目標値	評価方法
保健指導実施者数10名	短期	対象者への受診勧奨率 100%	対象者への受診勧奨状況を確認する。
	中長期	指導後の人工透析移行者0人	レセプトデータより人工透析移行の有無を確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													←→
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)													←→
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)													←→
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)													←→
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)													←→
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)													←→



(5) 受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)

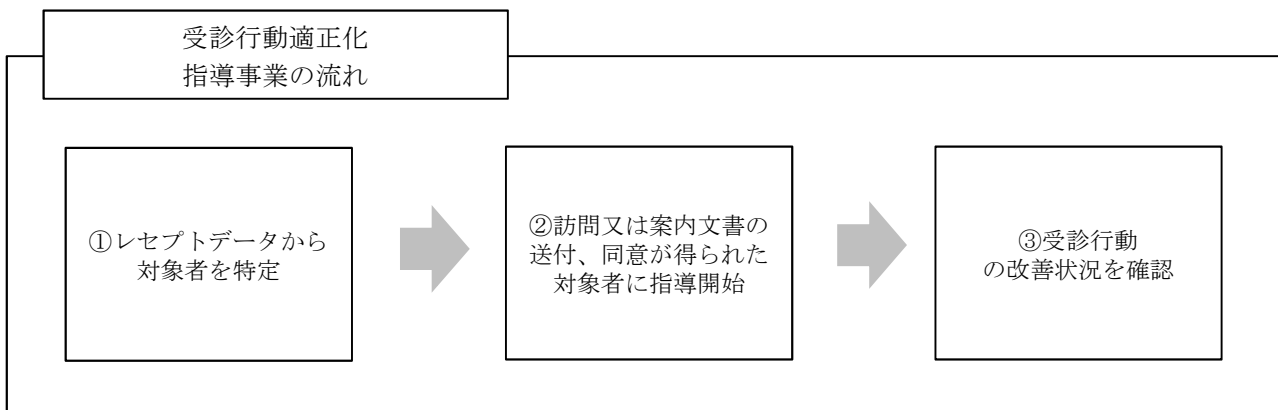
【事業目的】

重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【実施概要】

レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	短期	中長期
対象者への通知100%	目標値 対象者の指導実施率90%以上	評価方法 対象者のうちで指導を実施したものを確認する。
	目標値 指導完了者の受診行動適正化率90%以上	評価方法 指導後の医療機関受診状況を確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)												←→	
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)												←→	
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)												←→	
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)												←→	
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)												←→	
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)												←→	

	平成30年度事業		平成31年度事業		平成32年度事業
	平成33年度事業		平成34年度事業		平成35年度事業

(6) ジェネリック医薬品差額通知事業

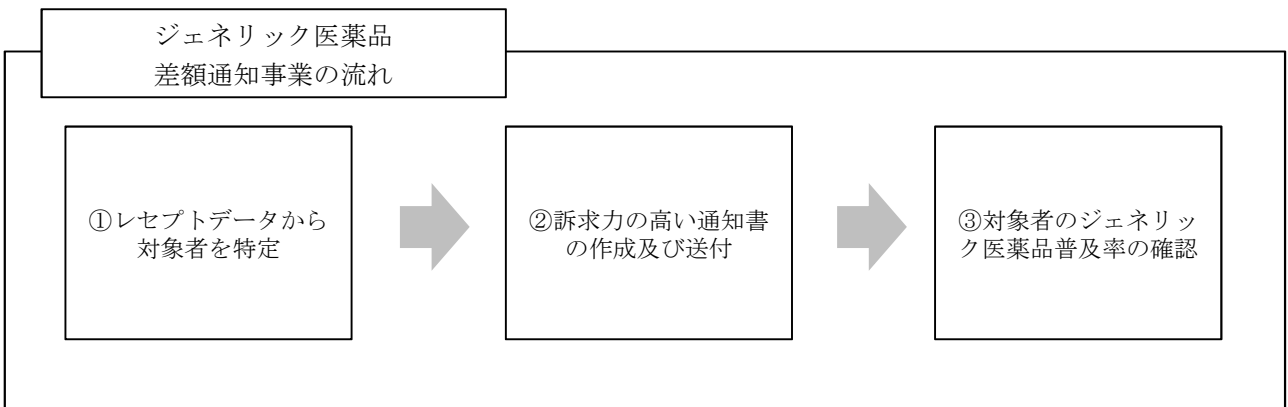
【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】



通知書デザイン

124-4907 000000001

〇〇県〇〇市〇〇区〇〇-〇〇-〇〇

様

〒0000000 〇〇〇〇〇〇〇〇

123456789

000000001

ジェネリック医薬品使用促進のお知らせ

貴薬局は、国民の健康の確保に際し、薬剤にかかる医療費の負担を軽減するために、積極的にジェネリック医薬品を使用するよう努めていただいております。

本通知書は、ジェネリック医薬品に切り替えた場合に、お薬代がどのくらい軽減できるのか、その一例を算出しております。お薬代の軽減額が大きいほど、お薬代の負担が軽くなります。

ジェネリック医薬品は、患者さんのお薬代負担を軽くするお薬です。

新薬	開発期間	開発コスト
ジェネリック	開発期間が短く、	開発コストが大幅に削減できるため、お薬代が安くなります。

ジェネリック医薬品は、安心のお薬です。

ジェネリック医薬品は薬事法に基づき、新薬と同等の品質・有効性が認められているため、安心して服用いただけます。

ジェネリック医薬品については、医師・薬剤師にご相談ください。

ジェネリック医薬品は、処方箋に医師のジェネリック医薬品処方箋が必要不可欠な場合があります。医師・薬剤師にご相談ください。

お薬代を安く済ませたいから、安心して服用してください。

【ジェネリック医薬品通知サポートデスク（ヘルプデスク）】
受付時間 10:00～17:00
平日・祝日休まず

医師・薬剤師に相談して、お薬代を安くしましょう。

通知書番号 123456789

お薬代負担軽減のご案内

平成25年 2月31日分、**を、現在よく流通しているジェネリック医薬品に切り替えた場合、お薬代の負担が**（2月時点での負担割合です）

1,700円～ 軽減されます。
（100円未満は切り捨てています。）

西薬名、薬名区分、真話名	処方単価	数量	単価	お薬代(25年2月)	軽減できる金額(円)
薬名	231	5040	錠	3,430	890
サラジリン錠600mg	406	560	錠	680	530
ザンク錠150	174	1680	錠	870	310
ムコスタ錠100mg				5040	1,730
小計					
合計				5040	1,730

※1 薬品名とは

処方されたお薬（先発医薬品）の名称です。医師の処方箋に記載されているお薬名と一致するお薬に切り替えることができます。

※2 お薬代とは

1か月にかけたお薬代です。（お薬代のみの記載で、消費税やお支払いになった金額とは異なる場合があります。）

※3 軽減できる金額とは

今ご使用されているお薬をジェネリック医薬品に切り替えることによって軽減できる金額の目安です。

ご注意ください

- 本通知書は、高知県民、薬局の請求データに基づいて作成されています。本通知に記載されない場合は、軽減額が大きい医薬品から優先的に記載されています。
- お薬代が大きいお薬は、お薬代の負担が軽減される場合があります。
- ジェネリック医薬品は1つの先発医薬品に対して複数存在する場合があります。実際の軽減額には補正があります。
- 上記に記載するお薬には、がん等の治療等に使用されるお薬、長期処方のお薬については除外されています。
- 先発医薬品とジェネリック医薬品は主成分は同じですが、製剤によってお薬代や副作用など異なる場合があります。詳しくは医師・薬剤師にご相談ください。
- 本通知書はお薬をご使用されているすべての処方箋の方に送付しているわけではありません。

【目標値及び評価方法】

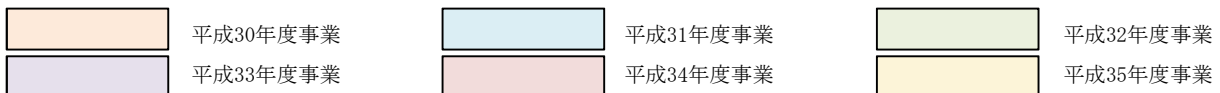
アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期	通知対象者のジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 5ポイント増加(対前年度)
	中長期	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80%(平成32年度)

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備	←											
		指導実施	←											
	C(効果測定)	効果測定	←											
		効果確認	←											
	A(改善)	改善計画	←											
P(計画)	実施計画策定(平成31年度)	←												
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備	←											
		指導実施	←											
	C(効果測定)	効果測定	←											
		効果確認	←											
	A(改善)	改善計画	←											
P(計画)	実施計画策定(平成32年度)	←												
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備	←											
		指導実施	←											
	C(効果測定)	効果測定	←											
		効果確認	←											
	A(改善)	改善計画	←											
P(計画)	実施計画策定(平成33年度)	←												
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備	←											
		指導実施	←											
	C(効果測定)	効果測定	←											
		効果確認	←											
	A(改善)	改善計画	←											
P(計画)	実施計画策定(平成34年度)	←												
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備	←											
		指導実施	←											
	C(効果測定)	効果測定	←											
		効果確認	←											
	A(改善)	改善計画	←											
P(計画)	実施計画策定(平成35年度)	←												
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備	←											
		指導実施	←											
	C(効果測定)	効果測定	←											
		効果確認	←											
	A(改善)	改善計画	←											
P(計画)	実施計画策定(平成36年度)	←												



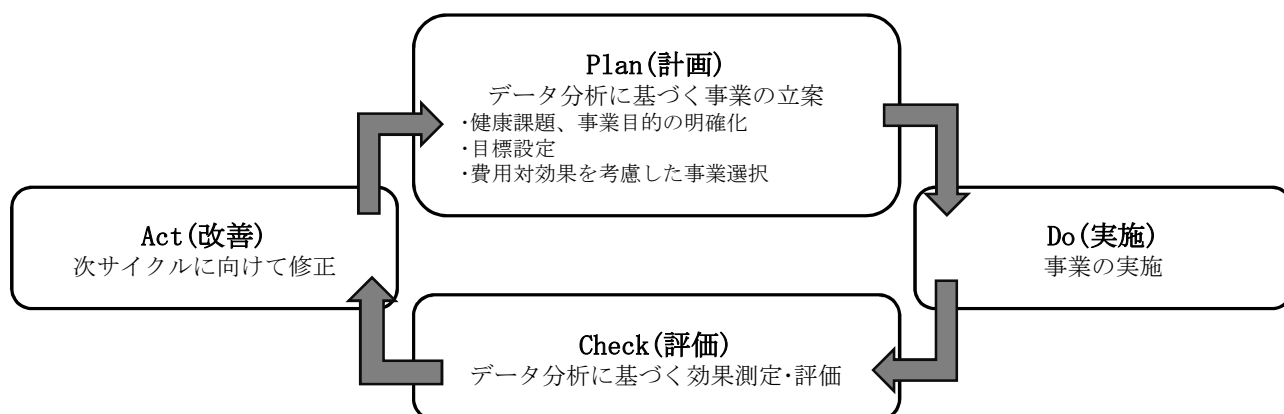
第4章 その他

1. データヘルス計画の見直し

(1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととする。また、中間期間等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行う。最終年度においては、次の期の計画策定を円滑に行うため、上半期に仮評価を行うこととする。

評価・見直しに当たっては、他保険者と連携して行い、国民健康保険団体連合会に設置される支援・評価委員会に指導・助言を受けるものとする。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

(2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努めるものとする。

3. 個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組む。

年度別 特定健康診査結果分析

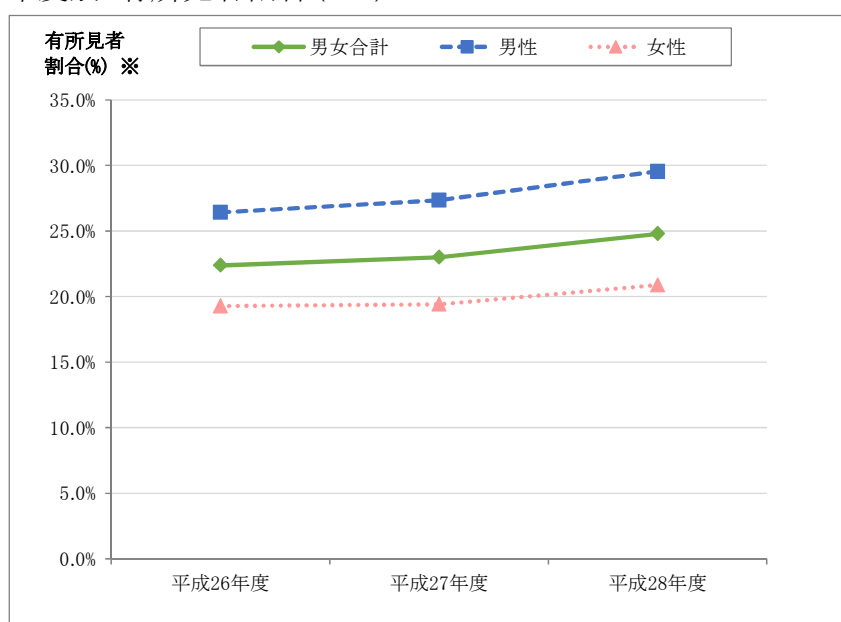
1. 有所見者割合

平成26年度から平成28年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合(BMI)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,708	2,875	3,418
	有所見者数(人) ※	606	661	847
	有所見者割合(%) ※	22.4%	23.0%	24.8%
男性	対象者数(人) ※	1,177	1,298	1,540
	有所見者数(人) ※	311	355	455
	有所見者割合(%) ※	26.4%	27.3%	29.5%
女性	対象者数(人) ※	1,531	1,577	1,878
	有所見者数(人) ※	295	306	392
	有所見者割合(%) ※	19.3%	19.4%	20.9%

年度別 有所見者割合(BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

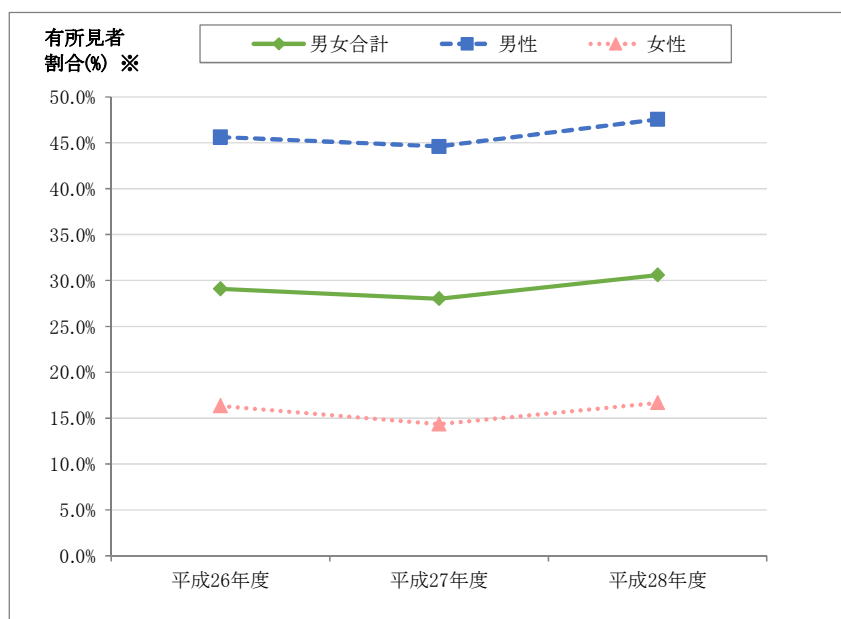
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,708	2,875	3,417
	有所見者数(人) ※	787	805	1,045
	有所見者割合(%) ※	29.1%	28.0%	30.6%
男性	対象者数(人) ※	1,177	1,298	1,539
	有所見者数(人) ※	537	579	732
	有所見者割合(%) ※	45.6%	44.6%	47.6%
女性	対象者数(人) ※	1,531	1,577	1,878
	有所見者数(人) ※	250	226	313
	有所見者割合(%) ※	16.3%	14.3%	16.7%

年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

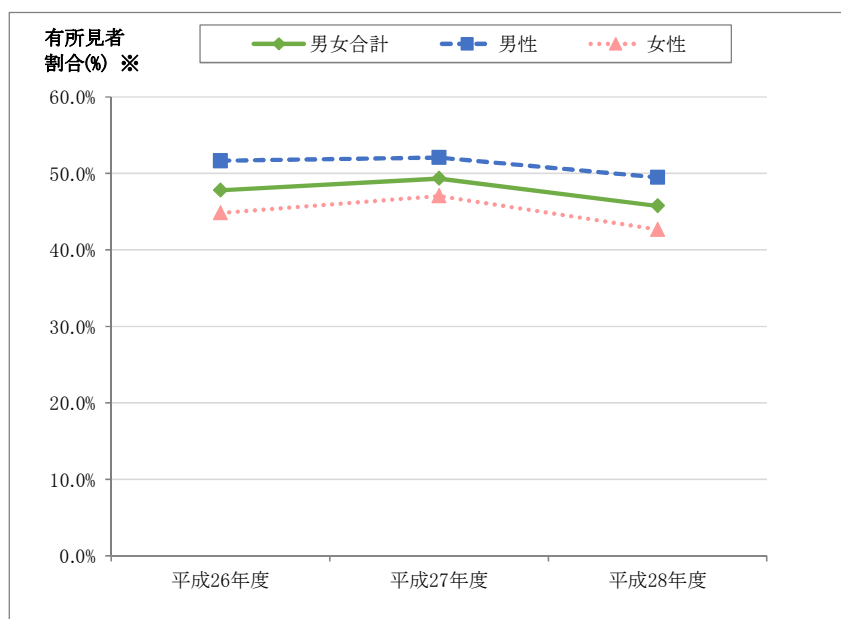
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲: 男性85cm以上、女性90cm以上

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,708	2,875	3,418
	有所見者数(人) ※	1,294	1,418	1,563
	有所見者割合(%) ※	47.8%	49.3%	45.7%
男性	対象者数(人) ※	1,177	1,298	1,540
	有所見者数(人) ※	608	676	762
	有所見者割合(%) ※	51.7%	52.1%	49.5%
女性	対象者数(人) ※	1,531	1,577	1,878
	有所見者数(人) ※	686	742	801
	有所見者割合(%) ※	44.8%	47.1%	42.7%

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

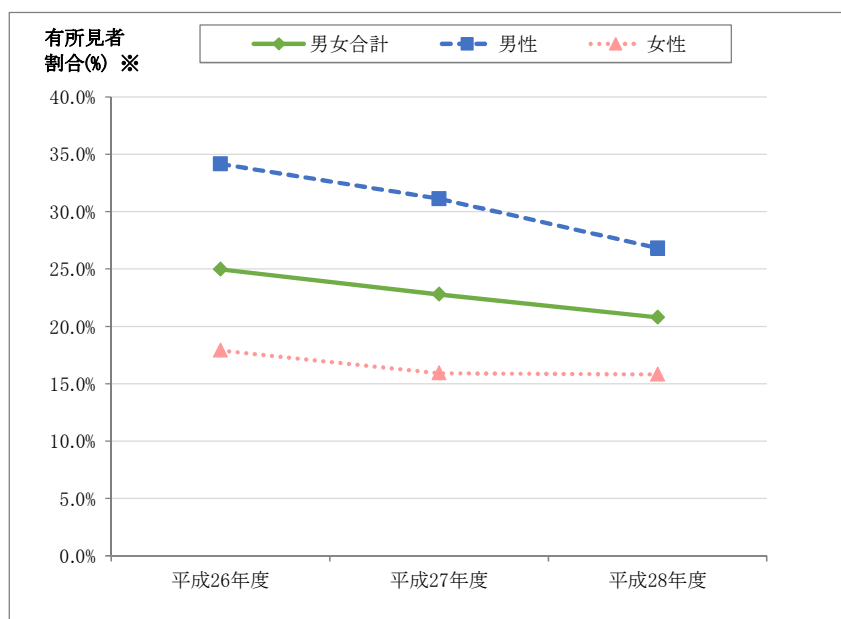
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,708	2,875	3,418
	有所見者数(人) ※	676	655	710
	有所見者割合(%) ※	25.0%	22.8%	20.8%
男性	対象者数(人) ※	1,177	1,298	1,540
	有所見者数(人) ※	402	404	413
	有所見者割合(%) ※	34.2%	31.1%	26.8%
女性	対象者数(人) ※	1,531	1,577	1,878
	有所見者数(人) ※	274	251	297
	有所見者割合(%) ※	17.9%	15.9%	15.8%

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

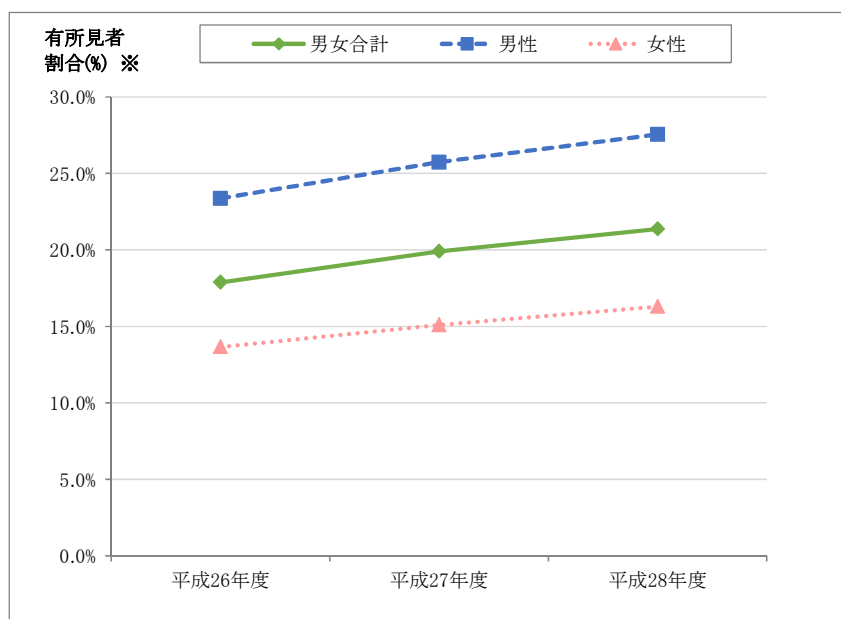
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,708	2,875	3,417
	有所見者数(人) ※	484	572	730
	有所見者割合(%) ※	17.9%	19.9%	21.4%
男性	対象者数(人) ※	1,177	1,298	1,539
	有所見者数(人) ※	275	334	424
	有所見者割合(%) ※	23.4%	25.7%	27.6%
女性	対象者数(人) ※	1,531	1,577	1,878
	有所見者数(人) ※	209	238	306
	有所見者割合(%) ※	13.7%	15.1%	16.3%

年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

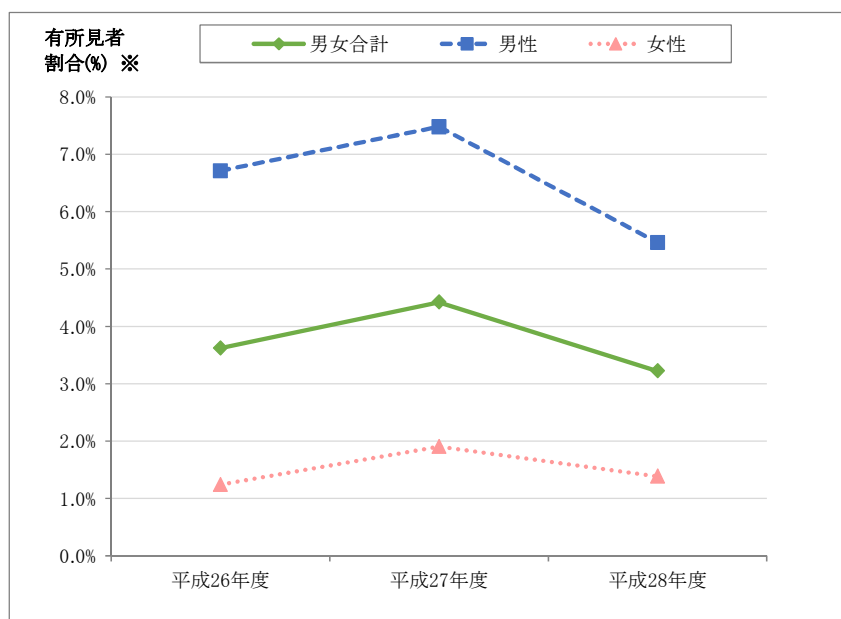
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,708	2,874	3,416
	有所見者数(人) ※	98	127	110
	有所見者割合(%) ※	3.6%	4.4%	3.2%
男性	対象者数(人) ※	1,177	1,297	1,538
	有所見者数(人) ※	79	97	84
	有所見者割合(%) ※	6.7%	7.5%	5.5%
女性	対象者数(人) ※	1,531	1,577	1,878
	有所見者数(人) ※	19	30	26
	有所見者割合(%) ※	1.2%	1.9%	1.4%

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

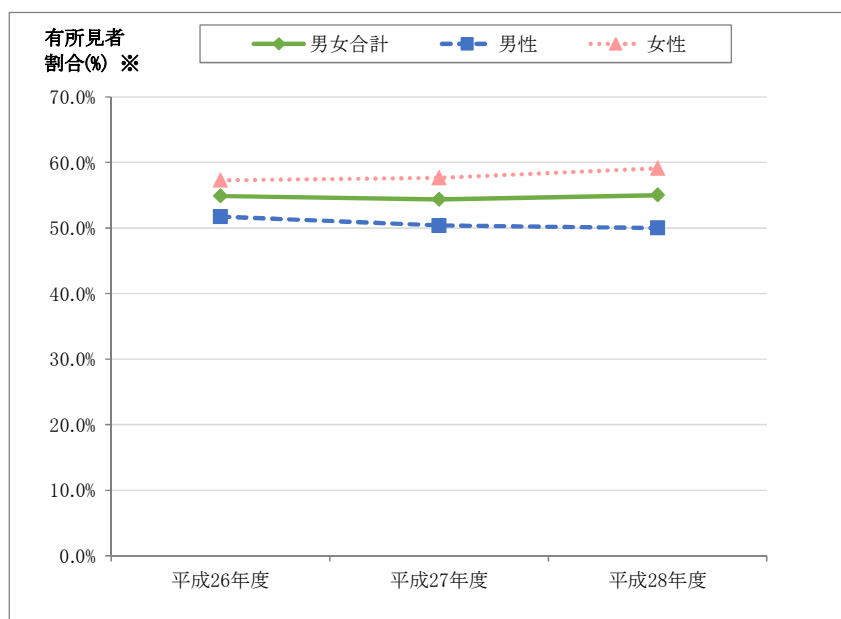
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,708	2,875	3,418
	有所見者数(人) ※	1,486	1,563	1,880
	有所見者割合(%) ※	54.9%	54.4%	55.0%
男性	対象者数(人) ※	1,177	1,298	1,540
	有所見者数(人) ※	609	654	770
	有所見者割合(%) ※	51.7%	50.4%	50.0%
女性	対象者数(人) ※	1,531	1,577	1,878
	有所見者数(人) ※	877	909	1,110
	有所見者割合(%) ※	57.3%	57.6%	59.1%

年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

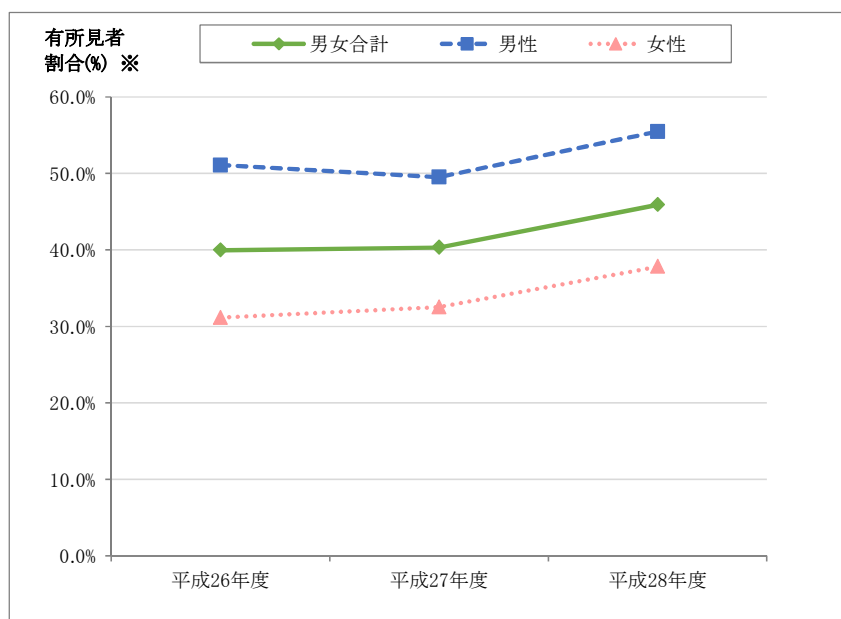
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,388	2,459	2,789
	有所見者数(人) ※	954	991	1,280
	有所見者割合(%) ※	39.9%	40.3%	45.9%
男性	対象者数(人) ※	1,055	1,127	1,276
	有所見者数(人) ※	539	558	708
	有所見者割合(%) ※	51.1%	49.5%	55.5%
女性	対象者数(人) ※	1,333	1,332	1,513
	有所見者数(人) ※	415	433	572
	有所見者割合(%) ※	31.1%	32.5%	37.8%

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

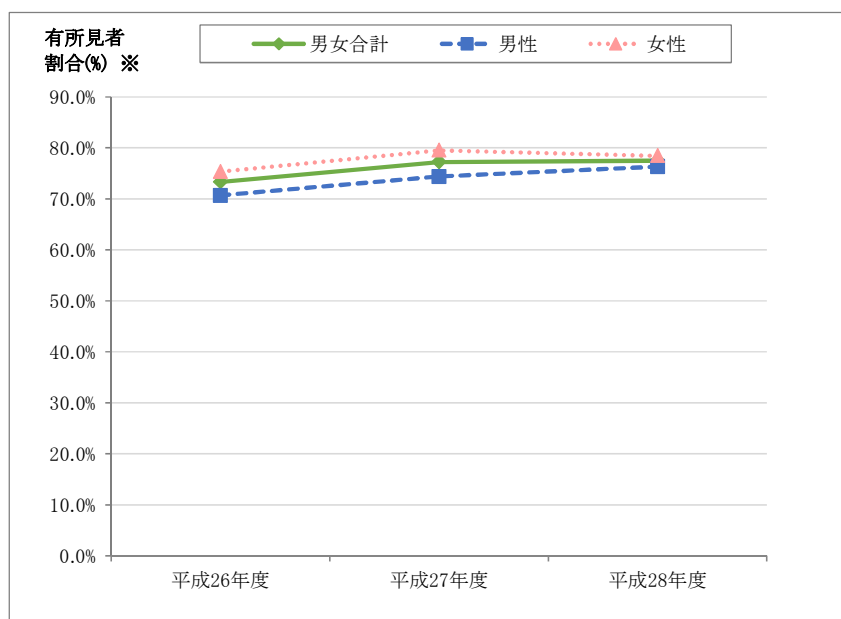
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

年度別 有所見者割合(HbA1c(NGSP))

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,398	2,455	2,831
	有所見者数(人) ※	1,758	1,896	2,194
	有所見者割合(%) ※	73.3%	77.2%	77.5%
男性	対象者数(人) ※	1,044	1,097	1,263
	有所見者数(人) ※	738	816	964
	有所見者割合(%) ※	70.7%	74.4%	76.3%
女性	対象者数(人) ※	1,354	1,358	1,568
	有所見者数(人) ※	1,020	1,080	1,230
	有所見者割合(%) ※	75.3%	79.5%	78.4%

年度別 有所見者割合(HbA1c(NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c:5.6%以上

2. 質問別回答状況

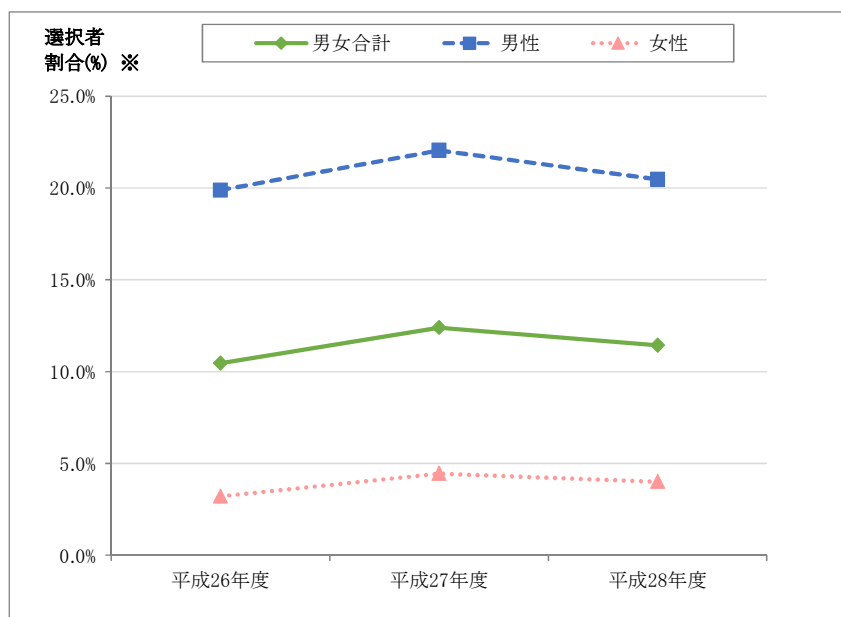
平成26年度から平成28年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示す。

①喫煙習慣

年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,708	2,874	3,413
	選択者数(人) ※	283	356	390
	選択者割合(%) ※	10.5%	12.4%	11.4%
男性	質問回答者数(人) ※	1,177	1,297	1,539
	選択者数(人) ※	234	286	315
	選択者割合(%) ※	19.9%	22.1%	20.5%
女性	質問回答者数(人) ※	1,531	1,577	1,874
	選択者数(人) ※	49	70	75
	選択者割合(%) ※	3.2%	4.4%	4.0%

年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

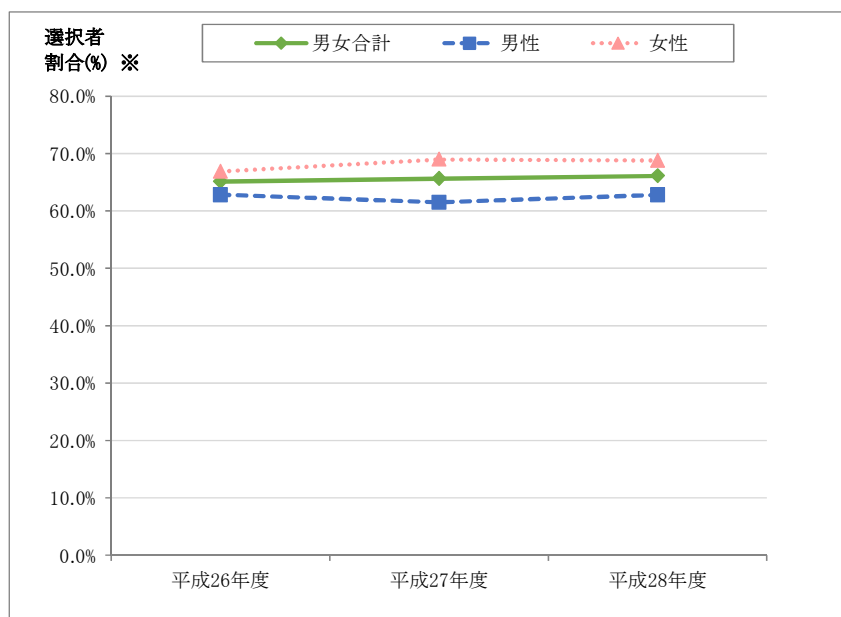
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

②運動習慣

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,692	2,798	3,274
	選択者数(人) ※	1,753	1,836	2,164
	選択者割合(%) ※	65.1%	65.6%	66.1%
男性	質問回答者数(人) ※	1,168	1,260	1,476
	選択者数(人) ※	734	775	927
	選択者割合(%) ※	62.8%	61.5%	62.8%
女性	質問回答者数(人) ※	1,524	1,538	1,798
	選択者数(人) ※	1,019	1,061	1,237
	選択者割合(%) ※	66.9%	69.0%	68.8%

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …質問の選択肢を選択した人数。

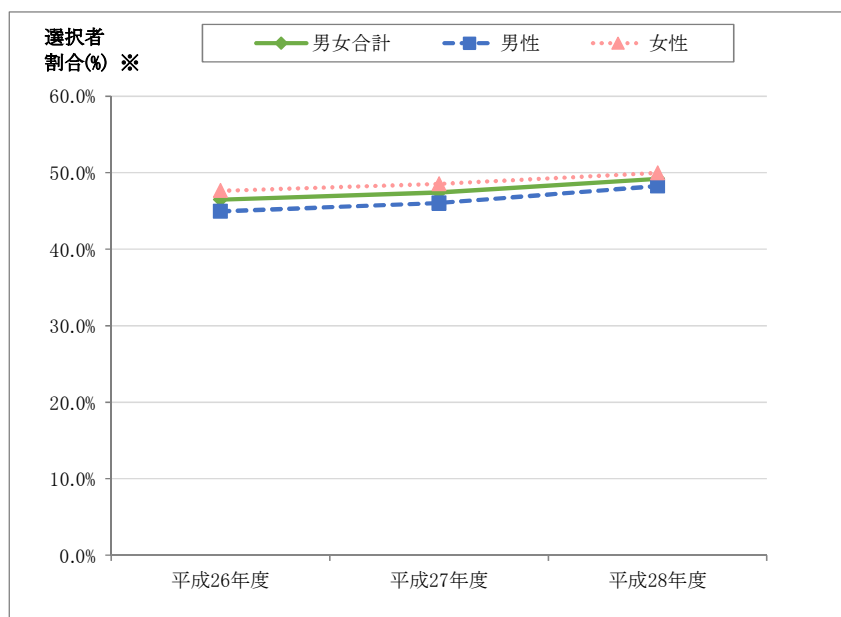
※選択者割合 …運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,692	2,795	3,262
	選択者数(人) ※	1,251	1,325	1,605
	選択者割合(%) ※	46.5%	47.4%	49.2%
男性	質問回答者数(人) ※	1,168	1,260	1,471
	選択者数(人) ※	525	580	710
	選択者割合(%) ※	44.9%	46.0%	48.3%
女性	質問回答者数(人) ※	1,524	1,535	1,791
	選択者数(人) ※	726	745	895
	選択者割合(%) ※	47.6%	48.5%	50.0%

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

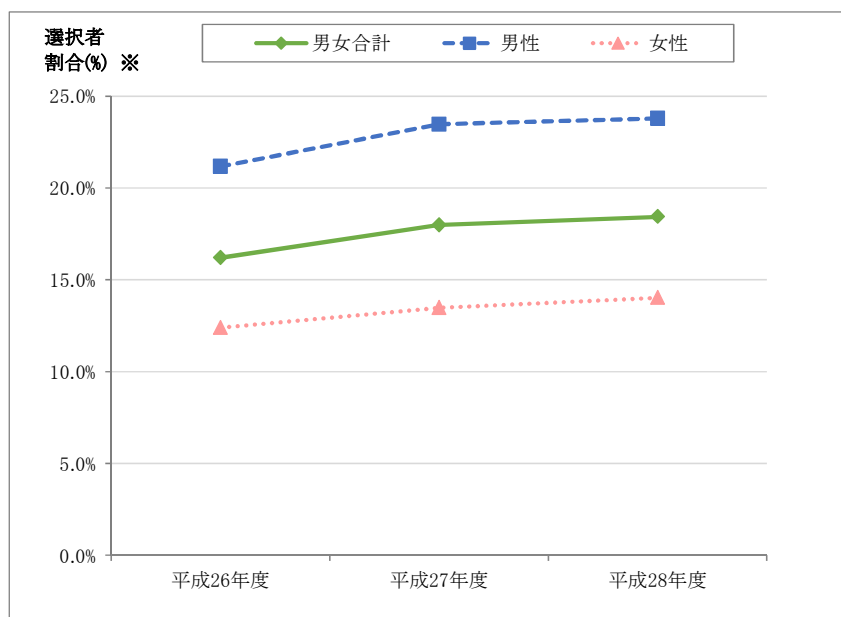
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

③食習慣

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,697	2,797	3,272
	選択者数(人) ※	437	503	603
	選択者割合(%) ※	16.2%	18.0%	18.4%
男性	質問回答者数(人) ※	1,171	1,261	1,475
	選択者数(人) ※	248	296	351
	選択者割合(%) ※	21.2%	23.5%	23.8%
女性	質問回答者数(人) ※	1,526	1,536	1,797
	選択者数(人) ※	189	207	252
	選択者割合(%) ※	12.4%	13.5%	14.0%

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

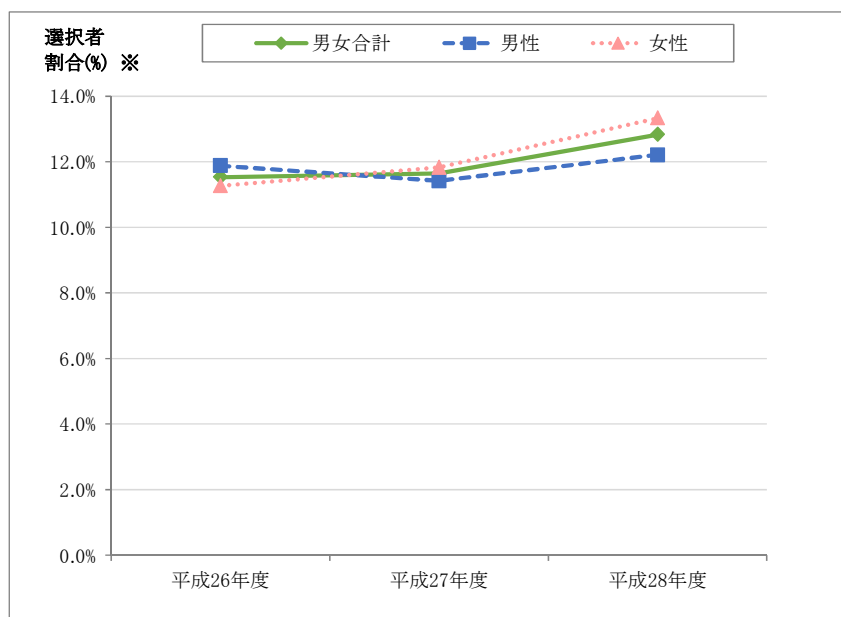
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,697	2,800	3,274
	選択者数(人) ※	311	326	420
	選択者割合(%) ※	11.5%	11.6%	12.8%
男性	質問回答者数(人) ※	1,170	1,261	1,474
	選択者数(人) ※	139	144	180
	選択者割合(%) ※	11.9%	11.4%	12.2%
女性	質問回答者数(人) ※	1,527	1,539	1,800
	選択者数(人) ※	172	182	240
	選択者割合(%) ※	11.3%	11.8%	13.3%

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。

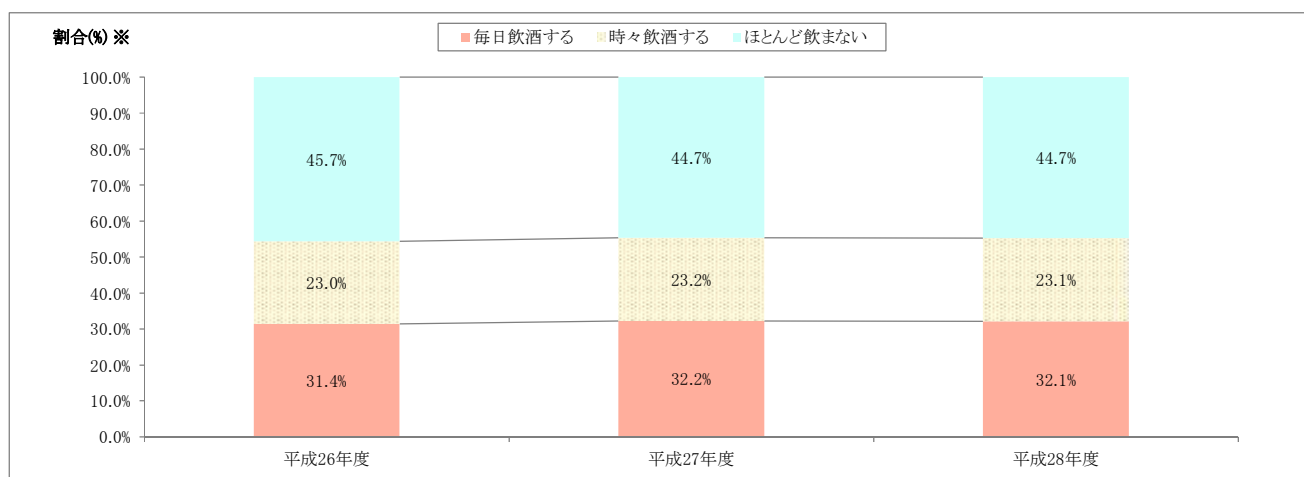
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夕食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

④飲酒習慣

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	2,698	846	31.4%	620	23.0%	1,232	45.7%
平成27年度	2,803	902	32.2%	649	23.2%	1,252	44.7%
平成28年度	3,274	1,052	32.1%	757	23.1%	1,465	44.7%

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

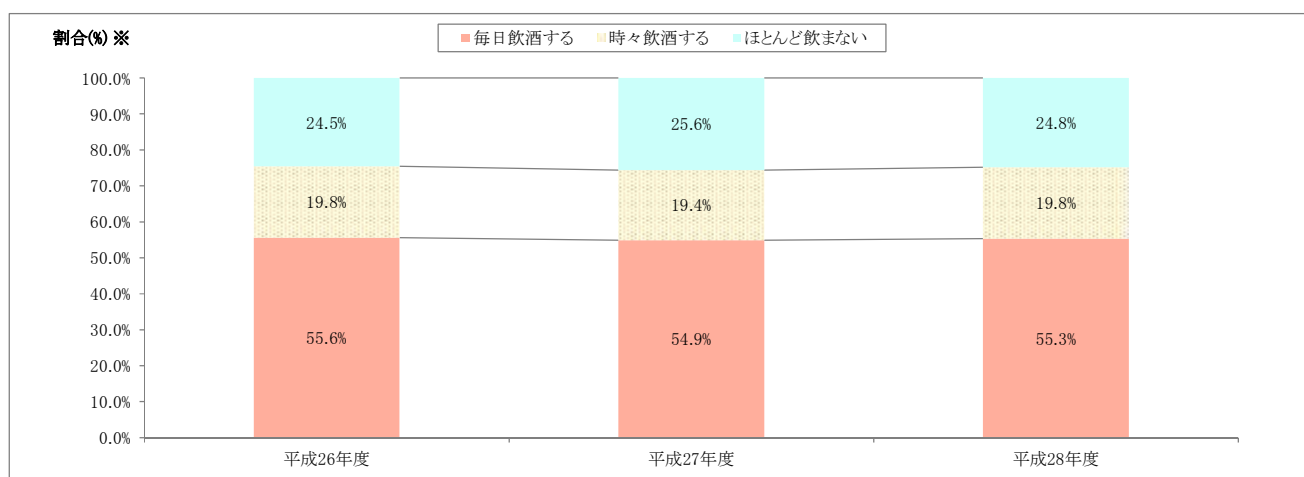
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,170	651	55.6%	232	19.8%	287	24.5%
平成27年度	1,265	695	54.9%	246	19.4%	324	25.6%
平成28年度	1,473	815	55.3%	292	19.8%	366	24.8%

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

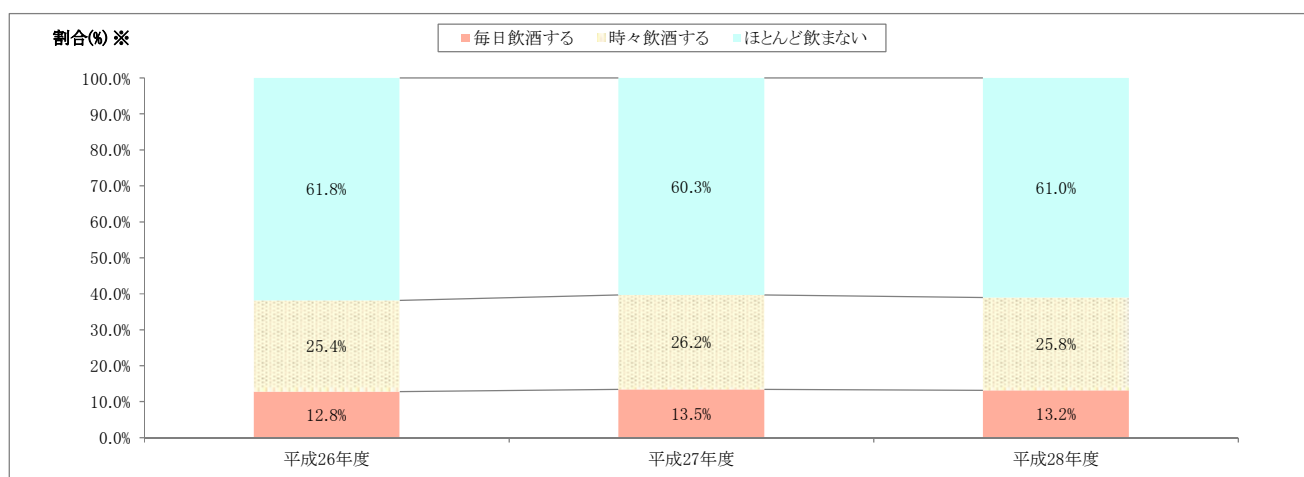
※割合 …飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,528	195	12.8%	388	25.4%	945	61.8%
平成27年度	1,538	207	13.5%	403	26.2%	928	60.3%
平成28年度	1,801	237	13.2%	465	25.8%	1,099	61.0%

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

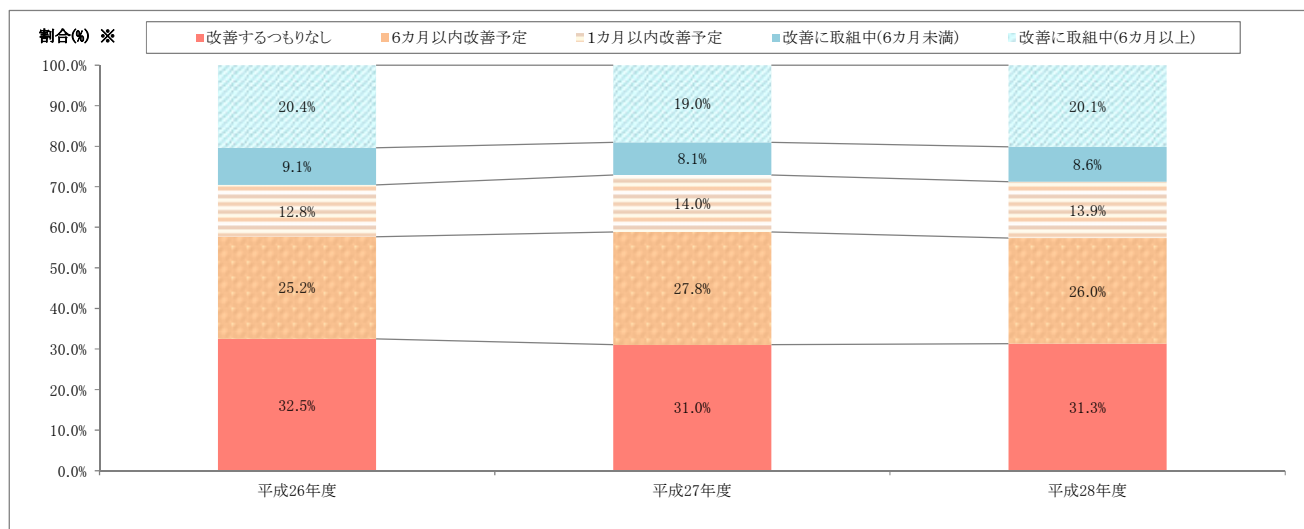
⑤生活習慣

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	2,667	867	32.5%	672	25.2%	341	12.8%
平成27年度	2,762	857	31.0%	768	27.8%	388	14.0%
平成28年度	3,217	1,007	31.3%	838	26.0%	448	13.9%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	2,667	243	9.1%	544	20.4%
平成27年度	2,762	224	8.1%	525	19.0%
平成28年度	3,217	277	8.6%	647	20.1%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

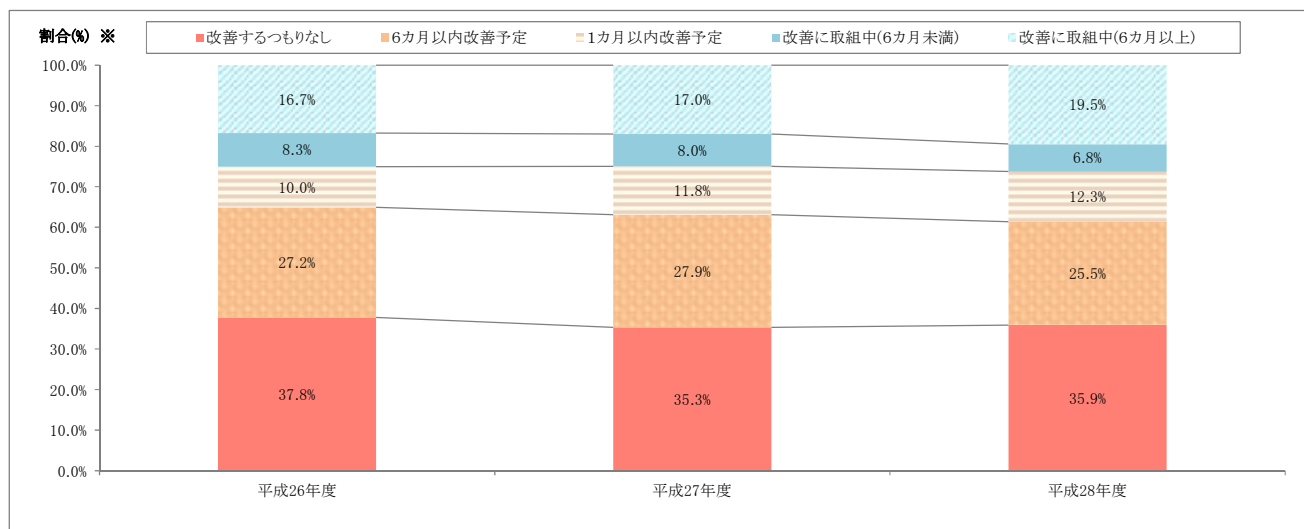
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,159	438	37.8%	315	27.2%	116	10.0%
平成27年度	1,249	441	35.3%	348	27.9%	148	11.8%
平成28年度	1,459	524	35.9%	372	25.5%	180	12.3%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,159	96	8.3%	194	16.7%
平成27年度	1,249	100	8.0%	212	17.0%
平成28年度	1,459	99	6.8%	284	19.5%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

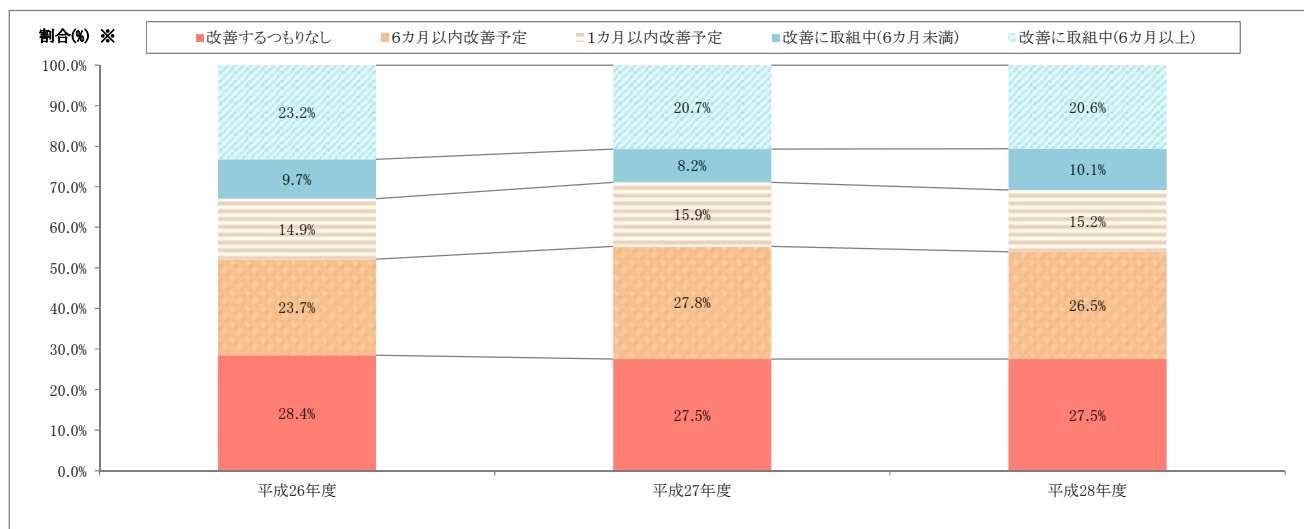
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,508	429	28.4%	357	23.7%	225	14.9%
平成27年度	1,513	416	27.5%	420	27.8%	240	15.9%
平成28年度	1,758	483	27.5%	466	26.5%	268	15.2%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,508	147	9.7%	350	23.2%
平成27年度	1,513	124	8.2%	313	20.7%
平成28年度	1,758	178	10.1%	363	20.6%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

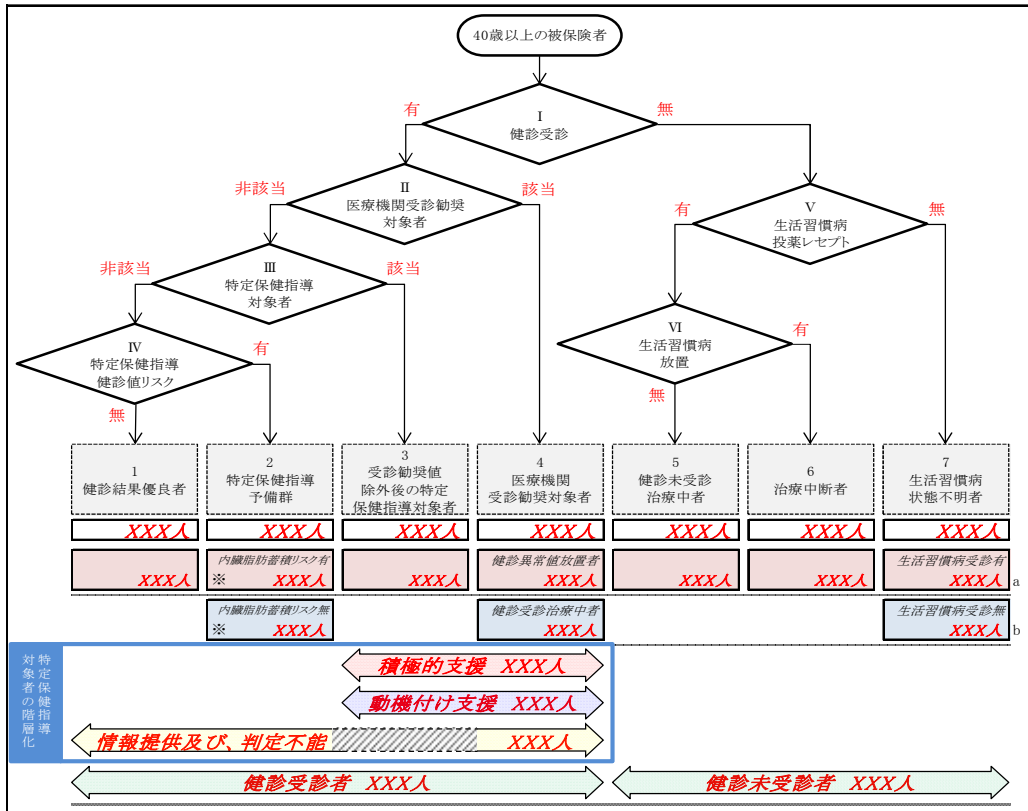
※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

巻末資料

1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク …厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
- 1. 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 2. 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 4. 医療機関受診勧奨対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 - 健診異常値放置者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
- 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
 - 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 7. 生活習慣病状態不明者 …生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

3. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	膵癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿痂疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		

4. 地区分析

(1) 大分類による疾病別医療費地区別統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費統計を地区別に示す。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・粟屋	その他

【君田】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	6,594,482	4.8%	11	451	12	99	7	66,611	10
II. 新生物<腫瘍>	28,780,052	20.9%	1	465	11	106	6	271,510	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	451,543	0.3%	15	258	15	39	15	11,578	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	11,256,619	8.2%	5	2,120	1	166	4	67,811	9
V. 精神及び行動の障害	19,028,564	13.8%	2	707	7	59	14	322,518	1
VI. 神経系の疾患	7,143,133	5.2%	10	1,215	5	95	10	75,191	6
VII. 眼及び付属器の疾患	4,561,496	3.3%	12	470	10	84	11	54,304	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	236,706	0.2%	18	95	17	26	16	9,104	19
IX. 循環器系の疾患	11,779,152	8.5%	3	2,116	2	167	3	70,534	8
X. 呼吸器系の疾患	7,952,113	5.8%	8	946	6	177	2	44,927	12
X I. 消化器系の疾患 ※	8,733,390	6.3%	6	2,037	3	201	1	43,450	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,866,642	1.4%	13	517	9	99	7	18,855	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	11,316,487	8.2%	4	1,629	4	160	5	70,728	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	7,560,161	5.5%	9	352	13	71	13	106,481	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	14,543	0.0%	20	4	20	1	20	14,543	16
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	264,857	0.2%	16	8	19	3	19	88,286	5
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,814,531	1.3%	14	560	8	96	9	18,901	14
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	8,308,657	6.0%	7	276	14	77	12	107,905	3
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	251,366	0.2%	17	142	16	18	17	13,965	17
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	52,446	0.0%	19	34	18	8	18	6,556	20
合計	137,966,940			5,716		320		431,147	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・粟屋	その他

【布野】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,556,104	1.1%	15	296	14	94	12	16,554	17
II. 新生物<腫瘍>	28,808,069	20.4%	1	443	12	118	7	244,136	2
III. 血液及び造血管の疾患並びに免疫機構の障害	3,188,046	2.3%	11	239	16	44	15	72,456	6
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	14,983,459	10.6%	4	2,675	2	191	3	78,447	4
V. 精神及び行動の障害	22,009,868	15.6%	2	828	8	64	14	343,904	1
VI. 神経系の疾患	5,979,866	4.2%	7	1,547	5	110	10	54,362	8
VII. 眼及び付属器の疾患	4,293,441	3.0%	9	812	9	115	9	37,334	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	597,008	0.4%	16	123	17	30	17	19,900	13
IX. 循環器系の疾患	17,130,912	12.2%	3	3,133	1	206	2	83,160	3
X. 呼吸器系の疾患	5,350,825	3.8%	8	1,157	6	186	4	28,768	11
X I. 消化器系の疾患 ※	12,907,263	9.2%	6	2,445	3	232	1	55,635	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,009,198	1.4%	14	559	11	119	6	16,884	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	14,091,964	10.0%	5	1,939	4	182	5	77,428	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	3,439,789	2.4%	10	580	10	96	11	35,831	10
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	3,721	0.0%	20	2	20	1	20	3,721	19
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	37,385	0.0%	18	6	19	2	19	18,693	14
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,186,636	1.6%	13	863	7	118	7	18,531	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2,198,682	1.6%	12	386	13	81	13	27,144	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	184,653	0.1%	17	294	15	38	16	4,859	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	36,821	0.0%	19	63	18	12	18	3,068	20
合計	140,993,710			6,809		359		392,740	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・粟屋	その他

【作木】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,461,789	1.3%	14	317	14	93	11	15,718	15
II. 新生物<腫瘍>	10,276,469	9.1%	4	414	12	114	6	90,144	4
III. 血液及び造血管の疾患並びに免疫機構の障害	468,942	0.4%	17	169	16	41	15	11,438	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	14,109,651	12.5%	2	2,445	1	187	2	75,453	5
V. 精神及び行動の障害	19,036,724	16.9%	1	660	8	52	14	366,091	1
VI. 神経系の疾患	3,426,188	3.0%	11	1,259	5	99	9	34,608	12
VII. 眼及び付属器の疾患	6,624,246	5.9%	8	857	7	113	7	58,622	8
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	615,752	0.5%	16	158	17	35	16	17,593	14
IX. 循環器系の疾患	9,510,250	8.5%	6	2,263	2	180	4	52,835	9
X. 呼吸器系の疾患	5,105,688	4.5%	9	1,009	6	172	5	29,684	13
X I. 消化器系の疾患 ※	9,946,334	8.8%	5	2,066	3	195	1	51,007	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,491,567	1.3%	13	430	10	95	10	15,701	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	12,759,270	11.3%	3	1,910	4	185	3	68,969	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	8,531,318	7.6%	7	426	11	76	12	112,254	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	125,220	0.1%	18	13	19	3	19	41,740	11
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,191,655	1.1%	15	607	9	106	8	11,242	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	4,898,035	4.4%	10	341	13	73	13	67,096	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,906,143	2.6%	12	220	15	27	17	107,635	3
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	21,379	0.0%	19	54	18	7	18	3,054	19
合計	112,506,620			6,315		318		353,794	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・粟屋	その他

【吉舎】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	10,458,995	2.7%	12	1,005	13	267	9	39,172	13
II. 新生物<腫瘍>	69,570,044	17.7%	1	1,084	12	301	6	231,130	2
III. 血液及び造血管の疾患並びに免疫機構の障害	1,716,646	0.4%	16	590	15	142	14	12,089	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	42,328,175	10.8%	3	5,733	1	524	2	80,779	6
V. 精神及び行動の障害	40,801,769	10.4%	4	1,377	8	116	15	351,739	1
VI. 神経系の疾患	16,366,551	4.2%	9	2,714	5	259	11	63,191	10
VII. 眼及び付属器の疾患	14,897,034	3.8%	10	1,727	7	289	8	51,547	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,014,191	0.5%	15	334	17	83	17	24,267	15
IX. 循環器系の疾患	56,165,847	14.3%	2	5,317	2	509	4	110,345	4
X. 呼吸器系の疾患	19,547,784	5.0%	8	2,590	6	511	3	38,254	14
X I. 消化器系の疾患 ※	23,917,201	6.1%	7	4,711	3	529	1	45,212	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	6,671,908	1.7%	13	1,212	10	292	7	22,849	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	36,717,593	9.4%	5	4,214	4	479	5	76,655	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	30,081,799	7.7%	6	1,191	11	218	12	137,990	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	132,084	0.0%	19	7	20	2	20	66,042	9
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	895,041	0.2%	17	73	18	10	19	89,504	5
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,503,386	1.1%	14	1,214	9	262	10	17,188	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	14,840,654	3.8%	11	619	14	192	13	77,295	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	706,416	0.2%	18	563	16	85	16	8,311	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	28,142	0.0%	20	63	19	13	18	2,165	20
合計	392,361,260			14,275		894		438,883	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・粟屋	その他

【三良坂】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	18,214,047	5.9%	7	1,003	10	242	7	75,265	6
II. 新生物<腫瘍>	79,962,176	25.7%	1	973	11	248	6	322,428	1
III. 血液及び造血管の疾患並びに免疫機構の障害	9,289,246	3.0%	12	564	14	144	14	64,509	9
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	25,524,243	8.2%	4	3,953	2	366	2	69,738	7
V. 精神及び行動の障害	20,747,954	6.7%	5	1,135	8	96	15	216,125	2
VI. 神経系の疾患	11,527,394	3.7%	11	2,254	5	187	11	61,644	10
VII. 眼及び付属器の疾患	9,087,594	2.9%	13	1,377	7	218	9	41,686	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,005,697	0.3%	16	232	17	66	16	15,238	19
IX. 循環器系の疾患	40,544,189	13.0%	2	4,234	1	361	3	112,311	3
X. 呼吸器系の疾患	13,464,048	4.3%	9	1,812	6	353	4	38,142	15
X I. 消化器系の疾患 ※	26,062,808	8.4%	3	3,546	3	399	1	65,320	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,774,508	1.2%	15	923	13	219	8	17,235	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	19,519,877	6.3%	6	3,150	4	347	5	56,253	11
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	14,369,276	4.6%	8	965	12	169	12	85,025	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	115,987	0.0%	19	6	20	3	20	38,662	14
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	160,696	0.1%	18	9	19	4	19	40,174	13
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,031,215	1.6%	14	1,080	9	208	10	24,189	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	11,866,693	3.8%	10	530	15	148	13	80,180	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	770,985	0.2%	17	383	16	46	17	16,761	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	111,687	0.0%	20	72	18	13	18	8,591	20
合計	311,150,320			10,605		660		471,440	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・粟屋	その他

【三和】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	8,434,629	3.0%	12	915	13	241	9	34,998	11
II. 新生物<腫瘍>	43,549,518	15.7%	1	1,084	11	268	6	162,498	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	584,854	0.2%	16	366	15	104	15	5,624	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	36,507,768	13.1%	3	4,995	1	446	1	81,856	4
V. 精神及び行動の障害	29,433,980	10.6%	4	1,348	7	105	14	280,324	1
VI. 神経系の疾患	10,316,595	3.7%	11	2,200	5	206	12	50,081	9
VII. 眼及び付属器の疾患	11,781,771	4.2%	9	1,214	9	261	8	45,141	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,487,495	0.5%	15	356	16	76	16	19,572	14
IX. 循環器系の疾患	37,696,095	13.6%	2	4,478	2	398	3	94,714	3
X. 呼吸器系の疾患	10,959,854	3.9%	10	1,922	6	373	4	29,383	12
X I. 消化器系の疾患 ※	23,307,444	8.4%	6	4,042	3	445	2	52,376	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	5,284,640	1.9%	13	1,124	10	263	7	20,094	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	26,713,961	9.6%	5	3,269	4	358	5	74,620	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	15,444,110	5.6%	7	1,234	8	221	10	69,883	7
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,757	0.0%	20	1	20	1	20	1,757	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	24,605	0.0%	19	12	19	6	19	4,101	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,242,089	1.2%	14	1,057	12	217	11	14,941	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	12,471,013	4.5%	8	645	14	166	13	75,127	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	417,482	0.2%	17	319	17	57	17	7,324	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	72,250	0.0%	18	75	18	13	18	5,558	18
合計	277,731,910			12,027		697		398,468	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・粟屋	その他

【甲奴】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	9,438,072	4.5%	11	548	13	138	11	68,392	11
II. 新生物<腫瘍>	12,944,685	6.2%	8	593	12	166	6	77,980	9
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	552,870	0.3%	16	249	16	57	15	9,699	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	17,183,340	8.2%	4	3,249	2	240	4	71,597	10
V. 精神及び行動の障害	22,754,970	10.8%	2	934	7	64	14	355,546	1
VI. 神経系の疾患	16,980,222	8.1%	5	1,961	5	155	8	109,550	4
VII. 眼及び付属器の疾患	6,213,368	3.0%	13	873	9	156	7	39,829	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	534,236	0.3%	17	148	17	36	17	14,840	17
IX. 循環器系の疾患	33,635,741	16.0%	1	3,469	1	246	2	136,731	2
X. 呼吸器系の疾患	16,235,205	7.7%	6	1,368	6	242	3	67,088	12
X I. 消化器系の疾患 ※	13,415,276	6.4%	7	2,984	3	286	1	46,907	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,117,233	1.5%	15	801	10	150	9	20,782	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	20,674,276	9.9%	3	2,387	4	231	5	89,499	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	11,344,353	5.4%	9	602	11	108	12	105,040	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	16,049	0.0%	20	4	20	4	20	4,012	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	244,452	0.1%	18	20	19	7	19	34,922	15
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,979,567	5.2%	10	879	8	139	10	78,990	8
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	8,592,038	4.1%	12	462	14	105	13	81,829	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,894,203	2.3%	14	342	15	41	16	119,371	3
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	74,784	0.0%	19	46	18	8	18	9,348	19
合計	209,824,940			8,816		487		430,852	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・粟屋	その他

【三次・河内】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	17,041,166	2.9%	11	1,211	14	328	10	51,955	12
II. 新生物<腫瘍>	88,430,848	15.3%	2	1,435	12	342	8	258,570	2
III. 血液及び造血管の疾患並びに免疫機構の障害	6,487,689	1.1%	16	619	16	142	15	45,688	13
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	52,435,876	9.0%	4	7,250	2	586	4	89,481	8
V. 精神及び行動の障害	55,552,009	9.6%	3	1,785	9	156	14	356,103	1
VI. 神経系の疾患	26,672,539	4.6%	8	3,756	5	330	9	80,826	10
VII. 眼及び付属器の疾患	14,916,698	2.6%	12	2,306	7	370	6	40,315	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,376,035	0.2%	18	491	17	115	16	11,966	19
IX. 循環器系の疾患	101,990,366	17.6%	1	7,461	1	589	3	173,159	4
X. 呼吸器系の疾患	24,994,983	4.3%	10	3,328	6	639	2	39,116	15
X I. 消化器系の疾患 ※	39,086,382	6.7%	7	6,409	3	645	1	60,599	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	8,519,324	1.5%	13	1,760	10	349	7	24,411	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	49,804,809	8.6%	5	5,338	4	503	5	99,016	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	49,330,979	8.5%	6	1,647	11	280	12	176,182	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	41,441	0.0%	20	11	20	3	20	13,814	18
X VI. 周産期に発生した病態 ※	4,870	0.0%	21	2	21	2	21	2,435	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,308,076	0.4%	17	54	19	18	19	128,226	5
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,345,943	1.4%	14	1,982	8	323	11	25,839	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	25,062,472	4.3%	9	1,249	13	268	13	93,517	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,215,394	1.2%	15	667	15	82	17	87,993	9
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	140,351	0.0%	19	117	18	26	18	5,398	20
合計	579,758,250			18,721		1,097		528,494	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・粟屋	その他

【八次・神杉・和田・田幸・川西】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	52,509,650	5.1%	9	3,473	13	866	10	60,635	10
II. 新生物<腫瘍>	127,089,965	12.4%	2	3,603	12	919	7	138,292	3
III. 血液及び造血管の疾患並びに免疫機構の障害	9,085,375	0.9%	15	1,499	15	367	15	24,756	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	116,458,318	11.3%	3	19,624	1	1,522	3	76,517	6
V. 精神及び行動の障害	108,924,828	10.6%	4	4,553	10	379	14	287,401	1
VI. 神経系の疾患	50,025,599	4.9%	10	9,295	5	788	11	63,484	8
VII. 眼及び付属器の疾患	36,292,029	3.5%	12	5,679	7	900	8	40,324	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	4,936,657	0.5%	16	1,371	16	301	16	16,401	19
IX. 循環器系の疾患	155,846,144	15.2%	1	18,942	2	1,447	4	107,703	4
X. 呼吸器系の疾患	56,422,712	5.5%	8	8,587	6	1,550	2	36,402	16
X I. 消化器系の疾患 ※	82,418,334	8.0%	6	15,948	3	1,603	1	51,415	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	18,940,342	1.8%	13	4,268	11	892	9	21,234	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	92,272,557	9.0%	5	12,818	4	1,325	5	69,640	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	56,743,099	5.5%	7	4,633	8	732	12	77,518	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	567,338	0.1%	21	30	20	14	20	40,524	14
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,072,411	0.1%	20	10	21	5	21	214,482	2
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,562,175	0.2%	19	98	19	36	19	43,394	13
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	14,630,301	1.4%	14	4,613	9	929	6	15,748	20
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	36,420,328	3.5%	11	2,260	14	599	13	60,802	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,520,992	0.2%	18	1,308	17	180	17	14,006	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	2,522,456	0.2%	17	341	18	56	18	45,044	12
合計	1,027,261,610			48,234		2,731		376,149	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・粟屋	その他

【十日市・酒屋】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	20,641,991	2.9%	12	2,471	13	605	10	34,119	14
II. 新生物<腫瘍>	101,269,467	14.2%	2	2,550	12	627	8	161,514	3
III. 血液及び造血管の疾患並びに免疫機構の障害	3,709,187	0.5%	15	1,155	15	266	15	13,944	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	78,456,090	11.0%	3	14,151	1	1,050	3	74,720	7
V. 精神及び行動の障害	58,611,674	8.2%	6	2,998	10	278	14	210,833	2
VI. 神経系の疾患	32,518,946	4.6%	9	6,112	6	515	11	63,144	10
VII. 眼及び付属器の疾患	28,506,125	4.0%	11	4,245	7	645	7	44,196	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,448,309	0.3%	16	1,049	16	214	16	11,441	18
IX. 循環器系の疾患	107,330,153	15.1%	1	13,223	2	951	4	112,860	5
X. 呼吸器系の疾患	40,241,420	5.7%	8	6,922	5	1,171	1	34,365	13
X I. 消化器系の疾患 ※	57,032,697	8.0%	7	11,234	3	1,115	2	51,150	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	12,072,120	1.7%	13	3,525	8	691	6	17,471	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	63,702,273	9.0%	4	9,256	4	918	5	69,392	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	58,613,746	8.2%	5	2,757	11	501	12	116,994	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,636,020	0.2%	17	54	19	22	20	74,365	8
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,607,790	0.2%	18	10	21	7	21	229,684	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	120,765	0.0%	21	47	20	23	19	5,251	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,759,594	1.5%	14	3,300	9	622	9	17,298	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	31,074,472	4.4%	10	1,406	14	399	13	77,881	6
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,038,408	0.1%	19	967	17	121	17	8,582	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	235,183	0.0%	20	286	18	52	18	4,523	21
合計	711,626,430			34,725		1,967		361,783	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・粟屋	その他

【青河・川地・粟屋】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	22,801,627	4.3%	9	1,315	12	325	6	70,159	9
II. 新生物<腫瘍>	63,567,732	12.0%	3	1,231	13	302	9	210,489	4
III. 血液及び造血管の疾患並びに免疫機構の障害	2,492,886	0.5%	16	574	16	130	15	19,176	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	51,616,908	9.7%	5	7,909	1	538	3	95,942	7
V. 精神及び行動の障害	107,533,062	20.2%	1	1,790	10	142	14	757,275	1
VI. 神経系の疾患	69,070,303	13.0%	2	3,487	5	288	11	239,827	3
VII. 眼及び付属器の疾患	13,719,096	2.6%	12	1,920	7	313	7	43,831	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,037,860	0.2%	17	476	17	111	16	9,350	19
IX. 循環器系の疾患	52,290,580	9.8%	4	7,506	2	542	2	96,477	6
X. 呼吸器系の疾患	16,026,288	3.0%	11	3,205	6	506	4	31,673	14
X I. 消化器系の疾患 ※	37,485,971	7.1%	6	6,350	3	572	1	65,535	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	7,222,294	1.4%	13	1,670	11	301	10	23,994	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	28,720,600	5.4%	7	5,037	4	495	5	58,021	11
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	20,140,523	3.8%	10	1,843	9	273	12	73,775	8
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	206,946	0.0%	19	17	20	4	20	51,737	12
X VI. 周産期に発生した病態 ※	3,660	0.0%	21	1	21	1	21	3,660	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	6,373,334	1.2%	15	58	19	12	19	531,111	2
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,661,028	1.3%	14	1,907	8	303	8	21,984	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	23,707,364	4.5%	8	797	14	201	13	117,947	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	900,335	0.2%	18	596	15	74	17	12,167	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	70,503	0.0%	20	75	18	13	18	5,423	20
合計	531,648,900			17,673		940		565,584	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・粟屋	その他

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,515,375	3.1%	10	310	8	88	3	17,220	14
II. 新生物<腫瘍>	2,904,266	5.9%	8	103	15	39	14	74,468	7
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	564,446	1.1%	14	157	13	29	15	19,464	12
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	3,369,732	6.8%	6	423	5	74	5	45,537	9
V. 精神及び行動の障害	5,278,225	10.7%	3	435	4	47	12	112,303	4
VI. 神経系の疾患	6,529,550	13.3%	2	463	3	56	9	116,599	3
VII. 眼及び付属器の疾患	859,505	1.7%	13	180	11	68	6	12,640	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	189,301	0.4%	18	67	16	20	16	9,465	17
IX. 循環器系の疾患	1,404,816	2.9%	11	278	9	51	11	27,545	10
X. 呼吸器系の疾患	3,226,742	6.6%	7	592	2	130	1	24,821	11
X I. 消化器系の疾患 ※	10,171,276	20.7%	1	736	1	104	2	97,801	5
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,607,346	3.3%	9	357	7	87	4	18,475	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	4,328,121	8.8%	5	371	6	61	8	70,953	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	4,567,004	9.3%	4	179	12	54	10	84,574	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,316,214	2.7%	12	8	18	6	17	219,369	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	314,070	0.6%	17	1	20	1	20	314,070	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,450	0.0%	20	3	19	2	19	725	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	535,105	1.1%	15	249	10	65	7	8,232	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	524,147	1.1%	16	115	14	44	13	11,912	16
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0.0%		0		0		0	
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	22,539	0.0%	19	11	17	4	18	5,635	19
合計	49,229,230			2,347		270		182,330	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

(2) 中分類による疾病別医療費地区別統計

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・粟屋	その他

【君田】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	12,073,617	8.8%	27
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	10,785,737	7.8%	42
3	0208 悪性リンパ腫	9,917,487	7.2%	2
4	0901 高血圧性疾患	8,062,716	5.8%	126
5	0105 ウイルス性肝炎	5,385,150	3.9%	24
6	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	5,022,858	3.6%	34
7	0403 脂質異常症	4,696,559	3.4%	105
8	0402 糖尿病	4,517,260	3.3%	93
9	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	4,429,532	3.2%	67
10	1402 腎不全	4,279,830	3.1%	9

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【布野】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	11,740,585	8.3%	20
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	11,167,265	7.9%	38
3	0402 糖尿病	10,222,506	7.3%	153
4	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	9,656,036	6.8%	28
5	0901 高血圧性疾患	9,650,137	6.8%	170
6	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	7,700,532	5.5%	53
7	1302 関節症	7,102,391	5.0%	60
8	1113 その他の消化器系の疾患	6,377,668	4.5%	121
9	0606 その他の神経系の疾患	4,375,994	3.1%	106
10	0403 脂質異常症	3,588,420	2.5%	104

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・粟屋	その他

【作木】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	10,522,546	9.4%	15
2	0402 糖尿病	7,957,268	7.1%	121
3	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	7,564,592	6.7%	26
4	1402 腎不全	6,819,392	6.1%	18
5	0901 高血圧性疾患	6,372,358	5.7%	129
6	1302 関節症	4,543,060	4.0%	68
7	0403 脂質異常症	4,539,735	4.0%	109
8	1113 その他の消化器系の疾患	4,444,804	4.0%	115
9	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	4,077,608	3.6%	61
10	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	3,224,907	2.9%	49

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【吉舎】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	40,350,617	10.3%	103
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	26,119,371	6.7%	45
3	1402 腎不全	22,224,640	5.7%	31
4	0402 糖尿病	21,796,701	5.6%	292
5	0901 高血圧性疾患	19,979,957	5.1%	386
6	0403 脂質異常症	15,436,348	3.9%	326
7	0903 その他の心疾患	13,280,474	3.4%	181
8	1113 その他の消化器系の疾患	12,285,751	3.1%	311
9	1302 関節症	10,401,645	2.7%	147
10	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	10,015,936	2.6%	57

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・栗屋	その他

【三良坂】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	28,082,870	9.0%	98
2	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	26,549,209	8.5%	36
3	0901	高血圧性疾患	15,432,557	5.0%	304
4	0105	ウイルス性肝炎	15,240,909	4.9%	70
5	0402	糖尿病	13,882,679	4.5%	239
6	1113	その他の消化器系の疾患	11,164,936	3.6%	236
7	1402	腎不全	9,702,022	3.1%	35
8	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	9,230,850	3.0%	64
9	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	9,165,479	2.9%	33
10	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	8,448,609	2.7%	60

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【三和】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901	高血圧性疾患	21,246,793	7.7%	308
2	0402	糖尿病	19,955,099	7.2%	294
3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	16,169,799	5.8%	131
4	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	14,697,015	5.3%	30
5	0403	脂質異常症	12,669,981	4.6%	280
6	1113	その他の消化器系の疾患	12,153,497	4.4%	260
7	1402	腎不全	11,472,115	4.1%	22
8	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	8,938,464	3.2%	52
9	1302	関節症	8,228,739	3.0%	110
10	0606	その他の神経系の疾患	8,152,061	2.9%	193

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・粟屋	その他

【甲奴】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	16,691,845	8.0%	24
2	0903 その他の心疾患	15,283,698	7.3%	88
3	0606 その他の神経系の疾患	13,220,876	6.3%	143
4	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,979,567	5.2%	139
5	0402 糖尿病	10,371,197	4.9%	158
6	0901 高血圧性疾患	9,902,850	4.7%	187
7	1402 腎不全	7,910,896	3.8%	17
8	1113 その他の消化器系の疾患	7,077,126	3.4%	165
9	1302 関節症	6,897,258	3.3%	82
10	1011 その他の呼吸器系の疾患	6,165,116	2.9%	74

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【三次・河内】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	38,360,323	6.6%	49
2	0903 その他の心疾患	31,723,474	5.5%	236
3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	31,372,555	5.4%	58
4	0901 高血圧性疾患	27,762,095	4.8%	443
5	0402 糖尿病	25,696,097	4.4%	392
6	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	25,513,205	4.4%	163
7	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	21,696,015	3.7%	44
8	1113 その他の消化器系の疾患	17,401,407	3.0%	389
9	1901 骨折	17,309,962	3.0%	71
10	1302 関節症	17,165,577	3.0%	183

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・粟屋	その他

【八次・神杉・和田・田幸・川西】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901	高血圧性疾患	63,428,561	6.2%	1,040
2	0402	糖尿病	58,077,900	5.7%	929
3	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	53,783,001	5.2%	114
4	0403	脂質異常症	40,399,647	3.9%	935
5	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	39,495,238	3.8%	187
6	1402	腎不全	37,320,212	3.6%	122
7	0105	ウイルス性肝炎	35,866,239	3.5%	186
8	0606	その他の神経系の疾患	35,250,100	3.4%	733
9	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	34,395,347	3.3%	416
10	1113	その他の消化器系の疾患	30,754,402	3.0%	916

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【十日市・酒屋】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	46,263,432	6.5%	61
2	0901	高血圧性疾患	39,155,091	5.5%	693
3	0402	糖尿病	37,763,693	5.3%	661
4	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	36,721,139	5.2%	251
5	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	29,474,383	4.1%	71
6	0403	脂質異常症	28,304,652	4.0%	643
7	0903	その他の心疾患	26,596,894	3.7%	408
8	1113	その他の消化器系の疾患	23,071,722	3.2%	644
9	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	18,806,630	2.6%	138
10	0606	その他の神経系の疾患	17,715,584	2.5%	479

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・栗屋	その他

【青河・川地・栗屋】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	54,459,964	10.2%	55
2	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	48,607,122	9.1%	15
3	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	28,446,482	5.4%	71
4	0901 高血圧性疾患	26,417,789	5.0%	406
5	0402 糖尿病	25,585,240	4.8%	365
6	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	23,256,936	4.4%	131
7	1113 その他の消化器系の疾患	23,200,076	4.4%	371
8	1901 骨折	19,137,294	3.6%	56
9	0506 知的障害<精神遅滞>	15,849,756	3.0%	7
10	0403 脂質異常症	15,607,456	2.9%	367

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1113 その他の消化器系の疾患	8,550,677	17.4%	56
2	1309 骨の密度及び構造の障害	3,553,516	7.2%	13
3	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	3,425,805	7.0%	1
4	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	2,390,351	4.9%	25
5	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	2,288,799	4.6%	6
6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	2,038,032	4.1%	19
7	0603 てんかん	1,862,737	3.8%	15
8	1403 尿路結石症	1,862,216	3.8%	5
9	0402 糖尿病	1,721,238	3.5%	32
10	1401 糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	1,326,703	2.7%	7

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・粟屋	その他

【君田】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	8,062,716	126	39.4%
2	1113 その他の消化器系の疾患	3,851,211	121	37.8%
3	1105 胃炎及び十二指腸炎	2,267,551	119	37.2%
4	0403 脂質異常症	4,696,559	105	32.8%
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,814,531	96	30.0%
6	0402 糖尿病	4,517,260	93	29.1%
7	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	642,211	86	26.9%
8	0606 その他の神経系の疾患	2,908,154	81	25.3%
9	1306 腰痛症及び坐骨神経痛	2,569,469	80	25.0%
9	1202 皮膚炎及び湿疹	1,154,549	80	25.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【布野】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	9,650,137	170	47.4%
2	0402 糖尿病	10,222,506	153	42.6%
3	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,685,865	144	40.1%
4	1113 その他の消化器系の疾患	6,377,668	121	33.7%
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,186,636	118	32.9%
6	0606 その他の神経系の疾患	4,375,994	106	29.5%
7	0403 脂質異常症	3,588,420	104	29.0%
7	0703 屈折及び調節の障害	601,853	104	29.0%
9	1202 皮膚炎及び湿疹	1,025,556	95	26.5%
10	1306 腰痛症及び坐骨神経痛	877,400	88	24.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・粟屋	その他

【作木】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	6,372,358	129	40.6%
2	0402	糖尿病	7,957,268	121	38.1%
3	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,769,622	119	37.4%
4	1113	その他の消化器系の疾患	4,444,804	115	36.2%
5	0403	脂質異常症	4,539,735	109	34.3%
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,191,655	106	33.3%
7	0703	屈折及び調節の障害	859,186	96	30.2%
8	0606	その他の神経系の疾患	2,521,601	89	28.0%
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	3,218,243	81	25.5%
10	1306	腰痛症及び坐骨神経痛	909,516	79	24.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【吉舎】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	19,979,957	386	43.2%
2	1105	胃炎及び十二指腸炎	4,870,588	329	36.8%
3	0403	脂質異常症	15,436,348	326	36.5%
4	1113	その他の消化器系の疾患	12,285,751	311	34.8%
5	0402	糖尿病	21,796,701	292	32.7%
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,503,386	262	29.3%
7	0703	屈折及び調節の障害	1,591,636	239	26.7%
8	0606	その他の神経系の疾患	8,914,827	232	26.0%
9	1306	腰痛症及び坐骨神経痛	3,889,351	231	25.8%
10	1202	皮膚炎及び湿疹	2,758,432	227	25.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・粟屋	その他

【三良坂】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	15,432,557	304	46.1%
2	1105 胃炎及び十二指腸炎	2,962,482	251	38.0%
3	0402 糖尿病	13,882,679	239	36.2%
4	1113 その他の消化器系の疾患	11,164,936	236	35.8%
5	0403 脂質異常症	8,282,615	215	32.6%
6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,031,215	208	31.5%
7	1202 皮膚炎及び湿疹	1,460,394	177	26.8%
8	0606 その他の神経系の疾患	6,288,906	175	26.5%
9	1306 腰痛症及び坐骨神経痛	1,804,506	166	25.2%
10	0703 屈折及び調節の障害	818,730	164	24.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【三和】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	21,246,793	308	44.2%
2	0402 糖尿病	19,955,099	294	42.2%
3	0403 脂質異常症	12,669,981	280	40.2%
4	1105 胃炎及び十二指腸炎	3,757,934	263	37.7%
5	1113 その他の消化器系の疾患	12,153,497	260	37.3%
6	1202 皮膚炎及び湿疹	2,867,450	224	32.1%
7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,242,089	217	31.1%
8	0703 屈折及び調節の障害	1,320,091	200	28.7%
9	0606 その他の神経系の疾患	8,152,061	193	27.7%
10	1306 腰痛症及び坐骨神経痛	2,106,185	169	24.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・粟屋	その他

【甲奴】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	9,902,850	187	38.4%
2	1113	その他の消化器系の疾患	7,077,126	165	33.9%
3	0402	糖尿病	10,371,197	158	32.4%
4	1105	胃炎及び十二指腸炎	3,219,404	149	30.6%
5	0606	その他の神経系の疾患	13,220,876	143	29.4%
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,979,567	139	28.5%
7	0403	脂質異常症	5,114,657	135	27.7%
8	1202	皮膚炎及び湿疹	1,946,785	112	23.0%
9	1003	その他の急性上気道感染症	467,254	111	22.8%
10	0703	屈折及び調節の障害	798,738	109	22.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【三次・河内】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	27,762,095	443	40.4%
2	0402	糖尿病	25,696,097	392	35.7%
3	1113	その他の消化器系の疾患	17,401,407	389	35.5%
4	1105	胃炎及び十二指腸炎	4,872,727	354	32.3%
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,345,943	323	29.4%
6	0403	脂質異常症	14,068,372	320	29.2%
7	0606	その他の神経系の疾患	15,384,464	304	27.7%
8	0703	屈折及び調節の障害	1,417,318	289	26.3%
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	8,165,971	277	25.3%
10	1202	皮膚炎及び湿疹	4,586,358	270	24.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・粟屋	その他

【八次・神杉・和田・田幸・川西】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	63,428,561	1,040	38.1%
2	0403	脂質異常症	40,399,647	935	34.2%
3	0402	糖尿病	58,077,900	929	34.0%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	14,630,301	929	34.0%
5	1113	その他の消化器系の疾患	30,754,402	916	33.5%
6	1105	胃炎及び十二指腸炎	11,831,504	893	32.7%
7	1006	アレルギー性鼻炎	10,270,815	747	27.4%
8	0606	その他の神経系の疾患	35,250,100	733	26.8%
9	0703	屈折及び調節の障害	4,039,164	723	26.5%
10	1202	皮膚炎及び湿疹	8,538,694	711	26.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【十日市・酒屋】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	39,155,091	693	35.2%
2	0402	糖尿病	37,763,693	661	33.6%
3	1113	その他の消化器系の疾患	23,071,722	644	32.7%
4	0403	脂質異常症	28,304,652	643	32.7%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	8,998,624	626	31.8%
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,759,594	622	31.6%
7	1006	アレルギー性鼻炎	7,295,690	587	29.8%
8	1202	皮膚炎及び湿疹	7,044,120	582	29.6%
9	0703	屈折及び調節の障害	3,355,481	526	26.7%
10	0606	その他の神経系の疾患	17,715,584	479	24.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

君田	布野	作木	吉舎	三良坂	三和
甲奴	三次・河内	八次・神杉・ 和田・田幸・川西	十日市・酒屋	青河・川地・栗屋	その他

【青河・川地・栗屋】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	26,417,789	406	43.2%
2	1113	その他の消化器系の疾患	23,200,076	371	39.5%
3	0403	脂質異常症	15,607,456	367	39.0%
4	0402	糖尿病	25,585,240	365	38.8%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	5,385,086	354	37.7%
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,661,028	303	32.2%
7	1306	腰痛症及び坐骨神経痛	2,966,761	271	28.8%
8	1202	皮膚炎及び湿疹	4,839,415	251	26.7%
9	0703	屈折及び調節の障害	1,529,489	246	26.2%
10	0606	その他の神経系の疾患	14,030,455	245	26.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	535,105	65	24.1%
1	1202	皮膚炎及び湿疹	521,331	65	24.1%
3	1006	アレルギー性鼻炎	725,753	57	21.1%
3	0703	屈折及び調節の障害	242,849	57	21.1%
5	1113	その他の消化器系の疾患	8,550,677	56	20.7%
6	1105	胃炎及び十二指腸炎	373,472	54	20.0%
7	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	250,741	51	18.9%
8	0606	その他の神経系の疾患	1,217,556	49	18.1%
8	1011	その他の呼吸器系の疾患	709,028	49	18.1%
8	1003	その他の急性上気道感染症	302,126	49	18.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

5. 詳細分析

(1) 高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「その他の理由による保健サービスの利用者」「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」「悪性リンパ腫」等となった。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	2106	その他の理由による保健サービスの利用者	気管切開術後	1	12,488,520	0	12,488,520	12,488,520
2	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	遷延性意識障害, 肺出血	2	11,176,270	2,650,040	13,826,310	6,913,155
3	0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫, 濾胞性リンパ腫・グレード1	3	16,021,220	2,444,240	18,465,460	6,155,153
4	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺, 脳性両麻痺	9	54,958,580	17,060	54,975,640	6,108,404
5	0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害, 知的障害・要治療の行動機能障害あり	2	11,830,000	127,850	11,957,850	5,978,925
6	0107	真菌症	白癬	1	5,885,750	72,460	5,958,210	5,958,210
7	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌, 上葉肺癌, 肺腺癌	19	43,199,070	69,707,470	112,906,540	5,942,449
8	1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性閉塞性肺疾患	2	8,910,300	2,424,010	11,334,310	5,667,155
9	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性腎後性腎不全	24	47,675,780	87,812,790	135,488,570	5,645,357
10	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	フェニルケトン尿症, 高アンモニア血症, 続発性副甲状腺機能亢進症	3	10,506,770	5,353,930	15,860,700	5,286,900
11	0606	その他の神経系の疾患	末梢神経障害, 水頭症, 低酸素性脳症	9	43,350,090	2,560,530	45,910,620	5,101,180
12	0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	アルコール依存症	2	9,181,340	180,960	9,362,300	4,681,150
13	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎, C型非代償性肝硬変	19	16,567,140	70,967,530	87,534,670	4,607,088
14	0905	脳内出血	被殻出血, 視床出血, 脳出血後遺症	8	35,730,990	1,123,090	36,854,080	4,606,760
15	0906	脳梗塞	心原性脳塞栓症, 脳梗塞後遺症, 脳幹梗塞	6	26,417,520	652,920	27,070,440	4,511,740
16	0908	その他の脳血管疾患	硬膜動静脈瘻, 虚血性脳血管障害, 未破裂脳動脈瘤	4	16,605,110	1,230,350	17,835,460	4,458,865
17	0109	その他の感染症及び寄生虫症	グラム陰性桿菌敗血症, グラム陽性菌敗血症, 敗血症性ショック	6	23,218,760	3,467,290	26,686,050	4,447,675
18	0106	その他のウイルス性疾患	亜急性硬化性全脳炎, HIV感染症	2	5,931,250	2,828,330	8,759,580	4,379,790
19	0904	くも膜下出血	前大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血	2	7,673,550	571,570	8,245,120	4,122,560
20	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	血友病, 播種性血管内凝固	2	1,690,960	6,477,870	8,168,830	4,084,415

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者一人当たりの医療費上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※	
平成26年度	1	0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	ヘルペス脳炎	1	7,414,760
	2	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固, 血友病	5	6,257,448
	3	0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害, 知的障害・要治療の行動機能障害あり	2	6,118,700
	4	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺, 脳性両麻痺	10	6,087,760
	5	1307	その他の脊柱障害	脊柱側弯症, 腰椎すべり症	2	6,045,055
平成27年度	1	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	遷延性意識障害, 出血	2	6,825,365
	2	1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	1	6,572,630
	3	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全	27	6,255,375
	4	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺, 脳性両麻痺	10	6,105,717
	5	0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害, 知的障害・要治療の行動機能障害あり	2	5,951,045
平成28年度	1	2106	その他の理由による保健サービスの利用者	気管切開術後	1	12,488,520
	2	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	遷延性意識障害, 肺出血	2	6,913,155
	3	0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫, 濾胞性リンパ腫・グレード1	3	6,155,153
	4	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺, 脳性両麻痺	9	6,108,404
	5	0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害, 知的障害・要治療の行動機能障害あり	2	5,978,925

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(2) 中分類による疾病別医療費統計(全項目)

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計		医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※				
		4,482,060,120			186,263			10,740				
疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位	
I. 感染症及び寄生虫症		170,667,927	3.8%		13,315	7.1%		3,386	31.5%		50,404	
0101	腸管感染症	9,786,609	0.2%	77	2,441	1.3%	60	940	8.8%	37	10,411	99
0102	結核	876,120	0.0%	108	231	0.1%	101	101	0.9%	93	8,674	103
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	634,443	0.0%	112	335	0.2%	99	232	2.2%	80	2,735	120
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	7,936,555	0.2%	82	1,582	0.8%	71	576	5.4%	56	13,779	93
0105	ウイルス性肝炎	93,753,298	2.1%	13	2,958	1.6%	54	687	6.4%	51	136,468	20
0106	その他のウイルス性疾患	10,107,956	0.2%	76	465	0.2%	91	188	1.8%	82	53,766	39
0107	真菌症	23,776,878	0.5%	49	3,782	2.0%	45	990	9.2%	35	24,017	70
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	11,119	0.0%	121	16	0.0%	117	7	0.1%	117	1,588	121
0109	その他の感染症及び寄生虫症	23,784,949	0.5%	48	2,874	1.5%	57	925	8.6%	38	25,713	67
II. 新生物<腫瘍>		657,153,291	14.7%		13,978	7.5%		3,550	33.1%		185,114	
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	58,417,343	1.3%	20	1,893	1.0%	64	688	6.4%	50	84,909	26
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	48,771,708	1.1%	28	1,937	1.0%	62	703	6.5%	48	69,377	31
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	28,766,310	0.6%	43	398	0.2%	92	70	0.7%	99	410,947	6
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	31,225,491	0.7%	41	1,133	0.6%	79	323	3.0%	72	96,673	24
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	115,815,159	2.6%	11	1,645	0.9%	68	478	4.5%	65	242,291	10
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	43,393,066	1.0%	32	1,035	0.6%	81	162	1.5%	85	267,858	8
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	11,444,961	0.3%	72	342	0.2%	98	145	1.4%	89	78,931	28
0208	悪性リンパ腫	19,561,307	0.4%	55	353	0.2%	97	77	0.7%	98	254,043	9
0209	白血病	14,495,176	0.3%	68	164	0.1%	105	27	0.3%	110	536,858	3
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	233,935,226	5.2%	4	5,705	3.1%	35	1,495	13.9%	30	156,478	18
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	51,327,544	1.1%	25	3,967	2.1%	43	1,654	15.4%	23	31,032	61
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		38,591,730	0.9%		6,439	3.5%		1,505	14.0%		25,642	
0301	貧血	12,477,670	0.3%	70	3,525	1.9%	49	844	7.9%	40	14,784	88
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	26,114,060	0.6%	46	3,273	1.8%	53	861	8.0%	39	30,330	63
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患		464,230,179	10.4%		74,527	40.0%		5,890	54.8%		78,817	
0401	甲状腺障害	20,562,525	0.5%	54	6,543	3.5%	30	1,168	10.9%	34	17,605	82
0402	糖尿病	237,546,878	5.3%	3	35,191	18.9%	4	3,729	34.7%	2	63,703	34
0403	脂質異常症	153,596,194	3.4%	8	48,935	26.3%	2	3,567	33.2%	5	43,060	48
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	52,524,582	1.2%	23	13,620	7.3%	15	1,715	16.0%	21	30,627	62
V. 精神及び行動の障害		509,713,627	11.4%		18,550	10.0%		1,558	14.5%		327,159	
0501	血管性及び詳細不明の認知症	2,468,499	0.1%	100	110	0.1%	109	44	0.4%	105	56,102	38
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	15,553,491	0.3%	63	860	0.5%	85	97	0.9%	95	160,345	16
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	272,138,393	6.1%	1	7,520	4.0%	26	511	4.8%	61	532,560	4

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,482,060,120	186,263	10,740

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位	
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	158,751,983	3.5%	7	10,841	5.8%	23	778	7.2%	42	204,051	13
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	24,692,495	0.6%	47	7,753	4.2%	25	773	7.2%	43	31,944	58
0506	知的障害<精神遅滞>	21,206,876	0.5%	53	191	0.1%	102	39	0.4%	107	543,766	2
0507	その他の精神及び行動の障害	14,901,890	0.3%	66	875	0.5%	83	144	1.3%	90	103,485	22
VI. 神経系の疾患		256,556,886	5.7%		36,263	19.5%		3,088	28.8%		83,082	
0601	パーキンソン病	21,217,775	0.5%	52	1,422	0.8%	72	108	1.0%	92	196,461	14
0602	アルツハイマー病	15,265,299	0.3%	65	893	0.5%	82	67	0.6%	100	227,840	12
0603	てんかん	34,143,904	0.8%	39	3,357	1.8%	52	305	2.8%	74	111,947	21
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	55,190,910	1.2%	21	377	0.2%	94	63	0.6%	101	876,046	1
0605	自律神経系の障害	758,420	0.0%	109	867	0.5%	84	100	0.9%	94	7,584	105
0606	その他の神経系の疾患	129,980,578	2.9%	10	32,711	17.6%	5	2,829	26.3%	8	45,946	45
VII. 眼及び付属器の疾患		151,752,403	3.4%		21,660	11.6%		3,532	32.9%		42,965	
0701	結膜炎	15,781,193	0.4%	62	11,868	6.4%	18	2,076	19.3%	15	7,602	104
0702	白内障	40,986,047	0.9%	34	11,183	6.0%	21	1,588	14.8%	27	25,810	66
0703	屈折及び調節の障害	17,014,290	0.4%	59	16,771	9.0%	9	2,825	26.3%	9	6,023	110
0704	その他の眼及び付属器の疾患	77,970,873	1.7%	15	16,737	9.0%	10	2,487	23.2%	11	31,351	59
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		16,479,247	0.4%		4,900	2.6%		1,113	10.4%		14,806	
0801	外耳炎	948,730	0.0%	107	855	0.5%	86	323	3.0%	72	2,937	119
0802	その他の外耳疾患	253,194	0.0%	115	170	0.1%	104	62	0.6%	102	4,084	117
0803	中耳炎	2,739,281	0.1%	99	582	0.3%	88	149	1.4%	88	18,384	80
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	665,217	0.0%	110	329	0.2%	100	152	1.4%	86	4,376	116
0805	メニエール病	8,111,611	0.2%	81	2,928	1.6%	55	556	5.2%	58	14,589	89
0806	その他の内耳疾患	646,822	0.0%	111	131	0.1%	107	30	0.3%	109	21,561	77
0807	その他の耳疾患	3,114,392	0.1%	96	1,678	0.9%	66	481	4.5%	64	6,475	109
IX. 循環器系の疾患		625,324,245	14.0%		72,420	38.9%		5,647	52.6%		110,736	
0901	高血圧性疾患	248,277,298	5.5%	2	61,493	33.0%	1	4,220	39.3%	1	58,833	37
0902	虚血性心疾患	61,387,710	1.4%	19	11,182	6.0%	22	1,483	13.8%	31	41,394	50
0903	その他の心疾患	141,056,796	3.1%	9	14,225	7.6%	13	2,187	20.4%	13	64,498	33
0904	くも膜下出血	7,051,257	0.2%	86	77	0.0%	111	26	0.2%	111	271,202	7
0905	脳内出血	42,105,836	0.9%	33	523	0.3%	90	174	1.6%	84	241,988	11
0906	脳梗塞	48,190,145	1.1%	29	5,556	3.0%	37	685	6.4%	52	70,351	29
0907	脳動脈硬化(症)	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
0908	その他の脳血管疾患	19,416,938	0.4%	56	1,730	0.9%	65	398	3.7%	70	48,786	42
0909	動脈硬化(症)	16,715,152	0.4%	60	3,618	1.9%	47	749	7.0%	47	22,317	74
0911	低血圧(症)	994,502	0.0%	106	394	0.2%	93	40	0.4%	106	24,863	68
0912	その他の循環器系の疾患	40,128,611	0.9%	35	3,522	1.9%	50	645	6.0%	54	62,215	35
X. 呼吸器系の疾患		219,527,662	4.9%		33,438	18.0%		6,010	56.0%		36,527	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	4,405,203	0.1%	91	2,462	1.3%	59	977	9.1%	36	4,509	114
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	7,542,319	0.2%	85	4,508	2.4%	40	1,673	15.6%	22	4,508	115
1003	その他の急性上気道感染症	10,245,477	0.2%	75	4,772	2.6%	39	1,773	16.5%	20	5,779	111

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,482,060,120	186,263	10,740

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004 肺炎	14,686,853	0.3%	67	1,626	0.9%	69	700	6.5%	49	20,981	78
1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	15,424,117	0.3%	64	6,064	3.3%	32	2,157	20.1%	14	7,151	107
1006 アレルギー性鼻炎	37,956,431	0.8%	37	14,079	7.6%	14	2,701	25.1%	10	14,053	92
1007 慢性副鼻腔炎	8,411,539	0.2%	80	3,529	1.9%	48	824	7.7%	41	10,208	101
1008 急性又は慢性と明示されない気管支炎	2,118,503	0.0%	101	1,218	0.7%	76	419	3.9%	69	5,056	113
1009 慢性閉塞性肺疾患	18,666,194	0.4%	58	3,490	1.9%	51	500	4.7%	62	37,332	54
1010 喘息	49,413,290	1.1%	27	9,611	5.2%	24	1,585	14.8%	28	31,176	60
1011 その他の呼吸器系の疾患	50,657,736	1.1%	26	5,656	3.0%	36	1,954	18.2%	16	25,925	65
X I . 消化器系の疾患	344,484,376	7.7%		62,508	33.6%		6,326	58.9%		54,455	
1101 う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102 歯肉炎及び歯周疾患	28,046	0.0%	119	11	0.0%	118	5	0.0%	118	5,609	112
1103 その他の歯及び歯の支持組織の障害	15,931	0.0%	120	20	0.0%	115	11	0.1%	115	1,448	122
1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	44,802,343	1.0%	30	16,611	8.9%	11	1,936	18.0%	17	23,142	72
1105 胃炎及び十二指腸炎	51,994,859	1.2%	24	26,893	14.4%	6	3,655	34.0%	4	14,226	91
1106 痔核	3,256,890	0.1%	95	1,166	0.6%	77	237	2.2%	79	13,742	94
1107 アルコール性肝疾患	3,746,185	0.1%	92	548	0.3%	89	81	0.8%	97	46,249	43
1108 慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	7,671,615	0.2%	83	3,717	2.0%	46	469	4.4%	67	16,357	84
1109 肝硬変(アルコール性のものを除く)	5,959,052	0.1%	87	1,166	0.6%	77	151	1.4%	87	39,464	52
1110 その他の肝疾患	22,882,245	0.5%	50	5,875	3.2%	33	1,589	14.8%	26	14,400	90
1111 胆石症及び胆のう炎	27,961,236	0.6%	44	2,613	1.4%	58	771	7.2%	44	36,266	55
1112 膵疾患	15,832,697	0.4%	61	1,905	1.0%	63	487	4.5%	63	32,511	57
1113 その他の消化器系の疾患	160,333,277	3.6%	6	38,043	20.4%	3	3,705	34.5%	3	43,275	47
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患	72,577,122	1.6%		17,146	9.2%		3,557	33.1%		20,404	
1201 皮膚及び皮下組織の感染症	5,596,024	0.1%	88	1,417	0.8%	73	544	5.1%	59	10,287	100
1202 皮膚炎及び湿疹	37,823,365	0.8%	38	12,997	7.0%	16	2,867	26.7%	7	13,193	96
1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	29,157,733	0.7%	42	7,477	4.0%	27	1,601	14.9%	25	18,212	81
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患	380,621,788	8.5%		51,318	27.6%		5,244	48.8%		72,582	
1301 炎症性多発性関節障害	39,638,158	0.9%	36	6,196	3.3%	31	770	7.2%	45	51,478	40
1302 関節症	114,317,671	2.6%	12	14,241	7.6%	12	1,625	15.1%	24	70,349	30
1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	67,060,070	1.5%	18	12,362	6.6%	17	1,483	13.8%	31	45,219	46
1304 椎間板障害	8,790,685	0.2%	78	1,968	1.1%	61	364	3.4%	71	24,150	69
1305 頸腕症候群	5,138,888	0.1%	89	4,116	2.2%	42	514	4.8%	60	9,998	102
1306 腰痛症及び坐骨神経痛	32,767,255	0.7%	40	17,618	9.5%	8	2,421	22.5%	12	13,535	95
1307 その他の脊柱障害	4,541,620	0.1%	90	1,669	0.9%	67	296	2.8%	75	15,343	86
1308 肩の傷害<損傷>	10,521,556	0.2%	74	4,777	2.6%	38	684	6.4%	53	15,382	85
1309 骨の密度及び構造の障害	54,340,149	1.2%	22	11,766	6.3%	19	1,308	12.2%	33	41,544	49
1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	43,505,736	1.0%	31	11,719	6.3%	20	1,896	17.7%	19	22,946	73

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,482,060,120	186,263	10,740

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	
											順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	280,166,157	6.3%		16,409	8.8%		2,799	26.1%		100,095	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	14,209,219	0.3%	69	1,604	0.9%	70	277	2.6%	76	51,297	41
1402 腎不全	194,508,053	4.3%	5	3,882	2.1%	44	429	4.0%	68	453,399	5
1403 尿路結石症	8,627,631	0.2%	79	849	0.5%	87	262	2.4%	77	32,930	56
1404 その他の腎尿路系の疾患	26,979,353	0.6%	45	6,546	3.5%	29	1,546	14.4%	29	17,451	83
1405 前立腺肥大(症)	18,954,076	0.4%	57	4,307	2.3%	41	477	4.4%	66	39,736	51
1406 その他の男性生殖器の疾患	1,655,475	0.0%	102	110	0.1%	109	36	0.3%	108	45,985	44
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	2,971,073	0.1%	97	1,130	0.6%	80	254	2.4%	78	11,697	97
1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	12,261,277	0.3%	71	1,325	0.7%	74	558	5.2%	57	21,974	76
XV. 妊娠、分娩及び産じょく	4,048,379	0.1%		142	0.1%		60	0.6%		67,473	
1501 流産	334,663	0.0%	113	17	0.0%	116	14	0.1%	114	23,905	71
1502 妊娠高血圧症候群	6,552	0.0%	122	4	0.0%	120	2	0.0%	121	3,276	118
1503 単胎自然分娩	44,000	0.0%	118	5	0.0%	119	4	0.0%	119	11,000	98
1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	3,663,164	0.1%	93	125	0.1%	108	53	0.5%	104	69,116	32
XVI. 周産期に発生した病態	3,006,522	0.1%		26	0.0%		17	0.2%		176,854	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	253,024	0.0%	116	3	0.0%	121	3	0.0%	120	84,341	27
1602 その他の周産期に発生した病態	2,753,498	0.1%	98	24	0.0%	113	15	0.1%	113	183,567	15
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常	12,118,056	0.3%		401	0.2%		126	1.2%		96,175	
1701 心臓の先天奇形	1,119,060	0.0%	105	50	0.0%	112	19	0.2%	112	58,898	36
1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	10,998,996	0.2%	73	359	0.2%	96	110	1.0%	91	99,991	23
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	69,881,050	1.6%		18,311	9.8%		3,388	31.5%		20,626	
1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	69,881,050	1.6%	17	18,311	9.8%	7	3,388	31.5%	6	20,626	79
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	179,964,555	4.0%		9,086	4.9%		2,353	21.9%		76,483	
1901 骨折	93,747,269	2.1%	14	2,892	1.6%	56	594	5.5%	55	157,824	17
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	7,566,499	0.2%	84	173	0.1%	103	84	0.8%	96	90,077	25
1903 熱傷及び腐食	1,316,445	0.0%	103	148	0.1%	106	59	0.5%	103	22,313	75
1904 中毒	1,275,691	0.0%	104	367	0.2%	95	186	1.7%	83	6,859	108
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	76,058,651	1.7%	16	6,568	3.5%	28	1,935	18.0%	18	39,307	53
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	21,806,377	0.5%		5,801	3.1%		769	7.2%		28,357	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	67,287	0.0%	117	24	0.0%	113	9	0.1%	116	7,476	106
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,482,060,120	186,263	10,740

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを 除く)及び保健ケアのための保健 サービスの利用者	311,670	0.0%	114	3	0.0%	121	2	0.0%	121	155,835	19
2106	その他の理由による保健サービスの 利用者	21,427,420	0.5%	51	5,776	3.1%	34	759	7.1%	46	28,231	64
XX II. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		3,388,541	0.1%		1,237	0.7%		225	2.1%		15,060	
9999	分類外	3,388,541	0.1%	94	1,237	0.7%	75	225	2.1%	81	15,060	87

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。